

海幕情報資料 第228号

部内限り

一連番号

東南・南西アジア地域諸国の海軍動向

平成9年10月

海上幕僚監部調査部

HP「海軍砲術学校」公開資料

資 料 紹 介

本資料は、「東南・南西アジア地域諸国の海軍動向」を井川 宏氏に依頼して、一般の公刊資料を基に平成9年3月までを対象として執務して頂いたものであり、参考資料として印刷配布する。

なお、本書の記述内容の正否に関して、当調査部の責任はないものとする。

(裏面白紙)

HP「海軍砲術学校」公開資料

東南・南西アジア地域諸国の海軍動向

HP「海軍砲術学校」公開資料

目 次

はじめに	1
第1章 インドネシア	2
第1節 海軍組織	2
第2節 現有兵力	3
第3節 艦艇、航空機の性能要目	5
第4節 装備武器の性能要目	19
第5節 GDP及び国防費の推移	23
第6節 海軍力の量的推移	24
第7節 海軍力の質的推移	29
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	30
第2章 フィリピン	31
第1節 海軍組織	31
第2節 現有兵力	31
第3節 艦艇、航空機の性能要目	33
第4節 装備武器の性能要目	38
第5節 GDP及び国防費の推移	40
第6節 海軍力の量的推移	41
第7節 海軍力の質的推移	44
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	44
第3章 タイ	45
第1節 海軍組織	45
第2節 現有兵力	46
第3節 艦艇、航空機の性能要目	49
第4節 装備武器の性能要目	65
第5節 GDP及び国防費の推移	69
第6節 海軍力の量的推移	70
第7節 海軍力の質的推移	75
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	76
第4章 マレーシア	77
第1節 海軍組織	77
第2節 現有兵力	78
第3節 艦艇、航空機の性能要目	80
第4節 装備武器の性能要目	88
第5節 GDP及び国防費の推移	91
第6節 海軍力の量的推移	92
第7節 海軍力の質的推移	95
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	96

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5章 シンガポール	97
第1節 海軍組織	97
第2節 現有兵力	97
第3節 艦艇、航空機の性能要目	99
第4節 装備武器の性能要目	104
第5節 GDP及び国防費の推移	106
第6節 海軍力の量的推移	107
第7節 海軍力の質的推移	110
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	110
第6章 ブルネイ	111
第1節 海軍組織	111
第2節 現有兵力	111
第3節 艦艇、航空機の性能要目	112
第4節 装備武器の性能要目	113
第5節 GDP及び国防費の推移	114
第6節 海軍力の量的推移	115
第7節 海軍力の質的推移	116
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	116
第7章 ベトナム	117
第1節 海軍組織	117
第2節 現有兵力	117
第3節 艦艇、航空機の性能要目	120
第4節 装備武器の性能要目	130
第5節 GDP及び国防費の推移	133
第6節 海軍力の量的推移	134
第7節 海軍力の質的推移	139
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	140
第8章 カンボディア	141
第1節 海軍組織	141
第2節 現有兵力	141
第3節 艦艇、航空機の性能要目	143
第4節 装備武器の性能要目	145
第5節 GDP及び国防費の推移	147
第6節 海軍力の量的推移	148
第7節 海軍力の質的推移	149
第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況	149

HP「海軍砲術学校」公開資料

第9章	ミャンマー	150
第1節	海軍組織	150
第2節	現有兵力	150
第3節	艦艇、航空機の性能要目	152
第4節	装備武器の性能要目	157
第5節	GDP及び国防費の推移	158
第6節	海軍力の量的推移	159
第7節	海軍力の質的推移	161
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	162
第10章	バングラディシュ	163
第1節	海軍組織	163
第2節	現有兵力	163
第3節	艦艇、航空機の性能要目	165
第4節	装備武器の性能要目	174
第5節	GDP及び国防費の推移	177
第6節	海軍力の量的推移	178
第7節	海軍力の質的推移	181
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	182
第11章	インド	183
第1節	海軍組織	183
第2節	現有兵力	184
第3節	艦艇、航空機の性能要目	187
第4節	装備武器の性能要目	203
第5節	GDP及び国防費の推移	209
第6節	海軍力の量的推移	210
第7節	海軍力の質的推移	216
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	218
第12章	スリランカ	219
第1節	海軍組織	219
第2節	現有兵力	219
第3節	艦艇、航空機の性能要目	221
第4節	装備武器の性能要目	226
第5節	GDP及び国防費の推移	227
第6節	海軍力の量的推移	228
第7節	海軍力の質的推移	231
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	232

HP「海軍砲術学校」公開資料

第13章	パキスタン	233
第1節	海軍組織	233
第2節	現有兵力	233
第3節	艦艇、航空機の性能要目	235
第4節	装備武器の性能要目	245
第5節	GDP及び国防費の推移	248
第6節	海軍力の量的推移	249
第7節	海軍力の質的推移	252
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	253
第14章	イラン	254
第1節	海軍組織	254
第2節	現有兵力	254
第3節	艦艇、航空機の性能要目	256
第4節	装備武器の性能要目	265
第5節	GDP及び国防費の推移	269
第6節	海軍力の量的推移	270
第7節	海軍力の質的推移	274
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	275
第15章	イラク	276
第1節	海軍組織	276
第2節	現有兵力	276
第3節	艦艇、航空機の性能要目	278
第4節	装備武器の性能要目	281
第5節	GDP及び国防費の推移	283
第6節	海軍力の量的推移	284
第7節	海軍力の質的推移	287
第8節	海軍関連武器の輸出・輸入状況	287

HP「海軍砲術学校」公開資料

東南・南西アジア地域諸国の海軍動向

はじめに

本研究は、インドネシア、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、カンボディア、ミャンマー、バングラディシュ、インド、スリランカ、パキスタン、イラン、及びイラクの15カ国のそれぞれについて、海軍組織、現有兵力、艦艇・航空機の性能要目、装備武器の性能要目、GDP及び国防費の推移、海軍力の量的推移、海軍力の質的推移、海軍関連武器の輸出・輸入状況についてまとめたものである。

資料は“Jane's Fighting Ships 1996-97”（ジェーン年鑑）と“The Military Balance 1996-1997”（ミリタリー・バランス）を主として使用した。海軍組織、艦艇・航空機の性能要目、装備武器の性能要目、海軍力の質的推移については、ジェーン年鑑を主とし、現有兵力、GDP及び国防費の推移、海軍力の量的推移、海軍関連武器の輸出・輸入状況についてはミリタリー・バランスを主としたが、双方に相違がある場合は、その旨を付記している。航空機や武器については、それぞれの関係するジェーン年鑑を参照した。

保有艦艇の推移の中の保有基準排水量の推移については、主要水上艦艇と潜水艦についてののみ示した。なお、満載排水量だけしか記載されていない艦も有るので、必ずしも基準排水量にはなっていないものがある。

海軍関連武器の輸出・輸入状況については多くの資料があるが、それぞれに視点に相違があるので、ミリタリー・バランス96-97 に表記されている国だけについて記述した。

平成 9年 3月 井川 宏 記

HP「海軍砲術学校」公開資料

第1章 インドネシア

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

インドネシアにおいては、大統領が国軍の最高司令官で、国防安全保障大臣がその作戦指揮権を掌握している。その指揮下の海軍については、海軍参謀長が管理指揮権を有する。

ジェーン年鑑 1996-1997で司令部の構成 (Command Structure) に記載されているものは、次のとおりである。

西部部隊 (テルク・ラタイ) Eastern Command

東部部隊 (スラバヤ) Western Command

訓練部隊 Training Command

軍事海上交通部隊 (海上保安庁) Military Sea Communications Command (Maritime Security Agency)

軍事海上輸送部隊 Military Sealift Command (Logistic Support)

第2項 艦隊の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で艦隊の指揮官 (Fleet Command) に記載されているものは、次のとおりである。

西部艦隊司令官 (バラット)

東部艦隊司令官 (チムール)

海軍海兵隊司令官

軍事海上輸送部隊司令

第3項 基地

1 艦艇基地

タンジュン・プリオク^{W)} (北ジャカルタ)、ウジュン^{E)} (スラバヤ)、サバン^{W)}、ベラワン^{W)} (北スマトラ)、ウジュン・パンダン^{E)} (南スラワジ)、バリクパパン (東カリマンタン)、ジャヤプラ^{E)} (イリアン・ジャヤ)、タンジュン・ピナン^{W)}、ピツン (北スラワジ)、テルク・ラタイ (南スマトラ)。

2 海軍航空基地

ジュアンダ (スラバヤ)、ビアク (イリアン・ジャヤ)、ペカン・バル、サム・ラツランギ (北スラワジ)、サバン、ナツナ、ピーアル。

注：W) 西部艦隊の基地とされているものを示す。(ミリタリー・バランス1996-1997)

E) 東部艦隊の基地とされているものを示す。(ミリタリー・バランス1996-1997)

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 17隻

[フリゲート艦] 17隻

- (1) アーマッドヤニ級 FFG (オランダ ファンスペイジク級) 6 隻
- (2) ファタヒラ級 FFG 3 隻
- (3) テイヤハフ級 FF (英国 トライバル級) 3 隻
- (4) キハジャルデワンタラ級 FFG/AX (ユーゴスラビア) 1 隻
- (5) サマディクン級 FF (米国 クラウドジョーンズ級) 4 隻

2 小型水上艦艇 57隻

[コルベット] 16隻

- (1) カピタンパチムラ級 FS (東独 パルチム I 級) 16 隻

[高速ミサイル艇] 4 隻

- (2) マンドー級 PCFG (韓国 ダッガー級PSFM Mk5) 4 隻

[魚雷艇] 2 隻

- (3) シンガ級 PC (独 PB57級 (NAV I)) 2 隻

[哨戒艇] 35隻

- (4) パンドロン級 PC (独 PB57級 (NAV II)) 2 隻

- (5) カカプ級 PC (独 PB57級 (NAV III)) 3 隻

- (6) バラクダ級 PC (独 PB57級 (NAV IV)) 1 隻*

- (7) シバロー級 PC (オーストラリア アタック級) 8 隻

- (8) ビマサンデラ級 PH (米 ボーイング ジェットフォイル) 4 隻

- (9) その他 18隻

注: *) この級は、ミリタリー・バランス1996-1997 では大統領用ヨットとして支援艦艇の項に記載されているので、哨戒艇及び小型水上艦艇の合計隻数には含んでいない。

3 機雷戦艦艇 13隻

[掃海艇] 13隻

- (1) プラウレンガト級 MHC (オランダ アルクマール級) 2 隻

- (2) プラウラニ級 MSO (ソ連 T-43級) 2 隻

- (3) パラウロート級 MSC (東独 コンドルII級 (89型)) 9 隻

4 両用戦艦艇 110隻

[LST] 30隻

- (1) テルクセマンカ級 LST (韓国 タコマ型) 6 隻

- (2) テルクアンボイナ級 LST (日本 米LST-511 型) 1 隻

- (3) テルクランサ級 LST (米 LST-512 級) 7 隻*

- (4) テルクバンテン級 LST (米 LST-512 改級) 2 隻?)

- (5) テルクギリマヌク級 LST (独 フロッシュ I / II 級 (108 型)) 14 隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

[その他] 80隻

注: *) ジェーン年鑑1996-1997 では、この級は「テルクボーン」1隻のみであり、他の6隻は1995-96 に除籍されて予備役にあるとされている。

*) ジェーン年鑑1996-1997 には、この級は記載されていない。また、ミリタリー・バランス1996-1997 では、この級の隻数は両用戦艦艇の合計隻数に含まれてなく28隻とされているが、ここでは30隻にしている。

5 潜水艦 2 隻

(1) カクラ級 SSK (独 209/1300型) 2 隻

6 支援艦艇 15隻

ソロング級給油タンカー AO 1 隻

アルン級給油タンカー AO (英国ローバー級) 1 隻

バリクパパン級沿岸タンカー AOTL (ソ連 コービー級) 2 隻

ムルタツ級指揮支援補給艦 AGF 1 隻

修理船 1 隻

航洋曳船 2 隻

調査/ 試験船 6 隻

バラクダ級 PC 大統領用ヨット (独 PB57級 (NAV IV)) 1 隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

CASA/Nurtanio CN-235-100IPTN: 6 機

洋上監視が主任務であるが、イグゾセ AM 39の搭載が可能である。

8 対潜哨戒機

Westland Wasp HAS Mk1: 6 機

ユーロコプター AS-332L 8 スーパーピューマ: 4 機

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機

マクドネルダグラス A-4E: 18機、 TA-4H: 2 機

Locheed General Dynamics F-16A: 7 機、 F-16B: 4 機

ホーク Mk 53: 14 機、 Mk 109: 7 機、 Mk 209: 1 機

2 戦闘機

ノースロップ F-5E: 8 機、 F-5F: 4機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

1 海兵隊

人員 12,000名

2 個歩兵旅団 (6 個大隊)、1 個SF大隊、1 個戦闘連隊

なお、配備状況については、資料が得られなかった。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 17隻

[フリゲート艦] 17隻

(1) アーマッドヤニ級 FFG (オランダ ファンスペイジク級) 6 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
アーマッドヤニ(元デジヘルクヒッテス)	351	1967. 8. 16	1986. 10. 31
スラメトリヤティ(元ファンスペイジク)	352	1967. 2. 14	1986. 11. 1
ヨスタル(元ファンカレン)	353	1967. 3. 1	1987. 11. 2
オスワルト・シャーン(元ファンネ)	354	1967. 8. 9	1988. 10. 31
アムタールハムヘルダ・ナクスマ(元エハートセン)	355	1967. 12. 21	1989. 11. 1
カレルツイツバン(元アイザックスイス)	356	1968. 5. 15	1990. 11. 1

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2,225	372×41×13.8	蒸気タービン	28.5	4,500	180
2,835F	(115.4×12.5×4.2)	2軸		(12Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM マクトネルダグラス ハープーン ×8、SWG-1Aランチャー 管制システム、シグナル Mk45発射管制システム(76mm砲も管制する)

SAM ショートアラサーズ シーキャット 4連装ランチャー ×2、シグナル Mk44発射管制システム×2

砲

オートメテラ 76mm/62 コンパクト ×1、シグナル LIOD光学方位盤Mk2(逐次換装している。)

魚雷

324mm Mk32 3連装発射管×2

ソナー

シグナル CWE 610 ハルソナー

VDS

ヘリコプター

ウェストランド ワズ ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ファタヒラ級 FFG 3 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ファタヒラ	361	1979. 7. 16	1975. 8に3 隻発注された
マラハヤティ	362	1980. 3. 21	
ナラ	363	1980. 8. 4	

(ナラはヘリコプター甲板を有しており、他の2 艦とは異なっている。)

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
1, 200	276×36. 4×10. 7	CODOG	30	4, 250	89
1, 450F	(84 ×11. 1×3. 3)	2軸		(16Kt)	(11)

LIPS CP プロペラ

ウ 装備武器

ミサイル

SSM エアロパステリアル MM 38 イグゾセ×4

砲

ボフォース 4. 76インチ /48 ×1

ボフォース 40mm/70 ×1 (ナラは2)

ラインメタル20mm×2

魚雷

324mm Mk32 発射管×6 又は ILAS 3 3連装発射管×2 (ナラは装備していない。)

対潜攻撃武器

ボフォース 375mm 2 連装×1

ソナー

シグナル PHS-32 ハルソナー

ヘリコプター

ウェストランド リスプ ×1 (ナラのみ装備)

(3) テイヤハフ級 FF (英国 トライバル級) 3 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
マルタクリステイヤハフ (元スル)	331	1964. 4. 17	1985. 5. 2
ウィルヘルムスガリアス (元グルカ)	332	1963. 2. 13	1985. 10. 16
ハサステイン (元ターター)	333	1962. 2. 26	1986. 4. 3

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
2, 300	360×42. 5×18	COSAG	25	5, 400	267
2, 700F	(106. 7×13×5. 5)	1軸		(12Kt)	(24)

CP7プロペラ

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

ミサイル

SAM ショートブラスターズ シーキャット 4連装ランチャー ×2、光学方位盤

砲

ビッカーズ 4.56インチ ×2

エリコン20mm×2

12.7mm機関銃

ソナー

グラスビター タイプ 177 ハルソナー

グラスビター タイプ 170B ハルソナー

ケルビンヒューズ タイプ 162 類別ソナー

ヘリコプター

ウエストランド ワスパ ×1

(4) キハジナルデワンタラ級 FFG/AX (ユーゴスラビア) 1 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
キハジナルデワンタラ	364	1981. 10. 31	1978. 3. 14 に発注された。

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	317.3×36.7×15.7	CODOG	26(ガス)	4,000	76
2,050F	(96.7 ×11.2×4.8)	2軸 CP プロペラ	20(ディーゼル)	(18Kt)	(11) 教官14 候補生100

ウ 装備武器

ミサイル

SSM エアロスターティアール MM 38 イグゾセ×4

砲

ボフォース 57mm/70 ×1

ラインメタル20mm×2

魚雷

21インチ (533mm) 発射管×2

対潜攻撃武器

爆雷投射機×1

ソナー

シグナル PHS-32 ハルソナー

ヘリコプター

NBO 105 ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) サマディクン級 FF (米国 クラウドジョーンズ級) 4 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
サマディクン (元ジョン R. ベリー DE1034)	341	1959. 5. 5	1973. 2. 20
マルタディクタ (元チャールズ ベリー DE1035)	342	1959. 11. 25	1974. 1. 31
モンジンジティ (元クラウドジョーンズ DE1033)	343	1959. 2. 10	1974. 12. 16
グラーライ (元マクモリス DE1036)	344	1960. 3. 4	1974. 12. 16

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,720	310×38.7×18	ディーゼル	22	3,000	171
1,968F	(95 × 11.8 × 5.5)	1軸		(18Kt)	(12)

ウ 装備武器

砲

- 米 3インチ/50 Mk 34×1
- ソ連 37mm/63連装×2
- ソ連 25mm/80連装×2

魚雷

- 324mm Mk32 3連装発射管×2

爆雷

- 爆雷投射機×2

ソナー

- ハルナー: エト (サマディクン)、SQS-45V (マルタディクタ)、SQS-39V (モンジンジティ)、SQS-42V (グラーライ)

2 小型水上艦艇 57 隻

[コルベット] 16隻

(1) カピタンパチムラ級 FS (東独 パルチム I 級) 16隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
371 ~ 386	1981~85	1993. 8. 25 ~ 1996

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
769	246.7×32.2×11.5	ディーゼル	28	1,750	62
	(75.2 × 9.8 × 3.5)	3軸		(18Kt)	(9)
		CP7°ロペラ (中央)			

HP 「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

ソ連 57mm/80連装×2

30mm連装×2

魚雷

400mm 発射管×4

対潜攻撃武器

RBU 6000ランチャー ×2

爆雷投下機×2

機雷

敷設軌条あり

ソナー

MG 332T ハルソナー

エルクテイルVDSシステム

[高速ミサイル艇] 4 隻

(2) マンドー級 PCFG (韓国 ダッガー級PSFM Mk5) 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
621 ~624	1979. 7. 20 ~1980. 2	1975 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	167.4×23.9×7.5	CODOG	41(ガス)	2,000	43
270F	(50.2 ×7.3 ×2.3)	2軸 CP7 ^o ロベラ	17(ディーゼル)	(17Kt)	(7)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM エアロスタリアル MM 38 イグゾセ×4

砲

ボフォース 57mm/70 Mk 1×1

ボフォース 40mm/70 ×1

ラインメタル 20mm ×2

[魚雷艇] 2 隻

(3) シンガ級 PC (独 PB57級 (NAV I)) (ASW) 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
651, 653	1988, 89	1982 発注

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (15Kt)	乗員(名) (士官)
447F	190.6×25×9.2 (58.1 × 7.6 × 2.8)	ディーゼル 2軸	27	6,100 (15Kt)	42 (6)

ウ 装備武器

砲

ボフォース SAK 57mm/70 Mk 2×1

ボフォース SAK 40mm/70 ×1

魚雷

21インチ (533mm) 魚雷発射管×2

ソナー

シグナル PMS 32

[哨戒艇] 35隻

(4) パンドロン級 PC (独 PB57級 (NAV II)) (AAW) 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
801, 802	1992, 93	1982 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (15Kt)	乗員(名) (士官)
428F	190.6×25×9.2 (58.1 × 7.6 × 2.8)	ディーゼル 2軸	27	6,100 (15Kt)	42 (6)

ウ 装備武器

砲

ボフォース SAK 57mm/70 Mk 2×1

ボフォース SAK 40mm/70 ×1

ラインメタル 20mm ×2

(5) カカブ級 PC (独 PB57級 (NAV III)) (SAR) 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
811 ~ 813	1988~93	1982 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (15Kt)	乗員(名) (士官)
423F	190.6×25×9.2 (58.1 × 7.6 × 2.8)	ディーゼル 2軸	27	6,100 (15Kt)	40 予備17

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

ホフオース SAK 40mm/60 ×1

12.7mm機関砲×2

ヘリコプター

NB0 105 又はワズプ のためのヘリ甲板

(6) バラクダ級 PC (独 PB57級 (NAV IV)) 1 隻*

ア 艦名等

番号	就役	移転
814	1995	1982 発注

(大統領用ヨットとして使用されており、小規模の改造がされている。)

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬) (15Kt)	乗員(名) (士官)
	190.6×25×9.2	ディーゼル	27	6,100	40
423F	(58.1 × 7.6 × 2.8)	2軸		(15Kt)	予備17

ウ 装備武器

砲

ホフオース SAK 40mm/60 ×1

12.7mm機関砲×2

ヘリコプター

NB0 105 又はワズプ のためのヘリ甲板

(7) シバロー級 PC (オーストラリア アタック級) 8隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
847, 848	1967~68	1973~85
857 ~859		
862 ~864		

HP「海軍砲術学校」公開資料

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
146F	107.5×20×7.3 (32.8 ×6.1 ×2.2)	ディーゼル 2軸	21	1,220 (13Kt)	19 (3)

ウ 装備武器

砲

ボフォース 40mm/60×1

12.5mm機関砲×1

(8) ビマサンデラ級 PH (米 ボーイング ジェットフォイル) 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
	1982～試験 1993～	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
117F	102×30×17.5 (31 ×9.1 ×5.3)	ガスタービン 2軸	48	900 (40Kt)	12

ウ 装備武器

砲

ボフォース 40mm/60×1

ラインタル 20mm ×1

12.7mm機関砲×2

3 機雷戦艦艇 13 隻

[掃海艇] 13隻

(1) プラウレンガト級 MHC (オランダ アルクマール級) 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
711, 712	1998. 3. 26	1985 発注

(インドネシアで更に12隻を建造する計画であったが、国防予算の削減で取り止められた。)

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
502	168.9×29.2×8.2	ディーゼル	15	3,000	46
568F	(51.5 ×8.9 ×2.5)	2軸 電動補助推進機	7	(12Kt)	予備 4

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

ラインメタル 20mm ×2

哨戒任務につく場合には、短射程ミサイルと20mm砲を追加装備する。

対機雷武器

OD3 ホパサ係維掃海具

フイサー F-82磁気掃海具

SAマリン AS 203 音響掃海具

IbisV機雷掃討システム

ソナー

トムソンソナトラ TSM 2022 機雷掃討ソナー

(2) プラウラニ級 MSO (ソ連 T-43級) 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
701, 702		1964

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
580F	190.2×27.6×6.9 (58 ×8.4 ×2.1)	ディーゼル 2軸	15	3,000 (10Kt)	77

ウ 装備武器

砲

37mm/632連装砲×2

12.7mm連装機関砲×4

爆雷 爆雷投射機×2

ソナー スタックアイ ラルソナー

(3) パラウロート級 MSC (東独 コンドルII級 (89型)) 9隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
721 ~729	1971~73	1993. 10. 22

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
310F	186×24.6×7.9 (56.7 ×7.5 ×2.4)	ディーゼル 2軸 CP7°ロペラ	17	2,000 (14Kt)	31 (6)

HP 「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

25mm/80 連装砲×3

機雷

敷設軌条×2

ソナー

ペンデックス AOS 17 VDS 機雷掃討ソナー

(ADI ダイアット 掃海具を装備しつつある。)

4 両用戦艦艇 110隻

[LST] 30 隻

(1) テルクセマンカ級 LST (韓国 タコマ型) 6隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
512 ~517	1981~82	1979×4、1981×2 発注

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
3,750F	328×47.2×13.8 (100×14.4×4.2)	ディーゼル 2軸	15	7,500 (13Kt)	90 (13)

搭載量

重量 1,800トン (MBT ×17を含む)、LCVP×2、人員 200名

ウ 装備武器

砲

ボフォース 40mm/60 ×2 ~3

ラインメタル 20mm ×2

ヘリコプター

ウェストランド ワズプ ×1、516 と517 はNAS-332 スーパーヒューマ×3 を搭載できる。

(2) テルクアンボイナ級 LST (日本 米LST-511 型) 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
503	1961.6	1961

(米国 LST 511のコピーである。)

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2,378	327×50×15	ディーゼル	13.1	4,000	88
4,200F	(99.7 ×15.3×4.6)	2軸		(13.1Kt)	

搭載量

重量 2,100トン、LCVP×4、人員 212名

HP 「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

37mm対空砲×6

- (3) テルクランサ級 LST (米 LST-512 級) 7隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
511	1944. 12. 6	1961. 6

(ジェーン年鑑1996-1997 では、この級は「テルクボーン」1 隻のみであり、その他の6隻は除籍されて予備役となっている。)

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,653	328×50×14	ディーゼル	11.6	11,000	119
4,080F	(100×15.2×4.3)	2軸		(10Kt)	(+266)

搭載量

重量 2,100トン

ウ 装備武器

砲

ホフス 40mm/60 ×7

- (4) テルクバンテン級 LST (米 LST-512 改級) 2隻

ジェーン年鑑1996-1997 には、この級は記載されていない。また、ミリタリー・バランス1996-1997 では、この級の隻数は両用戦艦艇の合計隻数に含まれてなく28隻とされているが、ここでは30隻にしている。

- (5) テルクギリマヌク級 LST (独 フロッシュ I / II 級 (108 型)) 14 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
531 ~542	1976~79	1993. 8. 25

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	321.5×36.4×9.2	ディーゼル	18		
1,950F	(98 ×11.1×2.8)	2軸			

搭載量

重量 600トン

ウ 装備武器

砲

37mm連装砲×2

機雷

後部扉から敷設することができる。

HP「海軍砲術学校」公開資料

5 潜水艦 2隻

(1) カクラ級 SSK (独 209/1300型) 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
カクラ	401	1981. 3. 19	1977. 4. 2発注
ナガラ	402	1981. 7. 6	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
水上(潜航)	長×幅×高		水上(潜航)		(士官)
1,285	195.2×20.3×17.9	ディーゼル, 電気	11	8,200	34
(1,390)	(59.5 ×6.2 ×5.4)		(21.5)	(8Kt)	(6)

潜航深度 240 m、 行動日数 50 日

ウ 装備武器

魚雷

21インチ (533mm) 艦首発射管×8、AEG SUT Mod 0 魚雷×14

ソナー

アトラスエレクトロニック CSU 3-2

PRS-3/4 パッシブ レンダリング

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 海軍の航空機

1 海軍所属の対艦攻撃機

(1) AIRTECH CASA/Nurtanio CN-235-100IPTN: 6機

運用最大速力 (海面) 240 kt (445 km/h)

サービスマンリング 7,620 m (25,000 ft)

航続距離 450 哩 (834 km) 以上

武器 洋上監視が主任務であるが、グゾセ AM 39を搭載できる。

2 対潜哨戒機

[回転翼機]

(1) Westland Wasp HAS Mk1: 6機

巡航速力 (海面) 110 kt (204 km/h)

サービスマンリング 1,220 m (4,000 ft)

行動半径 100 哩 (185 km) 以上

武器 ASW: Mk 44 魚雷×2 又は Mk 46 魚雷×1、対潜爆弾又は機雷

(2) EUROCOPTER AS-332L 8スーパーピューマ: 4機

巡航速力 150 kt (277 km/h)

サービスマンリング 5,100 m (16,995 ft)

航続距離 460 哩 (851 km)

航続時間 4 h 54 m

武器 ASW: Mk 46 魚雷×2 又は対潜爆弾、ASV: グゾセ ASM

第3項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機

1 対地攻撃機

(1) マクドネルダグラス A-4E: 18機、TA-4H: 2機 (データは得られなかった。)

運用最大速力 (海面) kt (km/h)

サービスマンリング m (ft)

航続距離 哩 (km) 以上

武器 ASM、20 mm Mk12 キャン×2、DEFA 30 mm キャン (オプション)、魚雷

(2) Lockheed General Dynamics F-16A: 7機、F-16B: 4機

最大水平速力 (高度12,200m(40,000ft)

マッハ 2.0 以上

サービスマンリング 15,240 m (50,000ft) 以上

行動半径 500 哩 (925 km) 以上

武器 M61 A1 20 mm キャン、マベリック ASM

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) ホーク Mk 53: 14 機

最大水平速力 535 kt (990 km/h)
サービスマン 15,250 m (50,000 ft)
行動半径 (搭載武器 2,268 kg (5,000 lb))
538 哩 (998 km)
(搭載武器 908 kg (2,000 lb))

781 哩 (1,448 km)

フェリー航続距離 1,313 哩 (2,433 km)

武器 30 mm アテン機銃、シーイーグル ASM

(4) ホーク Mk 109: 7 機、ホーク Mk 209: 1 機

水平速力 マッハ 0.88

サービスマン 15,250 m (50,000ft) 以上

戦闘行動半径 538 哩 (998 km) 以上

航続時間 約 4 h 0 m

武器 ASW: スティングレー ホミング 魚雷、ASV: マベリック ミサイル、シーイーグル ASM

2 戦闘機

(1) ノースロップ

F-5E: 8 機

F-5F: 4 機

最大水平速力 (10,975m (36,000ft))

1.64マッハ

1.56マッハ

サービスマン 15,790 m (51,800ft)

15,485 m (50,800 ft)

戦闘行動半径 570 哩 (1,056 km)

520 哩 (964 km)

武器 M39 A2 20 mm キャン×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

- (1) マクドネルダグラス ハープーンSSM
搭載艦艇 ファンスペイジク級 FFG
アクティブレーダー ホーミング 130 km(70nm) 0.9マッハ
弾頭重量 227 kg
- (2) エアロスパティアル MM 38イグゾセ SSM
搭載艦艇 ファタヒラ級 FFG、ハジャルデワンタラ級 FFG/AX、ダッガー級 PCFG
慣性航法、アクティブレーダー ホーミング 42 km(23nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 165 kg
- (3) ショートブラザーズ シーキャット SAM
搭載艦艇 ファンスペイジク級 FFG、トライバル級 FF
光学/ レーダー誘導 5 km(2.7nm)
弾頭重量 10 kg

2 砲

- (1) オットメララ 76mm/62コンパクト砲
搭載艦艇 ファンスペイジク級 FFG
仰角 85°、発射速度 85 発/分、射程 16 km(対水上) 12 km(対空)
弾丸重量 6 kg
- (2) ボフォース 4.7 インチ/46 砲
搭載艦艇 ファタヒラ級 FFG
仰角 80°、発射速度 80 発/分、射程 18.5 km
弾丸重量 21 kg
- (3) ビッカーズ 4.5 インチ砲
搭載艦艇 トライバル級 FF
仰角 50°、発射速度 14 発/分、射程 17 km
弾丸重量 25 kg
- (4) 米 3 インチ/50 Mk 34 砲
搭載艦艇 クラウドジョーンズ級 FF
仰角 85°、発射速度 50 発/分、射程 12.8 km
弾丸重量 6 kg
- (5) ボフォース 57 mm/70砲
搭載艦艇 ハジャルデワンタラ級 FFG/AX、ダッガー級 PCFG
仰角 75°、発射速度 200発/分、射程 17 km
弾丸重量 2.4 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (6) ボフォース SAK 57 mm/70 Mh 2 砲
搭載艦艇 シンガー級 PC、パンドロン級 PC
仰角 75°、発射速度 200発/分、射程 14 km
弾丸重量 2.4 kg
- (7) ソ連 57 mm/80連装砲
搭載艦艇 パルチム級 FS
自動 仰角 85°、発射速度 120発/分、射程 6 km
弾丸重量 2.8 kg
- (8) ボフォース 40mm/70 砲
搭載艦艇 ファタヒラ級 FFG、ダッガー級 PCFG、シンガー級 PC、パンドロン級 PC
仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km
弾丸重量 0.96 kg
- (9) ボフォース 40mm/60 砲
搭載艦艇 カカブ級 PC、シバロー級 PC、ビマサムデラ級 PH
発射速度 240発/分、射程 12.6 km
弾丸重量 0.96 kg
- (10) ソ連 37mm/63 連装砲
搭載艦艇 クラウドジョーンズ級 FF
仰角 80°、発射速度 160発/分、射程 9 km
弾丸重量 0.7 kg
- (11) ソ連 30mm 連装砲
搭載艦艇 パルチム級 FS
仰角 85°、発射速度 500発/分、射程 5 km (対空)
弾丸重量 0.54 kg
- (12) ソ連 25mm/80 連装砲
搭載艦艇 クラウドジョーンズ級 FF
仰角 85°、発射速度 270発/分、射程 3 km
弾丸重量 0.34 kg
- (13) ラインメタル 20mm 砲
搭載艦艇 ファタヒラ級 FFG、ハジャルデワンタラ級 FFG/AX、ダッガー級 PCFG、
パンドロン級 PC、ビマサムデラ級 PH
仰角 55°、発射速度 1,000発/分、射程 2 km (対空)
弾丸重量 0.24 kg
- (14) エリコン 20 mm 砲
搭載艦艇 トライバル級 FF、
仰角 55°、発射速度 800発/分、射程 2 km (対空)
- (15) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 トライバル級 FF、カカブ級 PC、ビマサムデラ級 PH
- (16) 12.5 mm 機関砲
搭載艦艇 シバロー級 PC

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 魚雷

(1) ハネウエル Mk 46 対潜魚雷 (米)

搭載艦艇 ファンस्पイジク級 FFG、ファタヒラ級 FFG、クラウドジョーンズ級 FF
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 11 km 40kt、探知距離 460 m (推定)
直径 324 mm、重量 230 kg、弾頭重量 44 kg HE

(2) AEG SUT 対潜/ 対水上魚雷 (独)

搭載艦艇 ハジヤルデワントラ級 FFG/AX、シンガ級 PC、カクラ級 SSK
ワイヤーガイド アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 28 km 23kt、12 km 35kt
直径 533 mm、重量 1,420 kg、弾頭重量 250 kg

4 対潜武器

(1) ボフォース 375mm 対潜弾

搭載艦艇 ファタヒラ級 FFG、
54 エリカ 射程 1,600 m、ネリー 射程 3,600 m

(2) リンボー 3 連装 Mk 10

搭載艦艇 トライバル級 FF
射程 1,000 m
弾頭重量 92 kg

(3) RBU 6000 12 連装 ランチャー

搭載艦艇 パルチム級 FS
自動装填 射程 6,000 m
弾頭重量 31 kg

(4) 爆雷投射機

搭載艦艇 ハジヤルデワントラ級 FFG/AX、クラウドジョーンズ級 FF

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

(1) イグゾセ AM 39ミサイル

搭載機 CASA/ ニュルタニオ CN-235 MPA、AS-332L 8 スーパーピューマ
速力 ハイブソニック、射程 50 km、重量 625 kg

(2) マベリック ASMミサイル

搭載機 F-16、ホーク Mk 109、Mk 209、A-4E、TA-4H
射程 8 ~25 km

	A/B	D	E	F/G
誘導方式	TV	赤外線	レーザー	赤外線
重量	210 kg	220 kg	293 kg	307 kg

(3) シーイーグル ASMミサイル

搭載機 ホーク Mk 109、Mk 209、Mk 53
射程 110 km、誘導方式 慣性航法+ アクティブ レーダーホーミング、重量 600 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 魚雷

(1) ハネウエル Mk 46 対潜魚雷

搭載機 ウェストランド ワズプ (HAS Mk 1) 、AS-332L 8 スーパーピューマ
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 11 km 、速力 40kt、探知距離 460 m
直径 324 mm (12.75 インチ) 、重量 230 kg、弾頭重量 44 kg 、最大深度 秘

(2) Mk 44 魚雷

搭載機 ウェストランド ワズプ (HAS Mk 1)
アクティブ音響ホーミング、射程 5 km 、速力 30 kt、最大深度 300 m
直径 324 mm (12.75 インチ) 、重量 233 kg、弾頭重量 34 kg

(3) スティングレー魚雷

搭載機 ホーク Mk 109、 Mk 209
アクティブソナー ガイダンス/ ホーミング、射程 km 、速力 45 kt、航走時間 4分
直径 324 mm (12.75 インチ) 、重量 265 kg、弾頭 成形爆薬 HE 、最大深度 1000 m

3 対潜武器

(1) 対潜爆弾

搭載機 ウェストランド ワズプ (HAS Mk 1) 、AS-332L 8 スーパーピューマ
射程

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7	1987/8	
GDP (10 億 π ア)	73,698.0	87,536.0	96,066.0	96,489.0	113,059.13	
(10 億 ト ル)	74.942	83.41	85.76	68.40	68.10	
一人当たり (ト ル)						
国防支出(10 億 π ア)	2,485	2,540		2,318.0		
(10 億 ト ル)	2.527	2.420		1.64		
国防予算(10 億 π ア)			2,600.0	2,318.0	2,188.0	
(10 億 ト ル)			2.321	2.048	1.35	
受領軍事援助(100万 ト ル)	37	58.0	55.0			
年度	1988/9	1988	1989	1990	1991	
GDP (10 億 π ア)	126,739.28	139,				
(10 億 ト ル)						
一人当たり (ト ル)						
国防支出(10 億 π ア)	452.0	166,330.0	197,721.0	227,163.0		
(10 億 ト ル)	74.27	82.73	93.97	107.29	116.48	
国防予算(10 億 π ア)						
(10 億 ト ル)	2,485	2,540	2,819.0	2,965.8	2,822.0	
	2.527	2.420	1.593	1.61	1.5	
受領軍事援助(100万 ト ル)				2,674.0	3,150.0	
				1.450	1.55	
		2.8		2.0	7.3	
年度	1992	1993	1994	1995	1996	97
GDP (10 億 π ア)	256,508	302,180	379,212	383,051		
(10 億 ト ル)	126.4	144.7	155	170		
一人当たり (ト ル)	3,000		3,600	3,900		
国防支出(10 億 π ア)	3,742.0	4,239.1	5,278	6,185		
(10 億 ト ル)	1.84	2.03	2.4	2.8		
国防予算(10 億 π ア)	3,596.0	4,239.1	5,810	5,704.2	7,032	
(10 億 ト ル)	1.77	2.0	2.32	2.57	3	
受領軍事援助(100万 ト ル)						0.6 .8

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フリゲート 艦	13	13	15	15	15	16	17	17	17	13	13	17
フランスペイグ級(オランダ製)2225t	(1)		(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
ファタヒラ級1200t	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
トライバル級(英国製)2300t	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
ジョーンズ級(米国製)1720t	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	4*	4*	(4)
ハジャルテワンタラ級(ユーゴ製)1850F	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
リカ級(ソ連製)1000t		(2)	(2)	(2)								
パッテマ級950t	(1)											
保有隻数計	13	13	15	15	15	16	17	17	17	13	13	17
保有基準排水量計 (k トン)	22	21	27	28	28	30	33	33	33	33	33	33

注：* 保管船を示す。

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 小型水上艦艇

ミサイル、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット										4	16	
パルチム級 (東独製)										(4)	(16)	
高速ミサイル艇 (FAC(G))	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
PSMM-5タツカ級270t (F)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
高速魚雷艇 (FAC(T))	4	2	2		1	2	2	2	2	2	2	2
ラーセンFRG 57m NAV I 447t (F)					(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
ラーセンTNC-45級	(2)	(2)	(2)									
ヘルアンク級 (西独製)	(2)											
高速砲艇 (FAC(P))	4	2	2	2								
ラーセンPB-57 級	(4)	(2)	(2)	(2)								
哨戒艇	24	31		23	30	21	37	42	39	36	34	35
ラーセンFRG 57m NAV II					(7)	(3)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
クロンシュタット級 (ソ連製)	(3)	(3)	2					(2)	(3)	(3)	(2)	
ラーセンFRG 57m NAV III								(4)	(4)	(4)	(3)	(3)
クラルジエビカ級 (ユーゴ製) (PBR-500)				(4)	(3)	3	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
アンダル級	(2)											
アタック級 (豪製)	(8)	(8)	6	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)
PC-461級 (米国製)	(1)	(1)	1	(1)	(1)	(1)						
カーペンタリア級 (豪製)	(6)	(6)	6									
スピア級			2									
ラーセンFPB-28			5									
カラバン級		(2)										
PGM-39 (米国製)		(1)										
ヤラセ級		(1)										
アカブリ級		(2)										
コマ級		(1)										
ジェットフォイル429 型水中翼船	1	(3)	5	(5)	(5)		(5)	(5)	(1)	(1)	(1)	(4)
その他				(6)	(6)	(6)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)
保有隻数計	37	39	38	29	35	27	43	48	45	42	44	57

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

ミリター・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	13
アルクマール級(オランダ製)				(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
T-43(ソ連製)	(2)	(2)	(2)						(2)	(2)	(2)	(2)
コンドルII級(東独製)											(2)	(9)
保有隻数計	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	13

4 両用戦艦艇

ミリター・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦車揚陸艦(LST)	18	12	12	15	15	15	14	16	14	14	14	30*
テルクセマンカ級				(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
テルクアンボイ級				(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
テルクランサ級(米国製LST-512)				(8)	(8)	(8)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)
テルクハンテン級								(2)				(2)
テルクジリマナク級 (独ケフロッシュI/II)												(14)
多用途揚陸艇(LCU)	6	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4
中型揚陸艦(LCM)	28	38	38	40	40	40	20	45	45	45	45	45
戦車揚陸艦	(3)											
多用途揚陸艇(LCVP)	(22)	20	20	20	20	20	20					
輸送/貨物船	(2-4)											
その他									30+	30+	30+	31+
保有隻数計	46	75	75	79	79	79	58	66	94	94	94	110

注: * ミリタリーバランスは28としているが誤りと考えられる。

HP「海軍砲術学校」公開資料

5 潜水艦

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
カヲ級(1300型)1285ts	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
W級 1080ts		1*	1*									
保有隻数計	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保有基準排水量計 (kト)	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3

注：* 訓練用を示す。

6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
給油艦				1	1	1	1	1	1	1	1	1
指揮／支援艦	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
支援艦	11	19	19									
貨物船	(2)	(4)	(4)									
給油船	(4)	(4)	(4)						3	3	3	3
輸送船	(2)	(2)	(2)	6	6	6	8	8	8	4	4	
修理船	(1)	(2)	(1)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
病院船	(1)											
練習船	(1)	(2)	(1)									
調査船		(3)	(4)	8	8	8	6	6	6	6	6	6
潜水艦母艦		(1)	(1)									
補助船		(1)	(1)									
航洋曳船			(1)	2	2	2	1	1	1	1	1	2
独ラセンNAV IVヨット												1
保有隻数計	13	21	21	20	20	20	18	18	21	17	17	15

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
海上偵察機 CN-235-100IPTN/CASA								6	6	6	6	6
合計								6	6	6	6	6

2 対潜哨戒機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
回転翼機 ワズプ AS-332スーパーヒューマ	10	10	10	8	9	9	9	9	9	8	6	6
	4	2	2	1	3	3		10	10	4	4	
合計	14	12	12	9	12	12	9	9	19	18	10	10

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
A-4E	27	30	27	27	28	26	26	26	26	26	22	18
TA-4H スカイホーク	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2
F-16A						8	8	8	8	7	7	7
F-16B						4	4	4	4	4	4	4
ホーク Mk 53	16	16	16	15	15	15	15	15	14	14	14	14
ホーク Mk 109												7
ホーク Mk 209												1
戦闘機												
F-5E	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	8	8
F-5F	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合計	60	63	59	58	61	69	69	69	68	67	61	65

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

トライバル級 FF (1985 年～) とファンスペイジク級 FFG (1986年～) の保有によって、初めて対空ミサイル、ショートブラザーズ シーキャット SAM (射程 5km) を有することとなり、ファンスペイジク級 FFGに装備のオットメララ 76mm/62コンパクト砲 (対空射程12km) と合わせて、対空武器の性能が向上した。その後は新しい艦種は加わっていないので対空武器の性能に変化はない。

2 対艦武器

ファンスペイジク級 FFG (1986年～) の保有によって、対艦ミサイル、マクドネルダグラス ハープーン SSM (射程 130 km(70nm))を有することとなり、それまでに有していたエアロスパティアル MM 38イグゾセ SSM (射程 42 km(23nm)) に比して大きく射程が増大した。

砲については、トライバル級 FF (1985 年～) のビッカース 4.5インチ砲 (射程 17 km) とファンスペイジク級 FFG (1986年～) のオットメララ 76mm/62コンパクト砲 (対水上射程 16 km) は、それまでのファタヒラ級 FFGのボフォース 4.7インチ/46 砲 (射程 18.5 km) やハジャルデワントラ級 FFG/AX、ダッガー級 PCFG のボフォース57 mm/70砲 (射程 17 km) に比べて、射程について大きな変化はない。

3 対潜武器

魚雷については、ハネウエル Mk 46 対潜魚雷 (射程 11 km 40kt)とAEG SUT 対潜/ 対水上魚雷 (射程 28 km 23kt、12 km 35kt) があるが、この期間に変化はない。

前投兵器は、パルチム級 FS(1993年～) のRBU 6000 12 連装 ランチャー (射程6,000 m) によって、ファタヒラ級 FFGのボフォース 375mm対潜弾 (射程 3,600 m) 及びトライバル級 FFのリンボー 3連装 Mk 10 (射程 1,000 m) に比べて射程が増大した。

第2項 航空機性能の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

対艦攻撃を主たる任務とする海軍の航空機は有していないが、対象期間の当初から有している対潜ヘリコプターAS-332L 8 スーパーピューマ (航続距離 460浬) と、1990年代の初期に導入した海上偵察機 CASA ナータニオ CN-235 MPA(航続距離 450浬) は、AM 39 イグゾセ ASM を搭載することができ、対艦攻撃が可能である。航続距離については変わらない。

2 対潜哨戒機

対象期間を通じて、対潜ヘリコプター ウェストランド ワズプ HAS Mk 1(戦闘行動半径 100 海里) と、ナータニオ (エアロスパティアル) NAS 332 スーパーピューマ (航続距離 460 浬) を有しており性能についての変化はない。

3 対艦攻撃能力を有する空軍航空機

対象期間の当初には、マクドネルダグラス A-4E、TA-4H、ホーク Mk 53 (戦闘行動半径 538浬以上)、ノースロップ F-5E、F-5F (戦闘行動半径 570浬) を有しており、1990年代の初めにロッキード・ゼネラルダイナミクス F-16A、F-16B(行動半径 500浬以上)、1996にはホーク Mk 109、Mk 209 (戦闘行動半径 538浬以上) を新しく導入しているが、戦闘行動半

HP「海軍砲術学校」公開資料

径についてはおおむね同じである。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

対象期間を通じて、イグゾセ AM 39ミサイル（射程:50 km、搭載機:CASA/ニュルタニオ CN-235 MPA、AS-332L 8 スーパーピューマ）、マベリック ASMミサイル（射程:8~25 km、搭載機:F-16、ホーク Mk 109、Mk 209、A-4E、TA-4H）、シーイーグル ASMミサイル（射程:110 km）を有しており、射程については変わらない。

2 対潜武器

米国の Mk 44魚雷（射程:5 km、搭載機:ウエストランド ワस्प HAS Mk 1）、Mk 46 魚雷（射程:11 km、搭載機:ウエストランド ワस्प HAS Mk 1、AS-332L 8 スーパーピューマ）を有しているが、1990年代半ばには英国のスティングレー魚雷（搭載機:ホーク Mk 109、Mk 209）が加わった。これは米国のMk 46 魚雷とほぼ同じ性能とされており、質の面での大きな変化はない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2章 フィリピン

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、海軍は、艦隊、沿岸警備隊、及び海兵隊の3つの主要な組織で構成されている。国内は6 海軍区と8 沿岸警備区に分けられており、47の基地と152 の分遣基地がある。沿岸警備隊の部隊は、反乱対処等については、海軍区司令官の指揮下に入る。海軍区には、3 個海軍建設大隊と30のSEALチームが展開している。

なお、1996年には、カガヤン（北部）、パラワン（西部）、タウイタウイ（南部）、及びセブ（中部）の4 海軍区に編成替えをすすとしている。

第2項 艦隊の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍司令官 (Flag Officer in Command)

副司令官 (Vice Commander)

海軍参謀長 (Chief of Naval Staff)

艦隊司令官 (Commander Fleet)

沿岸警備隊司令官 (Commander Coast Guard)

海兵隊司令官 (Commander Marine)

第3項 基地

主基地 キャビテ

作戦基地 サンビセンテ、マクタン、ターナテ

基地 セブ、ダバオ、レガスピ、ボニファチオ、タクロバン、サンミゲル、ウルガン、バラン、プエルトプリンセサ、パガサ

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 1隻

[フリゲート艦] 1 隻

(1) パジャフマボン級 (米国キャノン級 FF) 1隻

2 小型水上艦艇 54 隻

[コルベット] 11隻

(1) リザル級 (米国オーク級 FS) 2隻

(2) ミゲルマルバー級 (米国 PCE 827級 FS) 8隻*

(3) マガットサラマツト級 (米国 MSF) 1 隻

[哨戒艇] 43隻

(4) アギナルド級 PC 2 隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (5) カギティンガン級 PC 3 隻
- (6) ジョセアンドラダ級 PC 12 隻
- (7) トーマスバティロ級 PCF (韓国シードルフィン級) 5隻
- (8) その他 21 隻

注: *) この級は、ジェーン年鑑では7 隻となっているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

3 機雷戦艦艇

保有していない。

4 両用戦艦艇 48 隻

[LST] 9隻

- (1) バコロッドシティ級 LSV (米国 フランク S ビーソン級) 2隻
- (2) ザンボアンガデルスル級 LST (米LST-1/511/542 型) 7隻

[その他] 39隻

- (3) LCM 30隻
- (4) LCU 3隻
- (5) LCVP 6隻

5 潜水艦 2隻

保有していない。

6 支援艦艇 11 隻

レイクブヒ級タンカー YO (ヨグ型) 2 隻

ヤカル級修理船 AR (米国アキラス級) 1 隻

調査/ 試験船 3隻

支援船 3 隻

レイクブルサン級給水船 AWT 2隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

8 対潜哨戒機

保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 戦闘機

1 個スクードロン ノースロップ F-5A: 5 機、 F-5B: 2 機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

1 海兵隊

人員 9,000 名

4 個旅団 (10個大隊) (3個戦術旅団 10 個戦術大隊、1 個支援連隊、1 個援助群、1 個警備大隊及び1 個監視大隊)

ミンダナオ及びパラワンに展開している。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 1隻

[フリゲート艦] 1隻

(1) パジャフマボン級 (米国キャノン級 FF) 1隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
パジャフマボン(元ハツ DE263)	PF 11	1943. 8. 27	1978. 12. 23オーバーホール 再就役1980. 2. 27

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(裡)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,390	306×36.6×14	ディーゼル 電気	18	10,800	160
1,750F	(115.4×12.5×4.2)	2軸		(12Kt)	

ウ 装備武器

砲

米 3インチ /50 Mk 22 砲 ×3、武器管制 Mk 52 GFCS Mk 41 測距儀
米ホーフォース 40mm/56 連装砲×3、武器管制 Mk 51 Mod 2 GFCS
エリコン 20mm 砲×2

対潜攻撃武器

ハッジホック Mk10×1
K ガン Mk 6 爆雷投射機×8

ソナー

SQS-17B ハルソナー

2 小型水上艦艇 54 隻

[コルベット] 11隻

(1) リザル級 (米国オーク級 FS) 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PS 74、PS 70	1944~45	1965、1967

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(裡)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,090	221.2×32.2×10.8	ディーゼル 電気	18	5,700	80
1,250F	(67.4 ×9.8 ×3.3)	2軸		(16Kt)	(5)

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

米 3インチ /50 Mk 26 砲 ×2

米ホフォース 40mm/56 連装砲×2

エリコン 20mm 連装砲×2

魚雷

324mm 3 連装発射管×1、ハネウエル Mk 44 対潜魚雷

対潜攻撃武器

ハッジホグ Mk10×1

Mk 9爆雷投下機×2

ソナー

SQS-17B ハルソナー

(2) ミゲルマルバー級 (米国 PCE 827級 FS) 8隻

この級は、ジェーン年鑑では7隻となっているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。そのため艦番号は1隻不足している。

ア 艦名等

番号	就役	移転
PS 19、 PS 22 ~23	1943~45	1948~1976
PS 28 ~29、 PS 31 ~32		

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
640	184.5×33.1×9.5	ディーゼル 電気	15	6,600	85
914 F	(56.3 ×10.1×2.9)	2軸		(11Kt)	(8)

ウ 装備武器

砲

米 3インチ /50 砲 ×1

米ホフォース 40mm/56 砲×2 ~6

エリコン 20mm 砲×2

(3) マガットサラマット級 (米国 アドミラブル級 MSF) 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PS 20	1944. 6. 14	1975. 11

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
640	184.5×33.1×9.5	ディーゼル 電気	15	6,600	85
914 F	(56.3 ×10.1×2.9)	2軸		(11Kt)	(8)

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

ウ 装備武器

砲 米 3インチ /50 砲 ×1、 米ホーフォース 40mm/56 砲×2 ~6
 エリコン 20mm 砲×2

[哨戒艇] 43隻

(4) アギナルド級 PC 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PG 140、141	1990、1996	フリビソ 製

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
278 F	144.4×24.3×5.2 (44 ×7.4 ×1.6)	ディーゼル 2軸	25	1,100 (18Kt)	58 (6)

ウ 装備武器

砲 米ホーフォース 40mm/60 砲×2、 エリコン 20mm 砲×2
 12.7mm機関砲×4

装備武器をSAM とオットメララ76mm/62 砲に換装することが考えられている。

(5) カギティンガン級 PC (独) 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 101、PG 102、PG 104	1979	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
132 F	100.3×18.6×5 (30.6 ×5.7 ×1.5)	ディーゼル 2軸	16	(Kt)	30 (4)

ウ 装備武器

砲 30 mm 連装砲×2、 12.7mm機関砲×4、 7.62mm機関砲×2

(6) ジョセアンドラダ級 PC 12 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PG 370~372、PG 374~381 PG 383		発注1989~1993

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
56 F	78 ×20×5.8 (23.8 ×6.1 ×1.8)	ディーゼル 2軸	28	1,200 (12Kt)	8 (1)

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

- ブレッタ 25mm砲×1
- 12.7mm Mk 26機関砲×4
- 7.62mm M60機関砲×2

(7) トーマスバティロ級 PCF (韓国シードルフィン級) 5隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PG 110～112、PG 114～115	1980年代	1995～1996

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
170 F	121.4 × 22.6 × 5.6 (37 × 6.9 × 1.7)	ディーゼル 2軸	37	600 (20Kt)	31 (5)

ウ 装備武器

砲

- エマーソン エレクトリック 30mm 連装砲×2
- GE/GD 20mmシーバルカンカトリング ×2
- 12.7mm 連装機関砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 両用戦艦艇 48 隻

[LST] 9隻

(1) バコロッドシティ級 LSV (米国 フランク S ビーソン級) 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
LC 550、551	1993～94	1992. 4. 3契約

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワジ(漕)	乗員(名) (士官)
	272.8×60×12	ディーゼル	11.6	6,000	30
4,265F	(83.1×18.3×3.7)	2軸		(11Kt)	(6)
搭載量	車両、コンテナ、貨物等 2,280 トン + 人員150 名				

ウ 装備武器

ヘリコプター甲板 1 機着艦可能

(2) ザンボアング デルスル級 LST (米LST-1/511/542 型) 7隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
LT 86 ～87、LT 501、LT 504	1943～44	1975～78
LT 507、LT 57、LT 516		

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワジ(漕)	乗員(名) (士官)
1,620	328×50×14	ディーゼル	10		60～100
2,472F	(100×15.2×4.3)	2軸			
搭載量	重量 2,100 トン、戦車×16 又は 戦車×10+人員200 名				

ウ 装備武器

砲 米ホフオース 40mm/56 砲 連装×2、単装×2、 エリコン 20mm 砲×4

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[戦闘機]

(1) ノースロップF-5A: 5機、F-5B: 2機

	F-5A	F-5B
最大巡航速力 (高度11,000m(36,000ft)において)		
マッハ	0.97	0.87
サービスマンリング	15,390 m	15,850 m
戦闘行動半径 (燃料 満タン、530 爆弾×2 搭載)		
	485 nm	495 nm

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 砲

- (1) 米 3 インチ/50 砲
搭載艦艇 キヤノン級 FF、オーク級 FS、PCE 827 級 FS
仰角 85°、発射速度 20 発/分、射程 12 km
弾丸重量 6 kg
- (2) ボフォース 40mm/56 砲
搭載艦艇 オーク級 FS、PCE 827 級 FS、
仰角 45°、発射速度 160発/分、射程 11 km
弾丸重量 0.9 kg
- (3) ボフォース 40mm/60 砲
搭載艦艇 アギナルド級 PC、
発射速度 240発/分、射程 12.6 km
弾丸重量 0.96 kg
- (4) エマーソン エレクトリック 30mm 連装砲
搭載艦艇 トーマスバティロ級 PCF、カギティンガン級 PC
- (5) ブレダ 25mm 砲
搭載艦艇 ジョセアンドラダ級 PC
- (6) エリコン 20 mm 砲
搭載艦艇 オーク級 FS、PCE 827 級 FS、アギナルド級 PC
仰角 50°、発射速度 800発/分、射程 2 km (対空)
- (7) GE/CD 20 mm シーバルカン ガトリング砲
搭載艦艇 トーマスバティロ級 PCF
- (8) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 アギナルド級 PC、カギティンガン級 PC、ジョセアンドラダ級 PC、
トーマスバティロ級 PCF
- (9) 7.62 mm M60 機関砲
搭載艦艇 カギティンガン級 PC、ジョセアンドラダ級 PC

2 魚雷

- (1) ハネウエル Mk 44 対潜魚雷
搭載艦艇 オーク級 FS
アクティブ音響ホーミング、射程 5 km、速力 30 kt、最大深度 300 m
直径 324 mm (12.75 ｲﾝﾁ)、重量 233 kg、弾頭重量 34 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 対潜武器

(1) ヘッジホグ Mk 10

搭載艦艇 キャノン級 FF、オーク級 FS

射程 250 m

弾体重量 13.6 kg ×24

(2) K 砲 Mk 6 爆雷投射機

搭載艦艇 キャノン級 FF

射程 160 m 弾体重量 150kg

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

(1) 機関砲

搭載機 F-5A/B

2 対潜武器

保有していない。

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億 ^ペ ソ)	384.5	549.830	609.52	632.24	705.47
(10 億 ^ト ル)	34.6	32.926	32.76	30.55	34.30
一人当たり (ト ^ル)					
国防支出(10 億 ^ペ ソ)					14.91
(10 億 ^ト ル)					0.72491
国防予算(10 億 ^ペ ソ)		8.42	8.820	10.5	
(10 億 ^ト ル)		0.54222	0.47402	0.51506	
受領軍事援助(100万 ^ト ル)	55		68.0	88.3	
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億 ^ペ ソ)	822.87	922.6	1,743	1,244.0	1,346.3
(10 億 ^ト ル)	39.01	42.44	44.19	45.27	52.8
一人当たり (ト ^ル)					2,500
国防支出(10 億 ^ペ ソ)	18.09		22.56		26.3
(10 億 ^ト ル)	0.85755		0.92797		1.1
国防予算(10 億 ^ペ ソ)	10.90	27.34	23.80	27.12	29.1
(10 億 ^ト ル)	0.53212	1.28	0.97898	0.98676	1.1
受領軍事援助(100万 ^ト ル)	127.6		143		322.8
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億 ^ペ ソ)	1,475.0	1,694	1,905		
(10 億 ^ト ル)	54.39	64.1	74.1		
一人当たり (ト ^ル)	2,600	2,700	2,800		
国防支出(10 億 ^ペ ソ)	20.3	29.0	29.6		
(10 億 ^ト ル)	0.749	1.1	1.2		
国防予算(10 億 ^ペ ソ)	33.0	23.2	26.1	28	
(10 億 ^ト ル)	1.2	0.878	1.04	1.1	
受領軍事援助(100万 ^ト ル)	57.5	10.9	1.2	1.4	1.4

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フリゲート 艦	7	7	7	3	3	2	1	1	1	1	1	1
キャスコ級 1766t	(4)	(4)	(4)									
サバージ級 (米国製) 1590t	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)							
キャノン級 (米国製) 1390t	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
保有隻数計	7	7	7	3	3	2	1	1	1	1	1	1
保有基準排水量計 (k トン)	11	11	11	4	4	3	1	1	1	1	1	1

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット	10	10	10	10	8	8	8	8	10	9	9	11
オーク級 (米国製)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(2)
PCE-827 (米国製)	(7)	(7)	(7)	(7)	(5)	(5)	(5)	(5)	(7)	(7)	(7)	(8)
アトミラブル級 (米国製)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
哨戒艇	12	86	86	41	43	43	29	34	23	35	38	43
指揮船	(1)	(1)	(1)									
搜索救難艇SAR		(1)	(1)									
PC-461 (米国製)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)				
アキナルト級 (フィリピン製)									(1)	(2)	(2)	(2)
LSSL (米国製)					(2)	(2)						
カギティンガン級	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)
シーホーク PCI										(12)	(12)	(12)
シートルフィン級 (韓国製)												(5)
PGM-39	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)				
PGM-71	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)						
デハビラント 9209		(31)	(31)									
セワトスイトMk 1, 2, 3		(39)	(39)									
その他		(3)	(3)	(30)	(30)	(30)	(20)	(25)	(18)	(18)	(21)	(21)
保有隻数計	22	96	96	51	51	51	37	42	33	44	47	54

HP「海軍砲術学校」公開資料

- 3 機雷戦艦艇
保有していない。
- 4 両用戦艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
上陸支援艦	3	3	3									
ヒーツ級LST(米国製)									1	2	2	2
戦車揚陸艦(LST)	24	24	24	24	14	5	5	7	8	6	6	7
中型揚陸艦(LSM)	4	4	4	4	4	2	2					
(LCT)				1	1	1	1					
中型揚陸艇(LCM)	61	61	61	60	60	20	20	30	30	30	30	30
多用途揚陸艇(LCU)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
兵員車両揚陸艇(LCVP)	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
保有隻数計	102	102	102	98	88	37	37	46	48	47	47	48

- 5 潜水艦
保有していない。
- 6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ヨット	1	2	2	2	2	2		1				
修理船	3	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	1
支援船	1	1	1					2	3	3	3	3
給油艦	2	2	2		2	2	2	1	2	2	2	2
輸送船				1	1	1	1					
調査艦							3	4	3	3	3	3
給水艦								2	2	2	2	2
保有隻数計	7	8	8	6	8	8	8	12	11	11	11	11

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
F-8H	22	20	12									
戦闘機												
F-5A				8	14	7	7	7	7	5	5	5
F-5B				2	4	2	2	2	2	2	2	2
合計	22	20	12	10	18	9	9	9	9	7	7	7

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

対空ミサイルは保有していない。この期間を通じてキャノン級 FF、オーク級 FS、PCE 827 級 FS に搭載の米 3インチ/50 砲（仰角 85°、発射速度 20 発/分、射程 12 km）が最大の口径の砲である。1990年から逐次就役しているアギナルド級 PC に搭載のボフォース 40mm/60 砲（発射速度 240発/分、射程 12.6 km）によって、射程、発射速度ともに性能が向上した。

2 対艦武器

対艦ミサイルは保有していない。砲については対空武器に記載のとおりである。

3 対潜武器

魚雷については、ハネウエル Mk 44対潜魚雷（射程 5.5 km 30kt）を保有し、オーク級 FSが魚雷発射管を装備しているが、この期間に変化はない。

前投兵器及び爆雷についてもこの期間に変化はない。

第2項 航空機性能の推移

当初は、中国製 F-8H（航続距離 500～1,000 浬、30 mm 機銃搭載）を有していたが、1980年代後半から戦闘機 F-5A、F-5B（航続距離 1,400浬、戦闘行動半径 485浬、機銃搭載）に替えており行動範囲は大きく増大した。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

F-8H、F-5A、F-5B 共に搭載の機銃で対艦攻撃が可能ではあるが、効果は少ない。

2 対潜武器

保有していない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3章 タイ

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997及びミリタリー・バランス1996-97によれば、海軍は、第1海軍区（タイ湾東部）第2海軍区（タイ湾西部）、第3海軍区（アンダマン海）、第1航空群（ウタパオ）第2航空群（ソククラ）で構成されている。

沿岸警備隊は、フリゲート×1、哨戒艇×8、航空機×4で1989年4月1日に試行され、1992年9月29日に哨戒艇×11に増強して正式に発足した。漁船を改造した武装海上レンジャーは、海賊対処に使用されている。艦艇と航空機は海軍から派出され、月単位のローテーションで交代している。

海兵隊は、水陸両用戦大隊を含む2個師団で、1995年の兵力は25,000人と発表されているが、実際には約20,000人である。*

沿岸防備隊は、1992年までに急速に増強され2個師団のレベルであり、タイ湾に面する東海岸の防備に従事している。装備は、沿岸防備用のトラックに搭載のイグゾセ MM 40、155mm 砲、130mm 砲、及び防空用の76mm 砲、40mm砲、37mm砲、20mm砲、PL-9B SAM である。

水上警察は、内水域の沿岸警備に従事しており、武装哨戒艇×62と小火器だけを搭載した約63隻の哨戒艇を運用している。

注：*）本項はジェーン年鑑に基づいており、ミリタリー・バランスとは若干の相違がある。

第2項 主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍司令官 (Commander-in-Chief of the Navy)

副司令官 (Deputy Commander-in-Chief)

司令官補佐官 (Assistant Commander-in-Chief)

参謀長 (Cief of Staff)

副参謀長 (Deputy Cief of Staff)

艦隊司令官 (Commander-in-Chief, Fleet)

艦隊副司令官 (Deputy Commander-in-Chief, Fleet)

艦隊参謀長 (Cief of Staff, Fleet)

第3項 基地

基地 バンコク、サタヒップ（艦隊司令部）、ソククラ、ファンガ（西海岸）、ナクホンファノム（メコン川作戦隊司令部）

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 12 隻

[航空母艦]

- (1) チャクリナルエベット級（スペイン）CVS 1 隻建造中

[ミサイルフリゲート艦] 7 隻

- (2) ナレスアン級（中国25T 型）FFG 1 隻*
- (3) チャオフラヤ級（中国053HT 型 ジャングⅢ級） FFG 2隻
- (4) クラブリル級（中国053HT(H)型 ジャングⅣ級） FFG 2 隻
- (5) フッタヨファ級（米国ノックス級） FFG 2 隻

注：*） ジェーン年鑑1996-97 では2 隻とされている。

[フリゲート艦] 5 隻

- (6) マクットラジャクマーン級（英国ヤロー型） FF/AX 1 隻
- (7) タピ級（米国 PF 103 級） FF 2隻
- (8) タチン級（米国タコマ級） FF 2隻

2 小型水上艦艇 60 隻

[コルベット] 5 隻

- (1) ラタナコシン級（米国） FSG 2 隻
- (2) カムロンシン級 FS 3 隻

[ミサイル艇] 6 隻

- (3) ラチャリット級（イタリア） PCFG 3隻
- (4) プラブパラパク級（シンガポール） PCFG 3隻

[哨戒艇] 49隻

- (5) チョンブリ級（イタリア） PCF 3隻
- (6) サタヒップ級（PSMM Mk 5） PC 6 隻
- (7) PGM 71級 PC 7 隻
- (8) その他 PCI 33 隻

3 機雷戦艦艇 5隻

- (1) バンラチャン級（独 T-48） MHC/MSC 2 隻
- (2) ラドヤ級（米ブルーバード級） MSC 2隻
- (3) タラン級 MCM支援艇 1隻
- (4) その他 MSB 9隻

4 両用戦艦艇 60 隻

- (1) シチャン級（仏国 PS-700） LST 2隻
- (2) アンソン級（米LST 511-1152級） LST 5隻
- (3) クット級（米LSM-1 級） LSM 2隻

[その他] 51隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (4) LCU 9隻
- (5) LCM 24隻
- (6) LCG 1隻
- (7) LSIL 2隻
- (8) ホバークラフト 3隻
- (9) LCVP 12隻
- 5 潜水艦
1996/97年に潜水艦3隻を購入する計画があり、乗組士官の訓練が行われている。
- 6 支援艦艇 11隻
チュラ級給油タンカー AOR 1隻
小型タンカー 4隻
調査船 3隻
練習艦 3隻 (ピンクラオ級 (米キャノン級) FF 1隻を含む)
- 7 海軍所属の対艦攻撃機
[戦闘機]
 - (1) BAe/マクドネルダグラス AV-8S: 6機、TAV-8S: 3機 マタドール (ハリアー)
[対艦攻撃機]
 - (2) A-7E: 14機、TA-7C: 4機
[対潜哨戒機]
 - (3) ロッキード P-3T オリオン: 2機、UP-3T: 1機
(対潜機であるが、ハーブーン ASM 4発を搭載することができる。)
 - (4) フォッカー F-27 マリタイム 200ME: 3機
(対潜機であるが、ハーブーン ASM 2発を搭載することができる。)
- 8 対潜哨戒機
[固定翼機]
 - (1) ロッキード P-3T オリオン: 2機、UP-3T: 1機
 - (2) フォッカー F-27 マリタイム 200ME: 3機
 - (3) グラマン S-2F トラッカー: 4機
[回転翼機]
 - (5) ベル 212: 7機

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

- 1 対地攻撃機 3個スコードロン
 - (1) 1個スコードロン ノースロップ F-5A: 7機、F-5B: 4機
 - (2) 2個スコードロン F-16A: 36機、F-16B: 10機
- 2 戦闘機
2個スコードロン F-5E: 36機、F-5F: 6機

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

1 海兵隊

人員 18,000名

1 個師団司令部、2 個歩兵旅団、1 個砲兵旅団（3 個野砲大隊、1 個対空砲大隊）、1 個水陸両用強襲大隊

なお、配備状況については、資料が得られなかった。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 1隻

[航空母艦]

(1) チャクリナルエベット級 (スペイン) CVS 1 隻建造中

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
チャクリナルエベット	911	1997. 3.	1992. 3. 27契約

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワジ(漕)	乗員(名) (士官)
11,485F	599.1×100.1 ×20.3 (182.6×30.5×6.2)	CODOG 2 軸CPプロペラ	26	10,000 (12Kt)	455+146 航空 (62)

ウ 装備武器

ミサイル

SAM: Mk 41 LCHR 8 セル VLS ランチャー ×1、シーパローミサイル

砲

ハルカンファレンクス CIWS ×4

30mm砲×2

ソナー

ハルソナー

航空機

AV-8S マトール(ハリアー) 固定翼機×12機まで

シーキング型ヘリコプター×14機まで

HP「海軍砲術学校」公開資料

[ミサイルフリゲート艦] 7 隻

(2) ナレスアン級 (中国25T 型) FFG 1 隻*

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ナレスアン	421 (元621)	1994. 12. 15	1989. 9. 21契約
タシ	422 (元622)	1995. 9. 14	(2 隻)

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2,500	393.7×42.7×12.5	CODOG	32	4,000	150
2,980F	(120×13×3.8)	2軸CP7°ロペラ		(18Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マグドネルダグラス ハープーン 4 連装ランチャー ×2

SAM: Mk 41 LCHR 8 セル VLS ランチャー ×1、シーブローミサイル

砲

FMC 5インチ /54 Mk 45 Mod 2砲 ×1

中国 37mm/76連装 H/PJ 76 A砲×4、火器管制 中国 347 G

魚雷

324mm Mk 32 Mod 5 3連装発射管×2、ハネウエル Mk 46 魚雷

ソナー

中国 SJD-7 ハルソナー

ヘリコプター

カマン SH-2F シースプライト ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) チャオフラヤ級 (中国053HT 型 ジャングⅢ級) FFG 2隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
チャオフラヤ	455	1991. 4. 5	1988. 7. 18契約
バンパコン	456	1991. 7. 20	(4隻)

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,676	338.5×37.1×10.2	ディーゼル	30	3,500	168
1,924F	(103.2×11.3×3.1)	2軸CP7°ロペラ		(18Kt)	(22)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: インジ (イーグルストライク) (C-801) ×8

SAM: HQ-61 ランチャー ×1

砲

中国 100 mm/56 連装砲 ×2、火器管制 中国タイプ 343 サバイター

中国 37mm/76連装 H/PJ 76 A砲×4、火器管制 中国 タイプ 341 ライスラン

対潜武器

RBU 1200 (中国 タイプ 86) 5 連装ランチャー ×2

爆雷: BMB ラック ×2

ソナー

中国 SJD-5A ハルソナー

HP 「海軍砲術学校」公開資料

(4) クラブ級 (中国053HT(H)型 ジャングIV級) FFG 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
クラブ	457	1992. 1. 16	1988. 7. 18契約
サブリン	458	1992. 8. 4	(4隻)

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,676	338.5×37.1×10.2	ディーゼル	30	3,500	168
1,924F	(103.2×11.3×3.1)	2軸CPプロペラ		(18Kt)	(22)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: インジ (イーグルストライク) (C-801) ×8

SAM: HQ-61 ランチャー ×1

砲

中国 100 mm/56 単装砲 ×2、火器管制 中国タイプ 343 サハイザー

中国 37mm/76連装 H/PJ 76 A砲×4、火器管制 中国 タイプ 341 ライスランブ

対潜武器

RBU 1200 (中国 タイプ 86) 5 連装ランチャー ×2

爆雷: BMB ラック ×2

カウンターメジャー

中国タイプ 945 GPJ 26連装チャフ ランチャー

ESM: 中国タイプ 923 (1)

ECM: 中国タイプ 981 (3)

戦闘データ システム

中国タイプ ZKJ-3

レーダー

中国タイプ 354 アイシールド 対空/ 対水上搜索

中国タイプ 352C スクアタイ 対水上搜索/ 火器管制

航法

レコルデック 1290 A/D ARPA

ソナー

中国 SJD-5A ハルソナー

ヘリコプター

カマン SH-2F シースプライト ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) フッタヨファ級 (米国ノックス級) FFG 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
フッタヨファチュロク (元トルエト)	461 (元FF-1095)	1974. 6. 1	1994. 7. 30
フッタロエナファライ (元オーレット)	462 (元FF-1077)	1970. 12. 12	1996. 8. 19

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溷)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
3,011	439.6×46.8×24.8	蒸気タービン	27	4,000	288
4,260F	(134 × 14.3 × 7.8)	1軸		(22Kt)	(17)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネル・ダグラス ハープーン × 8、武器管制: SWG-1A ハープーン LCS
ハネウェル ASROC Mk 16 8連装ランチャー (2セルはハープーン を発射できる。)

砲

FMC 5インチ / 54 Mk 42 Mod 9砲 × 1、武器管制: Mk 68 GFCS
ゼネラルエレクトリック / ゼネラルダイミックス 20 mm / 76 6連装 Mk 15 ハルカンファレンス砲 × 1

魚雷

324mm Mk 32 連装発射管 × 2、ハネウェル Mk 46 対潜魚雷 × 22

ソナー

エト / ゼネラルエレクトリック SQS-26CX ハウソナー

エト SQR-18 (V) TASS

ヘリコプター

シーブライト 型 × 1

注: ミリタリー・バランス1996-97 では1隻であるが、ジェーン年鑑1996-97にある2隻の艦名を記載した。

HP「海軍砲術学校」公開資料

[フリゲート艦] 5 隻

(6) マクットラジャクマーン級 (英国ヤロー型) FF/AX 1 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
マクットラジャクマーン	443(元7)	1973. 5. 7	1969. 8. 21 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,650	320 × 36 × 18.1	CODOG	26	5,000	140
1,900F	(97.6 × 11 × 5.5)	2軸		(18Kt)	(16)

ウ 装備武器

砲

ビッカーズ 4.5インチ /55 Mk 8 砲 ×2、武器管制: Mk 68 GFCS

ボホース 40 mm/60 砲×2

対潜武器

リンボ 3 連装 Mk 10

爆雷ラック ×1

ソナー

アトラスエレクトロニック DSQS-21C 6ハルソナー

(7) タピ級 (米国 PF 103 級) FF 2隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
タピ	431(元-5)	1971. 11. 19	1969. 6. 27 発注
キハット	432(元-6)	1974. 8. 10	1971. 6. 25 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
885	275 × 33 × 14.1	ディーゼル	20	2,400	135
1,172F	(83.8 × 10 × 4.3)	2軸		(18Kt)	(15)

ウ 装備武器

砲

オートメラー 76 mm/62コンバト 砲×1

ボホース40 mm/70砲×1

エリコン 20 mm砲×2

魚雷

324mm Mk 32 3連装発射管×2、ハネエル Mk 46 対潜魚雷

爆雷

ラック ×1

ソナー

アトラスエレクトロニック DSQS-21C ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

(8) タチン級 (米国タコマ級) FF 2隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
タチン (元グレンデール PF 36)	411 (元-1)	1943. 10. 1	1951. 10. 29
プラサエ (元キヤラップ PF 47)	412 (元-2)	1944. 2. 29	1951. 10. 29

イ 諸元

排水量 (トン)	寸法 (フィート (m))	主機	速力 (Kt)	レンジ (哩)	乗員 (名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1, 430	304×37.5×12.5	蒸気ピストン	18	7, 200	214
2, 454F	(92.7 × 11.4 × 4.1)	2軸		(12Kt)	(13)

ウ 装備武器

砲

米3 インチ/50砲×3

ボホース40 mm/60砲×2

エリコン 20 mm砲×9

対潜武器

Mk 10 ヘッジホッグ×1、ハネメル Mk 46 対潜魚雷

爆雷

投射機×8、ラック×2

ソナー

EDO SQS-17B ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 小型水上艦艇 60 隻

[コルベット] 5 隻

(1) ラタナコシン級 (米国) FSG 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
441(元-1)、442(元-2)	1986~87	1983.5.9 2隻契約

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
960F	252×31.5×8 (76.8 × 9.6 × 2.4)	ディーゼル 2軸CP7°ロペラ	26	3,000 (16Kt)	87+司令部 (15)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネルダグラス ハープーン 4 連装ランチャー × 2

SAM: セレニアエルサック 8連装ランチャー × 1

砲

オートメテラ 76 mm/62砲 × 1

ブレット 40mm/70 連装砲 × 2

エリコン 20mm 砲 × 2

魚雷

324mm 米Mk 32 3 連装発射管 × 2、MUSL スティンガー対潜魚雷

ソナー

アトラスエレクトロニクス DSQS-21C ハルソナー

(2) カムロンシン級 FS 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
531(元-1) ~ 533(元-3)	1992	1987.9.295契約外で建造

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
475F	203.4×26.9×8.2 (62 × 8.2 × 2.5)	ディーゼル 2軸CP7°ロペラ	25	2,500 (15Kt)	57 (6)

ウ 装備武器

砲

オートメテラ 76 mm/62砲 × 1

ホース 30mm/70連装砲 × 2

12.7 mm 機関砲 × 2

魚雷

ブレッシー PMW 49A 3 連装発射管 × 2、MUSL スティンガー対潜魚雷

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

ソナー

アトラスエレクトロニクス DSQS-21C ハルソナー

[ミサイル艇] 6 隻

(3) ラチャリット級 (イタリア) PCFG 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
321(元-4) ~323(元-6)	1979~80	1976.8発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
235	163.4×24.6×7.5	ディーゼル	37	2,000	45
270F	(49.8×7.5 ×2.3)	3軸CPプロペラ		(15Kt)	(7)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: エアロスペース MM 38 イグゾセ ランチャー×4

砲

オートメテラ 76 mm/62砲 ×1

ホース 40mm/70砲×1

(4) プラブパラパク級 (シンガポール) PCFG 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
311(元-1) ~313(元-3)	1976~77	1973.6発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
224	149×24.3×7.5	ディーゼル	40	2,000	41
268F	(45.4×7.4 ×2.3)	4軸		(15Kt)	(5)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: IAI ガブリエリ 1 ランチャー 3連装×1、単装×2

砲

ホース 57mm/70砲×1

ホース 40mm/70砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

[哨戒艇] 49隻

(5) チョンプリ級 (イタリア) PCF 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
331(元-1) ~333(元-3)	1983~84	1979、1981発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名) (士官)
405F	198 × 29 × 15 (60.4 × 8.8 × 4.5)	ディーゼル 3軸CPプロペラ	30	2,500 (18Kt)	41 (6)

ウ 装備武器

砲

オートメラー 76 mm/62砲 ×2
ブレット 40mm/70 連装砲×2

(6) サタヒップ級 (PSMM Mk 5) PC 6隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
521(元-4) ~526(元-9)	1983~86	1981.9.9~発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名) (士官)
270	164.5 × 23.9 × 5.9	ディーゼル	22	2,500	56
300F	(50.1 × 7.3 × 1.8)	2軸		(15Kt)	

ウ 装備武器

砲

オートメラー 76 mm/62砲 ×1 (521~523)
ホース 40mm/70砲×1 (521~523)
米3 インチ /50 Mk 26 ×2 (524~536)
エリコン 20mm GAM-B01 ×2
12.7 mm 機関砲×2

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(7) PGM 71級 PC 7 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
T 14～T 19、T 110	1966～70	米国から

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
130	101×21×6	ディーゼル	18.5	1,500	30
147F	(30.8×6.4 ×1.9)	2軸		(10Kt)	

ウ 装備武器

砲

- ホース 40 mm/60 砲 ×1
- エリコン 20mm ×1 (一部の艇では81 mm モーター/12.7 mmに換装している。)
- 12.7 mm 機関砲×2

3 機雷戦艦艇 5隻

(1) バンラチャン級 (独 T-48) MHC/MSC 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
631(元-2) ～632(元-3)	1987	タイ到着1987～88

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	161.1×30.5×8.2	ディーゼル	17.7	3,100	33
444F	(49.1×9.3 ×2.5)	2軸CPプロペラ		(12Kt)	(7)

ウ 装備武器

砲

- エリコン GAM-B01 20mm ×3
- 12.7 mm 機関砲×2

カウンターメジャー

- MWS 80R 機雷掃討システム、カイヤリン Pluto 15機雷処分用航走体×2
- 音響、磁気、係維掃海具

ソナー

- アトラスエレクトロニクス DSQS-11H 機雷掃討ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ラドヤ級 (米ブルーバード級) MSC 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
612(元-6) ~613(元-8)	1965	ナシ?

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
317	145.3×27×8.5	ディーゼル	13	2,750	43
384F	(44.3×8.2×2.6)	2軸		(12Kt)	(7)

ウ 装備武器

砲

エリコン 20mm/80 連装砲×1

カウンターミサイル

米Mk 4(v), Mk 6 音響掃海具、米02型磁気掃海具

ソナー

UQS-1 機雷掃討ソナー

(3) タラン級 MCM支援艇 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
621(元-1)	1980.8.4	タイ国製

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,000	185.5×33×10 (55.7×10×3.1)	ディーゼル 2軸	12		77

ウ 装備武器

砲

ボホース 40mm/70砲×1

エリコン 20mm 砲×2

12.7 mm 機関砲×2

機雷掃討能力を有している。

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

4 両用戦艦艇 60 隻

(1) シチャン級 (仏国 PS-700) LST 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
721(元LST 6)、722(元LST 7)	1987~88	タイ国製 3隻目検討中

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
3,540	337.8×51.5×11.5	ディーゼル	16	7,000	129
4,235F	(103 × 15.7 × 3.5)	2軸CPプロペラ		(12Kt)	

搭載量

人員 348名、戦車×14又はAPC ×12又は貨物 850トン、LCVP×3、LCPL×1

ウ 装備武器

砲

- ホース 40mm/70砲×1
- エリコン GAM-B01 20mm ×2
- 12.7 mm 機関砲×2
- 81 mm モーター×1

ヘリコプター

ベル212 用ヘリ甲板

(2) アンソン級 (米LST 511-1152級) LST 5隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
711(元LST 1)~715(元LST 5)	1944~45	1962~75

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,650	328×50×14	ディーゼル	11.5	9,500	80 戦時157
3,640/4,145F	(100×15.2×4.4)	2軸		(9kt)	

搭載量

貨物 1,230トン (最大)、815Pトン (ベーチング)

ウ 装備武器

砲

- ホース 40mm/60砲 連装×2、単装×4
- 12.7 mm 機関砲×2 (チャンク)
- エリコン 20mm/80 ×2 (その他)

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) クット級 (米LSM-1 級) LSM 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
731(元LSM 1)、732(元LSM 3)	1945	1946、62

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (12.5kt)	乗員(名) (士官)
743	328×50×14	ディーゼル	12.5	4,500	91
1,107F	(62×10.5×3)	2軸			(6)

搭載量

貨物 452トン (ビーチング)、人員50名及び車両

ウ 装備武器

砲

ホース 40mm/60 Mk 3 砲 連装×1

エリコン 20mm/70 ×4

5 潜水艦

現在は保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 海軍所属の対艦攻撃機

- (1) BAe/ マクドネルダグラス AV-8S: 6機、TAV-8S: 3機 マタドール (ハリアー)
最大速力 (水面) 635 kt (1,176 km/h)
サービスシーリング 15,600 m (51,200 ft)
戦闘行動半径 100 浬 (185 km)
武器 30 mm アテン キャノン×2、AIM-9 サイトワインダー×2、又は 20 mm/127 mm ロケットと鉄爆弾
(新しい空母のために1996年にスペインから導入した)
- (2) A-7E: 14機、TA-7C: 4機
最大水平速力 (水面) 600 kt (1,112 km/h)
サービスシーリング m
航続距離 (機内燃料) 1,981 浬 (3,671 km/h)
武器 爆弾、サイトワインダー、M61A1 20mmキャノン×1

2 対潜哨戒機

[固定翼機]

- (1) ロッキード P-3T オリオン: 2機、UP-3T: 1機
最大水平速力 (高度4,575 m(15,000ft)において)
411 kt (761 km/h)
サービスシーリング 8,625 m (28,300 ft)
戦闘行動半径(3h オンステーション)
1,345 浬 (2,494 km)
武器 ASW: Mk 46魚雷
ASV: ハープーン ASM×4 (対艦攻撃能力あり)
- (2) フォッカー F-27 マリタイム 200ME: 3機
作戦速力 (高度 6,100m(20,000ft)において)
227 kt
サービスシーリング 8,990 m (29,500 ft)
航続距離 2,700 浬 (5,000 km)
航続時間 10 ~12時間
武器 ASW: Mk 46 魚雷又はスティングレー 魚雷×4、対潜爆弾、又は機雷
ASV: ハープーン ASM ×2 (対艦攻撃能力あり)
- (3) グラマン S-2F トラッカー: 4機
作戦速力 130 kt (241 km/h)
サービスシーリング 7,620 m (28,000 ft)
航続距離 1,350 浬 (2,500 km)
武器 ASW: Mk 46 魚雷×4、対潜爆弾、機雷
ASV: 127 mmロケット×6

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

[回転翼機]

- (4) ベル 212: 7機

作戦速度 (海面) 100 kt (185 km/h)
 サービスシーリング 3,963 m (13,000 ft)
 航続距離 227 哩 (420 km)

武器 M604機関銃

(ミリタリー・バランスではASW としているが、ジェーン年鑑ではASW 任務はない)

- (5) シコルスキー S-70B7 シーホーク: 6機

最大巡航速度 (高度 m(ft) において)
 作戦速度 135 kt (250 km/h)
 シーリング 10,000 ft (3,050 m)
 航続距離 600 nm (1,110 km)

(ミリタリー・バランスでは記載が無いが、ジェーン年鑑では 1993. 9. 28に契約し、1996年から入手、ASW に使用するとされている。)

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機]

- (1) ノースロップF-5A: 7機、 F-5B: 4 機

	F-5A	F-5B
最大水平速度 (高度11,000m(36,000ft) において)		
	マッハ 1.4	マッハ 1.34
サービスシーリング	15,390 m	15,850 m
戦闘行動半径 (燃料 満タン、530 爆弾×2 搭載)		
	485 哩	

- (2) ゼネラルダイナミクス F-16A: 36 機、 F-16B: 10 機

最大水平速度 (高度12,200m(40,000ft) において)
 マッハ 2.0 以上
 サービスシーリング 15,240 m (50,000 ft)
 行動半径 500 哩 (925 km) 以上
 武器 M61A1 20 mm キャン、ASM マベリック

[戦闘機]

- (3) ノースロップ タイガーII F-5E: 36機、 F-5F: 6 機

最大水平速度 (高度10,975m(36,000ft) において)		
	マッハ 1.64	マッハ 1.56
サービスシーリング	15,790 m (51,800 ft)	15,485 m (50,800 ft)
戦闘行動半径	570 哩 (1,056 km)	520 哩 (964 km)
武器	M39 A2 20 mm キャン ×2	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

- (1) マクドネルダグラス ハープーン SSM
搭載艦艇 ナレスアン級 FFG、フッタヨファチュラロク級 FFG、ラタナコシン級 FSG、
アクティブレーダーホーミング、射程 130 km マッハ 0.9
弾体重量 227 kg
- (2) 中国イングジー (イーグルストライク) (C-801) SSM
搭載艦艇 チャオフラヤ級 FFG、クラブリ級 FFG
アクティブレーダー/IR ホーミング、射程 85 km マッハ 0.9、シースキマー
弾体重量 165 kg
- (3) エアロスパティアル MM 38 イグゾセ SSM
搭載艦艇 ラチャリット級 PCFG
慣性航法、アクティブレーダーホーミング、射程 42 km マッハ 0.9、シースキマー
弾体重量 165 kg
- (4) IAI ガブリエリ 1 SSM
搭載艦艇 プラブパラパク級 PCFG
慣性航法、レーダー又は光学誘導、セミアクティブレーダーホーミング、射程 20 km
マッハ 0.7、シースキマー
弾体重量 75 kg
- (5) シースパロー SAM
搭載艦艇 ナレスアン級 FFG、フッタヨファチュラロク級 FFG、
セミアクティブレーダーホーミング、射程 14.6 km マッハ 2.5
弾体重量 39 kg
- (6) PL-9 SAM
搭載艦艇 チャオフラヤ級 FFG、クラブリ級 FFG
- (7) セレニアエルサグ アルバトロス アスピード SAM
搭載艦艇 ラタナコシン級 FSG
セミアクティブレーダーホーミング、射程 13 km マッハ 2.5、高度 15 ~5,000m
弾体重量 30 kg

2 砲

- (1) FMC 5 インチ/54 Mk 45 Mod 2 砲
搭載艦艇 ナレスアン級 FFG、
仰角 65°、発射速度 20 発/分、射程 23 km
弾丸重量 32 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (2) FMC 5 インチ/54 Mk 42 Mod 9 砲
搭載艦艇 プッタヨファチュラロク FFG
仰角 85°、発射速度 20-40発/分、射程 24 km 対水上、14 km 対空
弾丸重量 32 kg
- (3) 中国 100 mm/56砲
搭載艦艇 チャオフラヤ級 FFG、クラブリ級 FFG
仰角 85°、発射速度 25 発/分、射程 22 km
弾丸重量 15.9 kg
- (4) ビッカーズ 4.5 インチ/55 Mk 8砲
搭載艦艇 マクトラジャクマーン級 FF/AX
仰角 55°、発射速度 25 発/分、射程 22 km 対水上、6 km対空
弾丸重量 21 kg
- (5) オトメララ 76 mm/62 コンパクト砲
搭載艦艇 タピ級 FF、ラタナコシン級 FSG、カムロンシン級 FS、ラチャリト級PCFG
チョンブリ級 PCF、サタヒップ級 PC
仰角 85°、発射速度 85 発/分、射程 16 km 対水上、12 km 対空
弾丸重量 6 kg
- (6) 米 3 インチ/50 砲
搭載艦艇 タチン級 FF、サタヒップ級 PC
仰角 85°、発射速度 20 発/分、射程 12 km
弾丸重量 6 kg
- (7) ボフォース 57mm/70 砲
搭載艦艇 プラブパラパク級 PCFG
仰角 75°、発射速度 200発/分、射程 17 km
弾丸重量 2.4 kg
- (8) ボフォース 40mm/70 砲
搭載艦艇 タピ級 FF、ラタナコシン級 FSG、ラチャリト級 PCFG、プラブパラパク級
PCFG、サタヒップ級 PC
仰角 85°、発射速度 300発/分、射程 12.5 km
弾丸重量 0.96 kg
- (9) ボフォース 40mm/60 砲
搭載艦艇 マクトラジャクマーン級 FF/AX、タチン級 FF
仰角 80°、発射速度 120発/分、射程 10 km
弾丸重量 0.89 kg
- (10) ブレダ 40 mm/70 砲
搭載艦艇 チョンブリ級 PCF
- (11) 中国 37 mm/76 H/PJ 76 A 砲
搭載艦艇 ナレスアン級 FFG、チャオフラヤ級 FFG、クラブリ級 FFG
仰角 85°、発射速度 180発/分、射程 8.5 km 対空
弾丸重量 1.42 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (12) ブレダ 30 mm/70 砲
搭載艦艇 カムロンシン級 FS
仰角 85°、発射速度 800発/分、射程 12.5 km対空
弾丸重量 0.37 kg
- (13) ゼネラルエレクトリック/ゼネラルダイナミックス 20 mm/76 6バレル Mk 15 バルカン
ファランクス
搭載艦艇 プッタヨファチュラロク FFG
発射速度 3,000発/分、射程 1.5km
- (14) エリコン 20 mm 砲
搭載艦艇 タピ級 FF、タチン級FF、ラタナコシン級 FSG、サタヒップ級 PC
仰角 55°、発射速度 800発/分、射程 2 km (対空)
- (15) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 タピ級 FF、カムロンシン級 FS、サタヒップ級 PC

3 魚雷

- (1) ハネウエル Mk 46 対潜魚雷
搭載艦艇 ナレスアン級 FFG、フッタヨファチュラロク級 FFG、タピ級 FF
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 11 km 40 kt
弾頭重量 44 kg
- (2) MUSL スティングレー魚雷
搭載艦艇 ラッタナコシン級 FSG、カムロンシン級 FS
アクティブパッシブ ホーミング、射程 11 km 45 kt
弾頭重量 35 kg 成形爆薬

4 対潜武器

- (1) RBU 1200 (中国タイプ 86)
搭載艦艇 チャオフラヤ級 FFG
射程 1,200 m
弾体重量
- (2) リンボ 3連装 Mk 10
搭載艦艇 マクットラジャクマーン級 FF/AX
射程 1,000 m
弾体重量 92 kg
- (3) ヘッジホグ Mk 10
搭載艦艇 タチン級 FF
射程 250 m
弾体重量 13.6 kg ×24

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) ハープーン AGM-84 ASM

搭載機 P-3T、F 27マリタイム 200ME

射程

重量 522 kg

- (2) マベリック ASM

搭載機 F-16A/B

射程 8 ~25 km

	A/B	D	E	F/G
誘導方式	TV	赤外線	レーザー	赤外線
重量	210 kg	220 kg	293 kg	307 kg

- (3) 127 mm ロケット

搭載機 AV-8S マタドール (ハリアー) 、S-2Fトラッカー

射程

2 対潜武器

- (1) ハネウエル Mk 46 対潜魚雷

搭載機 P-3T、F 27マリタイム 200ME、S-2F トラッカー

アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 11 km、速力 40kt、探知距離 460 m

直径 324 mm (12.75 ｲﾝﾁ) 、重量 230 kg、弾頭重量 44 kg、最大深度 秘

- (2) MUSL スティングレー魚雷

搭載機 F 27マリタイム 200ME

アクティブソナー ガイダンス/ ホーミング、射程 km、速力 45 kt、航走時間 4分

直径 324 mm (12.75 ｲﾝﾁ) 、重量 265 kg、弾頭 成形爆薬 HE、最大深度 1000 m

- (3) 対潜爆弾

搭載機 F 27マリタイム 200ME、S-2Fトラッカー

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億 ^ハ ツ)	924.25	991.56	1,047.56	1,098.40	1,223.20
(10 億 ^ト ル)	40.185	42.394	38.57	41.77	47.55
一人当たり (ト ^ル)					
国防支出(10 億 ^ハ ツ)		(4/5)	(5/6)	(6/7)	(7/8)
(10 億 ^ト ル)		41.422	41.200	41.18	44.77
国防予算(10 億 ^ハ ツ)		1.752	1.52	1.57	1.74
(10 億 ^ト ル)					
受領軍事援助(100万 ^ト ル)	76	94	100.0	4.8	50.0
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億 ^ハ ツ)	1,465.70	1,776.0	2,051.2	2,383.3	2,671
(10 億 ^ト ル)	57.95	69.1	80.17	93.4	105.2
一人当たり (ト ^ル)					5,700
国防支出(10 億 ^ハ ツ)					73.2
(10 億 ^ト ル)					2.9
国防予算(10 億 ^ハ ツ)	(8/9)				
(10 億 ^ト ル)	46.30	46.30	52.60	60.58	68.8
受領軍事援助(100万 ^ト ル)	1.83	1.801	2.06	2.4	2.7
	24.2		5.7		5
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億 ^ハ ツ)	3,088	3,602			
(10 億 ^ト ル)	122	142			
一人当たり (ト ^ル)	6,200	6,600			
国防支出(10 億 ^ハ ツ)	78.94	90	97		
(10 億 ^ト ル)	3.12	3.6	3.9		
国防予算(10 億 ^ハ ツ)	78.9	90.94	97.24	100	109
(10 億 ^ト ル)	3.2	3.62	4.0	4.0	4.3
受領軍事援助(100万 ^ト ル)	6.3	3.9	2.8	2.9	5.6

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ミサイルフリゲート 艦						1	3	4	4	6	7	
ハスアン 級 2500t										(1)	(1)	
チャオフヤ級 (中国製) 1676t						(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
クラブリ級 (中国製) 1676t							(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	
ノックス級 (米国製) 3011t										(1)	(2)	
フリゲート 艦	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	4	5
ヤロー 級 (英国製) 1650t	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
PF-103級 (米国製) 885t	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
タコマ 級 (米国製) 1430t	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(2)
キャン級 (米国製) 1240t	(1)	(1)	(1)	(1)	練習艦へ							
保有隻数計	6	6	6	6	5	5	6	8	9	9	10	12
保有基準排水量計 (k トン)	8	8	8	8	6	6	8	11	13	13	17	22

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 小型水上艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット			2	2	2	2	3	5	5	5	5	5
ラタコシ級 (米国製)			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
カムロシ級							(1)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
高速ミサイル艇(FAC(G))	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
フレダ BMB-230(イタリア製)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
TNC-45 (シカゴール製)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
沿岸哨戒艇				14	14	14	14	14	12	11	11	9
高速砲艇(FAC)	3	3	3									
フレダ MV-400(イタリア製)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
哨戒艇	94	98	101									
サヒップ 級PSMM-5	(4)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
PC-461級 (米国製)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(3)	(2)	(2)	
内水哨戒艇				30	30	30	30	40	40	40	40	40
PGM-71 (米国製)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(7)	(7)	(7)
T-81ケーブ 級	(3)	(3)	(3)									
沿岸型	(31)	(33)	(37)									
河川型	(40)	(40)	(40)									
その他				(20)	(20)	(20)	(20)	(30)	(30)	(33)	(33)	(33)
保有隻数計	101	104	112	52	52	52	53	65	63	62	62	60

3 機雷戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇	9	11	11	6	6	6	6	6	6	5	5	4
レーセン48-m掃討艇		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
ブルーハート 級 (米国製)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(2)
MSB	(5)	(5)	(5)									
掃海支援艦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保有隻数計	10	12	12	7	7	7	7	7	7	6	6	5

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
揚陸艦	8	8	8	9	10	10	8	8	8	9	9	9
PS-700級LST(フランス製)				(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
LST-511 級LST(米国製)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(5)	(5)	(5)
中型揚陸艦(LSM)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
LSIL-351	2	2	2						2	2	2	2
LCG	1	1	1						1	1	1	1
多用途揚陸艦(LCU)	10	9	15	10	10	10	10	10	9	9	9	9
中型揚陸艦(LCM)	26	26	26	29	29	29	30	30	24	24	24	24
LCA	4	4	4									
ホバークラフト									3	3	3	3
多用途揚陸艦(LCVP)	12	12	12						12	12	12	12
保有隻数計	63	62	68	48	49	49	48	48	59	60	60	60

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
練習艦	3	2	2	2	2	2			3	3	3	3
アルヴェリン級(英国製)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			(1)	(1)	(1)	(1)
フラワー級	(1)											
マエロン 級(日本製)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			(1)	(1)	(1)	(1)
キャノン級(米国製)									(1)	(1)	(1)	(1)
給油艦									1	1	1	1
調査船			1	2	2	2	3	3	3	3	3	3
輸送艦	2	2	2									
油送船	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	4
曳船							3	3				
保有隻数計	6	5	6	5	5	5	7	7	11	11	11	11

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フッカー F-27MPA (ASV, 主ASW)	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5
ハリアーAV-8												6
ハリアーTAV-8												3
A-7E											14	14
TA-7C											4	4
合計	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	21	32

2 対潜哨戒機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
固定翼機												
P-3Tオリオン (ASW, ASV)									3	3	2	2
UP-3T (ASW, ASV)											1	1
グラマンS-2F	10	9	10	9	9	9				7	5	4
フッカー F-27MPA (ASW, ASV)	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5
回転翼機												
ベル212				8		8	8	8	8	8	8	7
合計	14	13	13	20	12	20	11	11	14	21	19	19

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ミラー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
F-5A/B	13	13										
F-5A			9	9	9	9	9	8	8	8	8	7
F-5B			5	4	4	4	4	4	4	4	4	4
RH-5A			4	4								
F-16A					6	12	14	14	14	14	14	26
F-16B					4	4	4	4	4	4	4	10
防空戦闘機												
F-5E	34	34	30	34	33	40	38	38	38	37	37	36
F-5F	5	5	6	3	3	3	6	6	6	6	6	6
合計	52	52	54	54	59	72	75	74	74	73	73	89

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

対空ミサイルはこの期間の始めには有していなかったが、1988年からのラタナコシン級 FSG の導入で、初めて対空ミサイル、セレニアエルサグ アルバトロス アスピード SAM (射程 13 kmマッハ 2.5)を持つこととなった。1990年代初期に中国に発注したチャオフラヤ級 FFG、クラブリ級 FFGにはPL-9 SAMが搭載されている。1994年以降米国から購入しているフッタヨファチュラロク級 FFG (米ノックス級)、及び中国製ナレスアン級 FFGに搭載されているシースパロー SAM (射程 14.6 kmマッハ 2.5) は、タイ海軍が有している対空ミサイルのうちで最も射程が大である。

この期間の始めには、マクトラジャクマーン級 FF/AXに搭載のビッカーズ 4.5 インチ/55 Mk 8 砲 (発射速度 25 発/分、射程 22 km 対水上、6 km対空) が最大の口径の砲であった。タピ級 FF、ラチャリット級PCFG、チョンブリ級 PCF、サタヒップ級 PC に搭載のオートメララ 76 mm/62 コンパクト砲 (発射速度 85 発/分、射程 16 km対水上、12 km 対空) は、対空射撃の射程と発射速度が4.5 インチ砲よりも大であり最も有力な対空砲であった。

その後1980年代後半以降米国から購入したラタナコシン級 FSG、カムロンシン級 FS にもこの砲は搭載されている。

ボフォース 40mm/70 砲 (発射速度 300発/分、射程 12.5 km)は、この期間の始めからタイ海軍が保有している、タピ級 FF、ラチャリット級 PCFG、プラブパラパク級 PCFG、サタヒップ級 PC に搭載されているものであるが、発射速度が大であり有力な対空砲である。

1990年代半ばに中国に発注したナレスアン級 FFG、及び米国から購入したフッタヨファチュラロク級 FFGには、現在のタイ海軍の最大口径の砲である FMC 5 インチ/54 砲が搭載されている。中でもフッタヨファチュラロク級 FFGのMk 42 Mod 9 砲 (発射速度 20-40発/分 射程 24 km 対水上、14 km 対空) は射程が最大である。

2 対艦武器

対艦ミサイルは、この期間の始めには、ラチャリット級 PCFG に装備のエアロスパティアル MM 38 イグゾセ SSM (射程 42 kmマッハ 0.9、シースキマー) とプラブパラパク級PCFG に装備の IAIガブリエリ 1 SSM (射程 20 kmマッハ 0.7、シースキマー) を有していた。

1980年代半ばに米国に発注したラタナコシン級 FSGは、マクドネルダグラス ハープーン SSM (射程 130 km マッハ 0.9) を装備しており、射程は大きく増大した。ハープーン SSM は、1980年代後半以降整備を進めているラタナコシン級 FSG及びフッタヨファチュラロク級 FFG にも搭載されている。1990年代の始めには中国に発注したチャオフラヤ級 FFG及びクラブリ級 FFGには、中国製イングジー (イーグルストライク) (C-801) SSM (射程 85 kmマッハ 0.9、シースキマー) が搭載されている。

砲については対空武器に記載のとおりである。

3 対潜武器

魚雷については、この期間の当初からタピ級 FF が発射管を装備しており、ハネウエル Mk 46 対潜魚雷 (射程 11 km 40 kt) を使用している。1990年代の半ばから導入のナレスア

HP「海軍砲術学校」公開資料

ン級 FFG及びフッタヨファチュラロク級 FFGもこの魚雷を運用している。

1980年代半ばに米国に発注したラッタナコシン級 FSGでは MUSL スティングレー魚雷（射程 11 km 45 kt）を使用しており、1990年代にタイで建造されているカムロンシン級 FS もこの魚雷を使用する。Mk 46 魚雷とスティングレー魚雷の射程等はほぼ同じである。

前投兵器は、ヘッジホグ Mk 10（射程 250 m）（タチン級 FF に装備）とリンボ 3連装 Mk 10（射程 1,000 m）とがあったが、1990年代になってチャオフラヤ級 FFGを導入したので、RBU 1200（中国タイプ 86）（射程 1,200 m）を有することとなった。

第2項 航空機性能の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

対象期間の当初から運用しているフォッカー F-27MPAと、1990年代になって運用を始めている P-3T オリオンの両対潜哨戒機は、いずれも ASMハーブーンが搭載できるので対艦攻撃が可能であるが、対艦攻撃を任務とする海軍の航空機は、1995年から配備を開始している A-7E、TA-7C（巡航最大航続距離 1,981浬、ASM 搭載）が最初である。続いて建造中の空母に搭載する予定のハリアー AV-8S、TAV-8S（戦闘行動半径 100浬）が空母に先立って導入されている。この航空機の戦闘行動半径は決して大きくはないけれども、空母が就役しこれに搭載されて運用することになれば、その作戦行動の範囲は飛躍的に増大する。

2 対潜哨戒機

対象期間の当初から、グラマン S-2F トラッカー（航続距離 1,350浬）とフォッカー F-27マリタイム 200ME（航続距離 2,700浬）を運用しているが、1990年代になってロッキード P-3T、UP-3T オリオン（作戦行動半径 1,345浬）を配備しており、行動範囲は増大した。しかし、機数が P-3T ×2、UP-3T ×1 と少ないので、全体としての作戦能力がどの程度増大するかを計ることは難しい。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ノースロップ F-5A/B（戦闘行動半径 485浬）を対象期間の当初から運用しているが、1990年代に運用を始めたロッキード・ゼネラルダイナミクス F-16A/B（戦闘行動半径 500 浬）によって作戦範囲は若干増大した。戦闘機であるノースロップ F-5E/F（戦闘行動半径570浬）はそれらよりも戦闘行動半径は大であるけれども、機銃とAAM が主たる武器であり対艦攻撃能力は限られている。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

対潜哨戒機は当初からハーブーン AGM-84 ASM の搭載が可能であったが、F-16A/B の導入でマベリック ASM（射程：8～25 km）を有することとなった。

2 対潜武器

当初からMUSLスティングレー魚雷を F 27 マリタイム 200MEで運用しており、ハネウエル Mk 46 対潜魚雷も S-2F トラッカー、P-3T オリオン等で運用しており、期間中変わりはない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4章 マレーシア

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、海軍は、艦隊と2つの海軍区で構成されている。非常時の拡張に備えて予備役の人員の訓練を行うために、新しく15の小基地を作りそこには港湾設備を建設する計画がある。なお、ミリタリー・バランス1996-97では、4海軍区とされている。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍長官 (Chief of Navy)

副海軍長官 (Deputy Chief of Navy)

艦隊司令官 (Fleet Commander)

第1海軍区司令官 (Commander Naval Area 1 (半島))

第2海軍区司令官 (Commander Naval Area 2 (サバ及びサラワク))

第3項 基地

KD (軍艦) マラヤ: ルムト (テロクムロ) ペラク

艦隊作戦指揮センター、ドック、及び西海岸訓練センター、499 航空群

KD ペランドク: ルムト (訓練センター)

RMN バラック ウッドランズ (訓練と支援)、シンガポール

クアantan: 第1海軍区司令部 (109° E 以西)

ラブアン: 第2海軍区司令部 (109° E 以東) KDスリタワウ (元ラブアン)

KD スリサンダカン (元レジャング)

シチアワン、ペラク: 新しい海軍航空基地として計画されている。

コタキナバル: 東マレーシアの海軍基地として計画されている。

注: ミリタリー・バランス1996-97の海軍区とその基地は次のとおりである。

第1海軍区: 司令部 クアantan 基地 クアantan

第2海軍区: 司令部 ラブアン 基地 ラブアン、サンダカン (サバ)

第3海軍区: 司令部 ペナン 基地 ルムト

第4海軍区: 司令部 クチン 基地 スンゲイ アンツ (サラワク)

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 6隻

[フリゲート艦] 6隻

- (1) レキウ級（英国）FFG 2隻
- (2) カスツリ級（独 FS 1500型）FF 2隻
- (3) ハンチュア級（英国 41/61型）FF/AX 1隻*
- (4) ラーマット級（英国）FF 1隻

注：*）ジェーン年鑑では練習艦とされている。

2 小型水上艦艇 37隻

[ミサイル艇] 8隻

- (1) ハンダラン級（スウェーデン スピカ-M級）PCFG 4隻
- (2) ペルダナ級（仏国ラコンバタントII級）4隻

[哨戒艇] 29隻

- (3) ムシタリ級 OPV 2隻
- (4) ジェロン級 PCF 6隻
- (5) ケダー級（英国）PC 3隻*
- (6) サバー級（英国）PC 4隻
- (7) クリス級（英国）PC 14隻

注：*）この級は、ジェーン年鑑では0隻となっているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

3 機雷戦艦艇 5隻

- (1) マハミル級（イタリア レリチ級）MHC 4隻
- (2) ドゥヨン級 潜水母艇 YDT 1隻

4 両用戦艦艇 36隻

[LST] 3隻

- (1) スリバンギ級（米国 LST 511-1152 級）LST 2隻
- (2) スリインデラプラ級（米国 ニューポート級）LST 1隻

[その他] 33隻

- (3) LCM 5隻
- (4) LCU 13隻
- (5) LCP 15隻

5 潜水艦

現在は保有していないが、乗組員の訓練は既に行われており、1997～2000年には装備するであろうと見られている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

- 6 支援艦艇 3 隻
スリインデラサクチ級後方支援艦 AOR/AE/AX 2 隻
ムチアラ級調査船
- 7 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 8 対潜哨戒機
〔回転翼機〕
(1) ワスプ HAS-1 12機

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

- 1 対地攻撃機
2 個スコードロン ホーク108: 10機、 ホーク208: 17機
- 2 戦闘機
1 個スコードロン ノースロップ F-5E: 11 機、 F-5F: 2機、 RF-5E: 2 機
2 個スコードロン MiG-29: 16 機、 MiG-29U: 2 機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は編成されていない。

マレー半島とボルネオ島にまたがる国であり広い海域を有しているため、海上での海賊等の不法行為を取り締まる海洋警察 (Marine Police) が編成されている。ラングヒタン級 (38 m、230トン、速力35 kt、5 隻) やサンギタン級 (29 m、114 トン、速力36 kt、隻) 等の小型ではあるが高速の哨戒艇を有している。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 6隻

[フリゲート艦] 6隻

(1) レキウ級 (英国) FFG 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
レキウ	30	1996. 5	1992. 3. 31 契約
ジェハット	29	1996. 11	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬) (14Kt)	乗員(名) (士官)
1,845	346×42×11.8	CODAG	28	5,000	146
2,270F	(105.5×12.8×3.6)	2軸CP7°ロペラ		(14Kt)	(18)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: エアロステイル MM 40 イグゾセ ブロックII×8、武器管制 トムソン-CSF ITL 70

SAM: フリッシュ エアロスペース VLS シーウルフ 16ランチャー

砲

米ボフォース 57mm/70 SAK Mk2 ×1

MSI デイフェンスシステム 30mm DS 30B 砲×2

魚雷

ホワイトヘッド B 515 324 mm 3連装発射管×2

ソナー

トムソンソナラ スパロン ハルソナー

ヘリコプター

ウェストランド ワスパ HAS 1 ×1

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(2) カスツリ級 (独 FS 1500型) FF 2隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
カスツリ	25	1984. 8. 15	1981. 2発注
レキル	26	1984. 8. 15	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,500	319.1×37.1×11.5	ディーゼル	28	3,000	124
1,850F	(97.3×11.3×3.5)	2軸		(18Kt)	(13)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: エアロスパティアル MM 38 イグゾセ×4

砲

クルゾローラ 3.9インチ (100mm)/Mk2 コンパクト 砲×1

米ホフォース 57mm/70 砲×1

エマーソン エレクトリック 30mm 連装砲×2

対潜武器

ホホース 375 mm 連装旋回ランチャー ×1

ソナー

アトラスエレクトロニク DSQS-21C ハルソナー

ヘリコプター

ウエストランド ワスパ HAS 1 ×1 用甲板

(3) ハンチュア級 (英国 41/61型) FF/AX 1 隻

(ジェーン年鑑では練習艦とされている。)

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ハンチュア	76	1973. 5. 16	1977. 5

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2,300	339.3×40×16	ディーゼル	24	4,800	210
2,520F	(103.5×12.2×4.9)	2軸CPプロペラ		(15Kt)	

ウ 装備武器

砲

米ホフォース 40 mm/70砲×2

対潜武器

RN リンボ 3 連 Mk 10ローター ×1

ソナー グラスビーター タイプ 170B 及び タイプ 174

ヘリコプター ウェストランド ワスパ HAS 1 ×1 用甲板

HP「海軍砲術学校」公開資料

(4) ラーマット級 (英国) FF 1 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ラーマット	24	1971. 8. 31	1972. 12. 23現地着

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1, 250	308×34. 1×14. 8	CODOG	26	6, 000	140
1, 600F	(93. 9×10. 4×4. 5)	2軸CPプロペラ		(16Kt)	(12)

ウ 装備武器

砲

ビッカーズ 4. 5インチ /45 Mk 5 砲×1

ボフォース 40 mm/70砲×3

エマソン エレクトリック 30mm 連装砲×2

対潜武器

リンボ Mk 10 3 連モーター ×1

ソナー

グラスビー タイプ 170B 及び タイプ 174

ヘリコプター

Mk 10 ウェル の上のマクグレガー ハッチ の上に着艦させることができる。

2 小型水上艦艇 37 隻

[ミサイル艇] 8 隻

(1) ハンダラン級 (スウェーデン スピカ-M級) PCFG 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
3511~3514	1979. 10. 26	1979. 10. 26現地着

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
240F	124. 6×23. 3×7. 4 (43. 6×7. 1 ×2. 4)	ディーゼル 3軸	34. 5	1, 850 (14Kt)	40 (6)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: エアロスターリアル MM 38 イグザセ×4

砲

米ボフォース 57 mm/70 Mk 1 砲×1

米ボフォース 40 mm/70砲×1

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(2) ペルダナ級 (仏国ラコンバタントII級) 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
3501~3504	1972~73	1973. 5. 27フランス発

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
223	154.2×23.1×12.8	ディーゼル	36.5	800	30
265F	(47×7 ×3.9)	4軸		(15Kt)	(4)

ウ 装備武器

ミサイル SSM: エアロスパティアル MM 38 グラウセ×2 (常時搭載はしていない)

砲 米ホフォース 57 mm/70砲×1、米ホフォース 40 mm/70砲×1

[哨戒艇] 29隻

(3) ムシタリ級 OPV 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
160、161	1985、1987	1983.6発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,300F	246×35.4×12.1 (75×10.8×3.7)	ディーゼル	22	5,000	76
		2軸		(15Kt)	(10)

ウ 装備武器

砲 クルゾワロール 3.9インチ (100mm)/Mk2 コンパクト 砲×1

エマーソン エレクトリック 30mm 連装砲×2

ヘリコプター 中型機×1 用甲板

(4) ジェロン級 PCF 6 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
3505~3510	1976~77	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
244F	147.3×23×8.3 (44.9×7 ×2.5)	ディーゼル	32	2,000	36
		3軸		(14Kt)	(4)

ウ 装備武器

砲 米ホフォース 57 mm/70砲×1、米ホフォース 40 mm/70砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) ケダー級 (英国) PC 3 隻

この級は、ジェーン年鑑では 0隻となっているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

ア 艦名等

番号	就役	移転
3139、3142～3143	1963. 3. 25	1961 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
96	103×19.8×5.5	ディーゼル	27	1,400	22
109F	(31.4×6 ×1.7)	2軸		(14Kt)	(3)

ウ 装備武器

砲

米ホーフォース 40 mm/60砲×2

(6) サバー級 (英国) PC 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
3144～3147	1964	1963 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
96	103×19.8×5.5	ディーゼル	27	1,660	22
109F	(31.4×6 ×1.7)	2軸		(14Kt)	(3)

ウ 装備武器

砲

米ホーフォース 40 mm/60砲×2

(7) クリス級 (英国) PC 14 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
34、36～47、49	1966～68	1965 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
96	103×19.8×5.5	ディーゼル	27	1,400	22
109F	(31.4×6 ×1.7)	2軸		(14Kt)	(3)

ウ 装備武器

砲

米ホーフォース 40 mm/60砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) マハミル級 (イタリア レリチ級) MHC 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
11~14	1983~84	1985. 12. 11

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬) (12Kt)	乗員(名) (士官)
610F	167.3×32.5×9.2 (51×9.9 ×2.8)	ディーゼル 2軸CPプロペラ	16	2,000 (12Kt)	42 (5)

ウ 装備武器

砲

米ホフォース 40 mm/70砲×1

カウンターメジャー

トムソン-CSF IBIS II 機雷掃討システム、PAP 104 機雷処分用航走体×2

オホサ MIS-4 係維掃海具

ソナー

トムソンソナー TSM 2022、デイスプレー-2060

(2) ドゥヨン級 潜水母艇 YDT 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
1109	1971. 1. 5	シンガポール製

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬) (12Kt)	乗員(名) (士官)
120	110×21×5.8	ディーゼル	12	1,000	23
140F	(33.6×6.4 ×1.8)	2軸		(12Kt)	

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇 36 隻

[LST] 3隻

(1) スリバンギ級 (米国 LST 511-1152 級) LST 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
1501~1502	1944~45	1976.10.7 購入

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,653	328×50×12	ディーゼル	11.6		128
4,080F	(100×15.3×3.7)	2軸			(11)

搭載量

重量 2,100 トン、ヒッチング 500 トン 又は人員125 名

ウ 装備武器

砲

米ホーフース 40mm砲 連装×1、単装×2

(2) スリインデラプラ級 (米国 ニューポート級) LST 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
1505 (元 1192)	1971.9.1	1995.6 現地着

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
4,975	522.3×69.5×17.5	ディーゼル	20	2,500	257
8,450F	(159.2×21.2×5.3)	2軸CPプロペラ		(14Kt)	(13)

搭載量

人員 400名 (士官20名)、車両 500トン、LCVP×3、LCPL×1

ウ 装備武器

砲

セネラルエレクトリック/セネラルダイミックス 20 mm バルカン ファランクス Mk 15×1

ヘリコプター

甲板のみ

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

第2項 航空機

1 対潜哨戒機

[回転翼機]

(1) ワズプ HAS-1 12機

作戦速力 96 kt (177 km/h)
サービスマンリング 3,720 m (12,200 ft)
戦闘行動半径 286 哩 (488 km)
武器 ASW: Mk 44 魚雷×1 又は2、対潜爆弾

2 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 2個スコードロン

(1) ホーク108: 10機、ホーク208: 17機

最大水平速力 マッハ 0.88
サービスマンリング 15,250 m (50,000 ft)
戦闘行動半径 538 哩 (998 km)
航続時間 約4 時間0 分
武器 スティングレー ホーミング 魚雷、マベリック ミサイル、シーグルASM

[戦闘機] 3個スコードロン

(2) ノースロップ F-5E: 11 機、F-5F: 2機

	F-5E	F-5F
最大水平速力 (高度10,975m(36,000ft) において)		
	マッハ 1.64	マッハ 1.56
サービスマンリング	15,790 m (51,800 ft)	15,485 m (50,800 ft)
戦闘行動半径	570 哩 (1,056 km)	520 哩 (964 km)
武器	M39 A2 20 mm キャン ×2	

(3) ミコヤン MiG-29: 16 機、MiG-29U: 2 機

最大水平速力 (海面) マッハ 1.06 (700 kt、1,300 km/h)
サービスマンリング
戦闘行動半径 430 哩 (800 km)
武器

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

- (1) エアロスパティアル MM 40イグゾセ ブロック II SSM
搭載艦艇 レキウ級 FFG
慣性航法、アクティブレーダー ホーミング 70 km(40nm) 0.9 マッハ、シースキマー
弾頭重量 165 kg
- (2) エアロスパティアル MM 38イグゾセ SSM
搭載艦艇 カスツリ級 FSG、ハンダラン級 PCFG、ペルダナ級 PCFG
慣性航法、アクティブレーダー ホーミング 42 km(23nm) 0.9 マッハ、シースキマー
弾頭重量 165 kg
- (3) プリティッシュエアロスペース VLS シーウルフ SAM
搭載艦艇 レキウ級 FFG
射線コマンド (CLOS) レーダー/TV トラッキング 6 km(3.3nm)
弾頭重量 14 kg

2 砲

- (1) ビッカーズ 4.5 インチ/45 Mk 5砲
搭載艦艇 ラーマット級 FF
仰角 50°、発射速度 14 発/分、射程 17 km (対水上)、8 km (対空)
弾丸重量 25 kg
- (2) クルーズロワール 3.9インチ(100 mm)/55 Mk 2 コンパクト 砲
搭載艦艇 カスツリ級 FSG、ムシタリ級 OPV
仰角 80°、発射速度 20/45/90 発/分、射程 17 km (対水上)、6 km (対空)
弾丸重量 13.5 kg
- (3) ボフォース 57 mm/70 Mk 1 砲
搭載艦艇 カスツリ級 FSG、ハンダラン級 PCFG、ペルダナ級 PCFG、ジョロン級 PCF
仰角 75°、発射速度 200発/分、射程 17 km
弾丸重量 2.4 kg
- (4) ボフォース 57 mm/70 SAK Mk 2 砲
搭載艦艇 レキウ級 FFG、
仰角 75°、発射速度 220発/分、射程 17 km
弾丸重量 2.4 kg
- (5) ボフォース 40mm/70 砲
搭載艦艇 ハンチュア級 FF/AX、ラーマット級 FF、ハンダラン級 PCFG、ペルダナ級 PCFG、ジュロン級 PCF、マハミル級 MHC
仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km (対水上)、4 km (対空)
弾丸重量 0.96 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (6) ボフォース 40mm/60 砲
搭載艦艇 ケーダー級 PC、サバー級 PC、クリス級 PC
発射速度 240発/分、射程 12.6 km
弾丸重量 0.96 kg
- (7) MSI ディフェンスシステムス 30mm DS 30B砲
搭載艦艇 レキウ級 FFG
仰角 80°、発射速度 650発/分、射程 10 km
弾丸重量 0.36 kg
- (8) エマーソンエレクトリック 30mm 砲
搭載艦艇 カスツリ級 FSG、ムシタリ級 OPV
仰角 80°、発射速度 1,200発/分、射程 6 km
弾丸重量 0.35 kg

3 魚雷

- (1) ホワイトヘッド A244S 対潜魚雷
搭載艦艇 レキウ級 FFG
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 7 km
弾頭重量 34 kg 成形爆薬

4 対潜武器

- (1) ボフォース 375mm 対潜弾
搭載艦艇 カスツリ級 FSG、
射程 3,600 m
- (2) リンボー 3 連装 Mk 10
搭載艦艇 ハンチュア級 FF/AX、ラーマット級 FF
射程 1,000 m
弾頭重量 92 kg

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) シーイーグル ASMミサイル
搭載機 ホーク108/208
射程 110 km、誘導方式 慣性航法+アクティブレーダーホーミング、重量 600 kg
 - (2) マベリック ASMミサイル
搭載機 ホーク108/208
射程 8 ~ 25 km
- | | A/B | D | E | F/G |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 誘導方式 | TV | 赤外線 | レーザー | 赤外線 |
| 重量 | 210 kg | 220 kg | 293 kg | 307 kg |
- (3) M39 A2 20 mm キャノン
搭載機 F-5E/F

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 対潜武器

(1) Mk 44 魚雷

搭載機 ウェストランド ワズプ (HAS Mk 1)

アクティブ音響ホーミング、射程 5 km、速力 30 kt、最大深度 300 m

直径 324 mm (12.75 インチ)、重量 233 kg、弾頭重量 34 kg

(2) スティングレー魚雷

搭載機 ホーク 108/208

アクティブソナー ガイダンス/ホーミング、射程 km、速力 45 kt、航走時間 4分

直径 324 mm (12.75 インチ)、重量 265 kg、弾頭 成形爆薬 HE、最大深度 1000 m

(3) 対潜爆弾

搭載機 ウェストランド ワズプ (HAS Mk 1)

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億円キット)	67.979	79.55	77.55	71.14	80.61
(10 億円)	29.285	33.94	31.23	27.56	31.99
一人当たり (円)					
国防支出(10 億円キット)		4.2			
(10 億円)		1.792			
国防予算(10 億円キット)		4.63	4.381	2.600	2.150
(10 億円)		1.976	1.764	1.01	0.85331
受領軍事援助(100万円)					
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億円キット)	90.806	101.54	114.66	123.9	140.8
(10 億円)	34.67	37.48	42.37	45.05	55.3
一人当たり (円)					
国防支出(10 億円キット)			4.68		6.2
(10 億円)			1.7		2.5
国防予算(10 億円キット)	4.22	3.57	4.23	4.73	5.6
(10 億円)	1.612	1.384	1.56	1.74	2.0
受領軍事援助(100万円)		0.95	1.0		1.1
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億円キット)	165.9	185	204		
(10 億円)	64.4	69.9	78.0		
一人当たり (円)	8,400	9,200	10,100		
国防支出(10 億円キット)	6.8	8.1	8.8		
(10 億円)	2.64	3.1	3.5		
国防予算(10 億円キット)	6.3	5.37	5.98	6.6	
(10 億円)	2.3	2.50	2.41	2.4	
受領軍事援助(100万円)		0.3	0.5	0.6	0.6

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フリゲート 艦												
レキ 級FFG(英国製)1845t												2
FS-1500(ドイツ製)1500t	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ヤロ-41/61型(英国製)2300t		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ヤロ 型(英国製)1250t	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保有隻数計	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6
保有基準排水量計(kトン)	4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	10

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
高速ミサイル艇(FAC(G))	12	12	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
スピカ M5級(スウェーデン製)	(8)	(8)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
ラ.コンバタントII級(フランス製)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
哨戒艇	26	27	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29
ミシ列級1300t		(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
ジエロン級高速砲艇(FAC)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
ケター級	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
サバー級	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
クリス級(ホスパー製)109t	(14)	(14)	(14)	(14)	14	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)
25m 級		9										
保有隻数計	47	39	36	37	37	37	37	37	37	37	37	37

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

ミタテ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇												
リチ級 (イタリア製)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
トン級 (英国製)	2											
潜水母艇				1	1	1	1	1	1	1	1	1
保有隻数計	6	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5

4 両用戦艦艇

ミタテ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦車揚陸艦 (LST)												
米国製LST-511-1152	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
米国製LST-1192											1	1
小型艇	29	29	20	33	33	33	33	33	33	33	33	33
LCM				(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
LCU				(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)
LCP				(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)
保有隻数計	31	31	22	35	35	35	35	35	35	35	36	36

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

ミタテ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
サチ級指揮/通信/貨物艦	3	3	2									
後方/給油支援				2	2	2	2	2	2	2	2	2
調査船				1	1	1	1	1	1	1	1	1
保有隻数計	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
回転翼機												
ワズ [°] HAS-1				6	6	6	6	6	6	12	12	12
合計				6	6	6	6	6	6	12	12	12

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97	
対地攻撃機													
A-4	20	39	39	38	36	35	32	33	33	35	35		
A-4PTM				(32)	(30)	(29)	(26)	(27)	(27)	(30)	(30)		
TA-4				(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)		
ホーク 108										10	10	10	
ホーク 208										6	18	17	
戦闘機													
F-5				18	18	18	18	21	21	21	18	16	15
F-5E	13	13	(14)	(14)	(14)	(14)	(13)	(13)	(13)	(13)	(11)	(11)	
F-5F	4	4	(2)	(2)	(2)	(2)	(6)	(6)	(6)	(3)	(3)	(2)	
RF-5E	2	2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
MIG-29											19	16	
MIG-29U											2	2	
合計	39	58	57	56	54	53	53	54	54	69	100	60	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

レキウ級 FFG (1996年～) の購入によって、初めて対空ミサイル、ブリティッシュエアロスペースVLS シーウルフ SAM (射程 6km) を有することとなり、同級のボフォース 57 mm /70 AK Mk 2 砲 (発射速度 220発/分、射程 17 km) と合わせて、対空武器の性能が向上した。それまでは新しい艦種は加わっていないので、対空武器の性能に変化はない。

2 対艦武器

対艦ミサイルについては、この期間の始めからカスツリ級 FSG、ハンダラン級 PCFG、及びペルダナ級 PCFG に搭載のエアロスパティアル MM 38イグゾセ SSM (射程 42 km (23nm) 0.9マッハ、シースキマー) を有していたが、レキウ級 FFG (1996年～) の購入によって、エアロスパティアル MM 40イグゾセ ブロック II SSM (射程 70 km (40nm) 0.9マッハ、シースキマー) を有することとなり、大きく射程が増大した。

砲については、ラーマツ級 FF のライバル級 FF のビッカーズ 4.5 インチ砲 (射程 17 km) が最大の口径である。これに続いて、カスツリ級 FSG、ムシタリ級 OPVのクルーゾロワール 3.9インチ (100 mm) /55 Mk 2 コンパクト砲 (射程 17 km (対水上) とカスツリ級 FSG、ハンダラン級 PCFG、ペルダナ級 PCFG、ジョロン級 PCF のボフォース 57 mm /70 Mk 1 砲があり、1996年からはレキウ級 FFGのボフォース 57 mm /70 SAK Mk 2 砲 (射程 17 km) が加わったが、射程についてはいずれもほぼ同じである。

3 対潜武器

対潜武器については、当初はハンチュア級 FF/AX、ラーマツ級 FF のリンボー3 連装 Mk 10 (射程 1,000 m) とカスツリ級 FSGのボフォース 375mm 対潜弾 (射程 3,600 m) であったが、ホワイトヘッド B 515 324 mm 3 連装発射管を装備のレキウ級 FFGの導入 (1996年～) で対潜魚雷を運用することとなった。ジェーン年鑑では使用する魚雷の種類は記載されていないが、近く入手する予定のイタリア製のコルベットが、ホワイトヘッド A244S 対潜魚雷 (アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 7 km) を使用しているとの見られるので、レキウ級 FFGでも同じ魚雷が使用されていると見られる。これによって対潜武器の質は大きく向上するが、ソナーを装備している艦艇がレキウ級 FFG、カスツリ級 FSG、ハンチュア級 FF/AX だけであることと合わせて、マレーシア海軍の対潜能力は限られていると見られる。

第2項 航空機性能の推移

1 対潜哨戒機

1980年代の後期から、対潜ヘリコプター ウェストランド ワズプ (HAS Mk 1) (戦闘行動半径 286浬、武器:Mk 44魚雷、対潜爆弾搭載) を運用している。空軍所属のホーク108/2-8 対地攻撃機は、性能上はスティングレーホーミング魚雷を運用することができるが、マレーシアがこの魚雷を有しているとのはっきりした情報はない。

2 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

対象期間の当初から対地攻撃機 A-4を有していたが、1990年代の半ばからホーク108/208 (戦闘行動半径 538浬、武器:マベリック ASM又はシーイーグル ASM) を導入している。

HP「海軍砲術学校」公開資料

戦闘機は F-5E/F(戦闘行動半径 570 哩) があり、1990年代半ばから MiG 29(戦闘行動半径 430 哩) を導入しているが、対艦攻撃武器は機銃であり、その能力は限られている。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

1990年代の半ばから導入している、ホーク108/208 対地攻撃機は、性能上はマベリック ASM (射程 8~25 km) 又はシーイーグル ASM (射程 110 km) を運用することができるが、マレーシアがこのミサイルを有しているとのはっきりした情報はない。

2 対潜武器

1980年代の後期から運用しているウエストランド ワズプ (HAS Mk 1) 対潜ヘリコプターは、Mk 44 魚雷 (射程 5 km) を搭載することができる。スティングレー魚雷の保有についてのはっきりした情報はない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5章 シンガポール

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、海軍の編成は次のとおりである。

第1 フロッチェラ

188 スコードロン (ビクトリー級 FSG×6)

185 スコードロン (シーウルフ級 PCFG ×6)

第3 フロッチェラ

191 スコードロン (LST ×5)

192 スコードロン (シビルリザーブ)

193 スコードロン (シビルリザーブ)

194 スコードロン (ベドック級 MHC×4)

195 スコードロン (FCU、FCEP、RPL)

沿岸部隊

182 スコードロン (インデペンデンス級 (ボスパータイプA) PCF)

沿岸哨戒スコードロン (CPC ×4、FB×12)

沿岸後方スコードロン (ジュピター級潜水支援船 YDT)

海軍後方部隊

練習隊 (ボストン ホイラー RIB)

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、海軍長官 (Chief of Navy) だけである。

第3項 基地

プラウブラニ、チュアス (ジュロング)

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇 19 隻+

[コルベット] 6隻

(1) ビクトリー級 (独ラーセン MGB 62) FSG 6隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

[ミサイル艇] 7 隻

(2) シーウルフ級 (独ラーセン ベルフト FPB 45 タイプ) PCFG 6隻

(3) フィアレス級 PG 1隻

[哨戒艇] 6 隻

(4) インデペンデンス/ ソブレインティ級 (英ボスパー タイプ A/B) 6 隻

[その他] +

3 機雷戦艦艇 2 隻

(1) ベドック級 (スエーデン ランドソート級) MHC 2 隻

4 両用戦艦艇 14 隻+

[LST] 3隻

(1) パーシバランス級 (英国サー 5ランスロット級) LSL 1隻

(2) エクセレンス級 (米国 LST 511-1152 級) LST 2隻

[その他] 11隻+

(3) LCM 10隻

(4) ホーバークラフト 1 隻

(5) ボート +

5 潜水艦

現在は保有していないが、スエーデンから 1隻の潜水艦を購入することを1995.9.23 に発表した。1996年4 月から乗組員の訓練がスエーデンで行われている。

6 支援艦艇 2 隻

ジュピター級潜水支援艇 YDT 1 隻

練習船 1隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

8 対潜哨戒機

保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機 4 個スコードロン

3 個スコードロン A-4S/SI: 62機、 TA-4S/SI: 13機

1 個スコードロン F-16-A : 3機、 F-16-B : 4機

(更に米国に F-16 A/B 11 機)

2 戦闘機

2 個スコードロン ノースロップ F-5E: 29 機、 F-5F: 9 機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は編成されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 小型水上艦艇 19 隻+

[コルベット] 6隻

(1) ビクトリー級 (独ラーセン MGB 62) FSG 6隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
88～93	1990～91	1986.6発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
595F	204.7×27.9×10.2 (62.4×8.5×3.1)	ディーゼル 4軸	35	4,000 (18Kt)	49 (8)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネルダグラス ハープーン ×8

SAM: イスラエリ インダストリー バラク 又はシハット を搭載の予定

砲

オットメラ 76 mm/62 スーパーレピッド ×1

CIS 50 12.7 mm 機関砲×4

魚雷

324 mm ホイトヘッド B 515 3 連装発射管×2、ホイトヘッド A 244S対潜魚雷

ソナー

トムソンソナラ TSM 2064 VDS

[ミサイル艇] 7 隻

(2) シーウルフ級 (独ラーセン ベルフト FPB 45 タイプ) PCFG 6隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 76～P 81	1972～76	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
226	147.3×23×7.5	ディーゼル	38	950	40
254F	(44.9×7×2.3)	4軸		(30Kt)	(7)

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクトネルダグラス ハープーン ×4

IAI ガブリエリ I ランチャー ×4

SAM: マトラ シンバット 連装ランチャー ミストラル ×1

砲

米ホフォース 57 mm/70砲×1

(3) フィアレス級 PG 1隻

ア 艦名等

番号

就役

移転

94

1996.3

シンガポール製

イ 諸元

排水量(トン)

寸法(フィート(m))

主機

速力(Kt)

レンジ(浬)

乗員(名)

(Fは満載)

長×幅×高

(士官)

180.4×25.9×8.9

ディーゼル

20

27

500F

(55×7.9 ×2.7)

ウォータージェット ×2

(5)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: ガブリエリ II ×4

SAM: マトラ シンバット 連装ランチャー ミストラル ×1

砲

オットメラ 76 mm/62 スーパーバレット 砲×1

魚雷

324 mm ホワイトヘッド B515 3連装発射管×2、ホワイトヘッド A422S 魚雷

ソナー

トムソンソナール TSM 2362 カッジョン

[哨戒艇] 6隻

(4) インデペンデンス/ ソブレインティ級 (英ボスパー タイプA/B) 6隻

ア 艦名等

番号

就役

移転

69~70、72/71、73~74

1970~71

1968.5.21 発注

イ 諸元

排水量(トン)

寸法(フィート(m))

主機

速力(Kt)

レンジ(浬)

乗員(名)

(Fは満載)

長×幅×高

(士官)

112

109.6×21×5.6

ディーゼル

32

1,100/1,000

19-22

142F

(33.5×6.4 ×1.8)

2軸

(14kt)

(3)

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

砲

ホホース 40 mm/70 砲×1

エリコン 20 mm/80 砲×1 / 20 mm GAM-B01 ×1

CIS 50 12.7 mm 機関砲×2

2 機雷戦艦艇 2 隻

(1) ベドック級 (スエーデン ランドソート級) MHC 2 隻

ア 艦名等

番号

M 105 ~M-108

就役

1995. 10. 7

移転

1991. 2 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワジ(漕)	乗員(名) (士官)
	155.8×31.5×7.3	ディーゼル	15	2,000	38
360F	(47.5×9.6 ×2.2)	フォスナイタープロペラ×2		(12Kt)	(8)

ウ 装備武器

砲

米ホフォース 40 mm/70砲×1

12.7 mm 機関砲×4

機雷

敷設軌条×2

ソナー

トムソントラ TSM 2022 ハル 機雷掃討ソナー

3 両用戦艦艇 14 隻+

[LST] 3隻

(1) パーシバランス級 (英国サー 5ランスロット級) LSL 1隻

ア 艦名等

番号

L 206(元 L 3029)

就役

1964. 1. 16

移転

1992. 10 購入

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワジ(漕)	乗員(名) (士官)
3,270	412.1×59.8×13	ディーゼル	15	8,000	61
5,674F	(125.6×18.2×4)	2軸		(15kt)	(6)

搭載量

人員 340名、MBT ×16、車両×34、POL 120 トン、弾薬 30 トン

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

ウ 装備武器

ミサイル

マトラ シンバット^{*} 連装ランチャー ×4、ミストラル ミサイル

砲

米ホ^{*}フォース 40mm砲×1

12.7 mm 機関砲×6

ヘリコプター

中型機×2 用甲板

(2) エクセレンス級 (米国 LST 511-1152 級) LST 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 202(元A 81)、L 203(元A 83)	1944	1976.6.4

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,653	328×50×14	ディーゼル	9	19,000	120
4,100F-4, 150F	(100×15.2×4.3)	2軸		(9kt)	(15)

搭載量

貨物 1,500 トン、ヒーチング 500 トン、タンクデッキ 440 m²、メインデッキ 500 m²、人員 125名

ウ 装備武器

ミサイル

マトラ シンバット^{*} 連装ランチャー ×2、ミストラル ミサイル

砲

米ホ^{*}フォース 40mm砲×1 又は3

12.7 mm 機関砲×6

ヘリコプター用甲板

4 潜水艦

現在は保有していないが、スウェーデンから 1隻の潜水艦を購入することを1995.9.23 に発表した。1996年4 月から乗組員の訓練がスウェーデンで行われている。

(1) ショールメン級 (スウェーデン A 125) SSK 1隻

ア 艦名等

艦名	就役	移転
ショブ [*] ジョルメン [*]	1969.2.28	1995.9.23購入を発表

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,130 水上	167.3×20×19	ディーゼル 電気	12水上		23
1,210 水中	(51×6.1 ×5.8)	1軸	20水中		(7)

HP「海軍砲術学校」公開資料

ウ 装備武器

魚雷

21インチ(533 mm) 前部発射管×4、FFV タイプ 613 対水上ワイヤード 魚雷×10

機雷

機雷敷設能力あり

ソナー

プレッシャー ハイドラ ハルソナー

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 4 個スコードロン

- (1) A-4S/SI: 62機、TA-4S/SI: 13 機

最大水平速力 573 kt (1,062 ft)

サービスマンリング

最大巡航航続距離 1,680 哩 (3,114 km)

武器

- (2) F-16-A : 3機、F-16-B : 4機 (更に米国に F-16 A/B 11 機)

最大水平速力 (高度12,200m(40,000ft) において)

マッハ 2.0 以上

サービスマンリング 15,240 m (50,000 ft)

戦闘行動半径 500 哩 (925 km)

武器 M61 A1 20 mm キャン、マリック ASM

[戦闘機] 2 個スコードロン

- (3) ノースロップ F-5E: 29 機、F-5F: 9機

F-5E

F-5F

最大水平速力 (高度10,975m(36,000ft) において)

マッハ 1.64

マッハ 1.56

サービスマンリング 15,790 m (51,800 ft)

15,485 m (50,800 ft)

戦闘行動半径 570 哩 (1,056 km)

520 哩 (964 ft)

武器 M39 A2 20 mm キャン×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

- (1) マクドネルダグラス ハープーン SSM
搭載艦艇 ビクトリー級 FSG、シーウルフ級 PCFG
アクティブレーダー ホーミング 130 km(70nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 227 kg
- (2) IAI ガブリエル I ランチャー SSM
搭載艦艇 シーウルフ級 PCFG
レーダー又は光学誘導、セミアクティブレーダー ホーミング 20 km 0.7 マッハ
弾頭重量 75 kg
- (3) ガブリエル II SSM
搭載艦艇 フィアレス級 PG
- (4) イスラエリインダストリ バラク SAM、又はマトラシンバッド SAM
搭載艦艇 ビクトリー級 FSG
- (5) マトラシンバッド連装ランチャー SAM、ミストラル
搭載艦艇 シーウルフ級 PCFG、フィアレス級 PG
IR ホーミング 4 km
弾頭重量 3 kg

2 砲

- (1) オトメララ 76 mm/62 スーパーラピッド砲
搭載艦艇 ビクトリー級 FSG、フィアレス級 PG
仰角 85°、発射速度 120発/分、射程 16 km
弾丸重量 6 kg
- (2) ボフォース 57 mm/70砲
搭載艦艇 シーウルフ級 PCFG
仰角 75°、発射速度 200発/分、射程 17 km
弾丸重量 2.4 kg
- (3) ボフォース 40mm/70 砲
搭載艦艇 インデペンデンス級 PCF、ソブレインティ級 PCF
仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km (対水上)、4 km (対空)
弾丸重量 0.96 kg
- (4) エリコン 20 mm/80 砲
搭載艦艇 インデペンデンス級 PCF
- (5) エリコン 20 mm GAM-B01砲
搭載艦艇 ソブレインティ級 PCF

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (6) CIS 50 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 ビクトリー級 FSG、フィアレス級 PG、インデペンデンス級 PCF、
ソブレインティ級 PCF

3 魚雷

- (1) ホワイトヘッド A244S 対潜魚雷
搭載艦艇 ビクトリー級 FSG、フィアレス級 PG
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 7 km, 33 kt
弾頭重量 34 kg 成形爆薬

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) AGM-65B マベリック ASMミサイル
搭載機 F-16-A/B
射程 8 ~25 km

	A/B	D	E	F/G
誘導方式	TV	赤外線	レーザー	赤外線
重量	210 kg	220 kg	293 kg	307 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1982/3	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7
GDP (10 億 ストル)	31.946	35.171	38.733	(85)38.52	(86)38.16
(10 億ドル)	14.959	16.571	17.901	17.70	17.52
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億 ストル)			1.855		
(10 億ドル)			0.857328		
国防予算(10 億 ストル)			2.263	2.614	2.24
(10 億ドル)			1.046	1.201	1.03
受領軍事援助(100万ドル)					
年度	1987/8	1988/9	1989/90	1990	1991
GDP (10 億 ストル)	(87)41.90	(88)48.05	(89)55.31	62.71	69.45
(10 億ドル)	20.20	23.88	28.36	34.6	40.19
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億 ストル)					
(10 億ドル)					
国防予算(10 億 ストル)	2.35	2.62	2.92	3.08	3.68
(10 億ドル)	1.13	1.32	1.50	1.7	2.13
受領軍事援助(100万ドル)		(88)0.05			
年度	1992	1993	1994	1995	1996
GDP (10 億 ストル)	75.0	89.0	105.9	115	
(10 億ドル)	46.0	55.1	60.7	67.3	
一人当たり (ドル)	16,800	18,700	19,700	21,500	
国防支出(10 億 ストル)	4.1	3.94	4.7	5.6	
(10 億ドル)	2.5	2.44	3.1	4.0	
国防予算(10 億 ストル)	4.1	4.3	4.7	5.627	5.7
(10 億ドル)	2.5	2.7	3.0	4.02	4.0
受領軍事援助(100万ドル)		0.02	0.01	0.02	0.02

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット												
レーセン-62m(ドイツ製)					1	3	6	6	6	6	6	6
高速ミサイル艇(FAC(G))												
TNC-45	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
ファイレス PFM												1
高速砲艇(FAC)												
ホースパー-A/B	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
哨戒艇												
エンタープライズ級				1	1	1	1					
フォート級(英国製)				1	1	1	1					
スウィフト級	12	12	12	12	12	12	12	12	12	8	8	
小型艇									+	+	+	+
保有隻数計	24	24	24	26	27	29	32	30+	30+	26+	26+	19+

3 機雷戦艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ランソート級MHC(スウェーデン製)										1	2	2
レットウイング級掃海艇(米国製)	2	2	2	2	2	2						
保有隻数計	2	2	2	2	2	2				1	2	2

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦車揚陸艦									5	5	5	3
サーランスロット級 (英国製)									(1)	(1)	(1)	(1)
LST-511-1152	6	6	6	5	5	5	5	5	(4)	(4)	(4)	(2)
小型艇	8	8	8	8	8	8	8	8	8	+	+	+
LCM										10	10	10
ホバークラフト										1	1	1
保有隻数計	14	14	14	13	13	13	13	13	13	16+	16+	14+

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
練習艦	1	2	2						1	1	1	1
潜水支援艇								1*	2*	1*	1*	1
保有隻数計	1	2	2					1	3	2	2	2

注：* 潜水支援艇ジュピターは機雷掃討能力を有している。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリーズ、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
A-4S/SI	40	37	63+	63+	67	62	62	62	62	62	62	62
TA-4S スカイホーク	6	6	13+	13+	13	13	13	13	13	13	13	13
BAe ハンター-FGA-74	21	21	29	29	24	24	20	20	20			
T-75			4	4	4	4	4	4	4			
F-16A						4	4	4	2	3	3	3
F-16B						4	4	4	4	4	4	4
防空戦闘機												
F-5E	23	23	29	33	33	31	31	29	29	29	29	29
F-5F	3	3	6	9	9	9	9	9	9	5	9	9
合計	93	90	144	151	150	151	147	145	143	116	120	120

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

対空ミサイルは、この期間の初めからシーウルフ級 PCFG に搭載のマトラシンバッド ミストラル SAM (IRホーミング 4 km) を有していた。このミサイルは1996年から逐次就役するフィアレス級 PG にも装備され、シーウルフ級 PCFG でも運用されるであろう。

砲については、1990年からのビクトリー級 FSGの就役によりオトメララ 76 mm/62 スーパーピッド砲 (発射速度 120発/分、射程 16 km) が新たに加わった。この砲はフィアレス級 PG にも搭載されているが、射程等についてはそれまでに有していたシーウルフ級 PCFG のボフォース 57 mm/70 砲 (発射速度 200発/分、射程 17 km) と大差はない。

2 対艦武器

対艦ミサイルについては、シーウルフ級 PCFG に装備のマクドネルダグラス ハープーン SSM(射程 130 km)があり、このミサイルはその後就役のビクトリー級 FSGにも装備されている。従って質の面での変化はない。

砲については、対空武器の項で既述のとおりである。

3 対潜武器

シンガポール海軍は、この期間の初めには対潜捜索、攻撃能力を有していなかったが、ビクトリー級 FSGの就役で初めて対潜捜索、攻撃用ソナーを備え、ホワイトヘッド A244S 対潜魚雷 (射程 7 km, 33 kt) を運用することとなった。その後逐次建造しているフィアレス級 PG もソナーを装備しこの魚雷を運用している。

第2項 航空機性能の推移

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

対象期間の当初には、BAe ハンター FGA-74 とA-4S (巡航航続距離 1,680 哩) を有していたが、1990年代の半ばに BAeハンター FGA-74 は退役し、1990年代の初めから導入された F-16A/B (戦闘行動半径 500 哩) がこれに代わった。航続能力には大差がないが、F-16A/B はマベリック ASMを搭載するので、対艦攻撃能力は大きく増大した。

当初から運用している戦闘機 F-5E/F (戦闘行動半径 520~570 哩) は、機銃のみであり対艦攻撃能力はあまり大きくはない。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

1990年代初めの F-16A/Bの導入によって、AGM-65Bマベリック ASMミサイル (射程 8 ~ 25 km) を有することとなり、対艦武器の能力は大きく増大した。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6章 ブルネイ

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997及びミリタリー・バランス 1996-1997のブルネイ海軍に関する記述は基地 ムアラだけである。

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、この他に英国製ヤロータイプFSG 3隻が発注されており、2000年以降逐次取得の予定である。各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇 9隻+

[ミサイル艇] 3 隻

(1) ワスパダ級（英ボスパー）PCFG 3隻

[哨戒艇] 6 隻

(1) ペルウィラ級（英ボスパー）3 隻

(2) ロトーク級 3隻*

[その他] + ボート

注：*）ジェーン年鑑では、1994年に最後の2 隻が除籍とされている。

3 機雷戦艦艇 2 隻

保有していない。

4 両用戦艦艇 2 隻+

(1) ダムアン級（英国シェバートンロードマスター）YFU 2隻

5 潜水艦

保有していない。

6 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

7 対潜哨戒機

保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

保有していない。

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は編成されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 小型水上艦艇 9隻+

[ミサイル艇] 3隻

(1) ワスパダ級 (英ボスパー) PCFG 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 02~P 04	1978~79	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬) (14Kt)	乗員(名) (士官)
	121×23.5×6	ディーゼル	32	1,200	24
206F	(36.9×7.2×1.8)	2軸		(14Kt)	(4)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: エアロパティアル MM 38 イグゾセ ×2

砲

エリコン 30 mm GCM-B01 連装砲×2

7.62 mm 機関砲×2

[哨戒艇] 6隻

(2) ペルウィラ級 (英ボスパー) 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 14~P 16	1974~75	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬) (22Kt)	乗員(名) (士官)
	71×20×5	ディーゼル	32	600	14
38 F	(21.7×6.1×1.2)	2軸		(22Kt)	(2)

ウ 装備武器

砲

エリコン BMARC 20 mm GAM-B01 砲×2

7.62 mm 機関砲×2

(3) ロトーク級 3隻

ジェーン年鑑では、1994年に最後の2隻が除籍とされている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 両用戦艦艇 2 隻+

(1) ダムアン級 (英国シェバートンロードマスター) YFU 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 31~L 32	1976~77	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)

60 (L 31) 65×20×3.6 ディーゼル 9 1,000 8

64 (L 32) (19.8×6.1 ×1.1) 2軸 (9kt)

搭載量

32トン

ウ 装備武器

第2項 航空機

該当する航空機は保有していない。

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

(1) エアロスパティアル MM 38 イグゾセ SSM

搭載艦艇 ワスパダ級 PCFG

慣性航法 アクティブレーダー ホーミング 42 km(23nm) 0.9マッハ

弾頭重量 165 kg

2 砲

(1) エリコン 30 mm GCM-B01 連装砲

搭載艦艇 ワスパダ級 PCFG

仰角 85°、発射速度 650発/分、射程 10 km

弾丸重量 1 kg

(2) エリコン/BMARC 20 mm GAM-B01砲

搭載艦艇 ペルウイラ級 PC

発射速度 800発/分、射程 2 km

弾丸重量 0.24 kg

(3) 7.62 mm 機関砲

搭載艦艇 ワスパダ級 PCFG、ペルウイラ級 PC

第2項 航空機装備武器

戦闘用航空機を有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億 トﾞﾙ)	8.94	8.05	7.53	6.98	
(10 億 トﾞﾙ)	4.158	3.78	3.42	3.21	
一人当たり (トﾞﾙ)					
国防支出(10 億 トﾞﾙ)	0.55	0.65			
(10 億 トﾞﾙ)	0.260281	0.304721			
国防予算(10 億 トﾞﾙ)			0.452	0.505	0.41
(10 億 トﾞﾙ)			0.20545	0.23242	0.19321
受領軍事援助(100万トﾞﾙ)					
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億 トﾞﾙ)		6.44	6.55	7.52	7.5
(10 億 トﾞﾙ)		3.29	3.49	4.30	4.7
一人当たり (トﾞﾙ)					
国防支出(10 億 トﾞﾙ)					
(10 億 トﾞﾙ)					
国防予算(10 億 トﾞﾙ)	0.49953	0.			0.6369
(10 億 トﾞﾙ)	0.23310	0.			0.3956
受領軍事援助(100万トﾞﾙ)					
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億 トﾞﾙ)	6.5	6.7			
(10 億 トﾞﾙ)	4.1	4.3			
一人当たり (トﾞﾙ)	6,600	6,700			
国防支出(10 億 トﾞﾙ)	0.348	0.400	0.390		
(10 億 トﾞﾙ)	0.212	0.258	0.268		
国防予算(10 億 トﾞﾙ)	0.6369	0.5724	0.4961	0.400	
(10 億 トﾞﾙ)	0.3956	0.349	0.312	0.284	
受領軍事援助(100万トﾞﾙ)					

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
高速ミサイル艇(FAC(G))												
ワスパダ級	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
哨戒艇	6	6	6	3	3	3	3	3	3	3	6	6
ペルシヤ級	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
ロトク級	(3)	(3)	(3)								(3)	(3)
保有隻数計	9	9	9	6+	6+	6+	6+	6+	6+	6+	9+	9+

3 機雷戦艦艇

保有していない。

4 両用戦艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ロードマスター級上陸用舟艇	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
歩兵強襲上陸艇	24	24	24	+	+	+	+	+	+	+	+	+
保有隻数計	26	26	26	2+	2+	2+	2+	2+	2+	2+	2+	2+

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
23t 汎用艇		3	3									
保有隻数計		3	3									

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

- 1 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 2 対潜哨戒機
保有していない。
- 3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機
保有していない。

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

- 1 対空武器
対空ミサイルは、保有していない。
砲については、対象とする機関の間に変化はなく、主要なものは、ワスパダ級 PCFG1のエリコン 30 mm GCM-B01連装砲（発射速度 650発/分、射程 10 km）とペルウイラ級 PC のエリコン/BMARC 20 mm GAM-B01砲（発射速度 800発/分、射程 2 km）である。
- 2 対艦武器
対艦ミサイルは保有していない。
砲については、対空武器の項で既述のとおりである。
- 3 対潜武器
対潜捜索、攻撃能力は有していない。

第2項 航空機性能の推移

該当する航空機は保有していない。

第3項 航空機装備武器性能の推移

戦闘用航空機は保有していない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

7章 ベトナム

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ミリタリー・バランス1996-97 では、4海軍区とされている。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。
海軍部隊長官 (Chief of Naval Forces)

第3項 基地

ハノイ (司令部)、カムラン湾、カンソー、ハイホン、フエ、ダナン、ハトウ

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 8隻

[フリゲート艦] 8隻

- (1) バーネガット級 (米カッター) FFG 1 隻^{*}
- (2) ファムニョラオ級 (米バーネガット) FFG 1 隻
- (3) ソ連ペチャII級 (タイプ 159) FFL 3 隻
- (4) ソ連ペチャIII級 (タイプ 159) FFL 2 隻
- (5) ダイキイ級 (米サベッジ級) FF 1隻

注: ^{*} ジェーン年鑑1996-97 には記載されていない。ミリタリー・バランス1995-1996 までにも記載はないので、誤りの可能性が高い。

2 小型水上艦艇 52 隻

[ミサイル艇] 8 隻

- (1) オサII級 (ソ連) PCFG 8隻
- (2) タランチュルI級 (ソ連タイプ 1241) FSG 2隻

[哨戒艇] 29隻

- (3) ツーリャ級 (ソ連タイプ 206M) ハイドロfoil PHT 3 隻
- (4) シェルシェン級 (ソ連) PCF 16隻
- (5) SO 1級 (ソ連) PC 4 隻
- (6) 米 PGM-59/71級 3 隻^{*}
- (7) ブーク級 (ソ連タイプ 1400M) PC 10 隻
- (8) ツーリャ級 (ソ連タイプ 206M) ハイドロfoil PH 3隻 (魚雷無し)
- (9) PCI 4 隻^{*}

HP「海軍砲術学校」公開資料

注：*) この級は、ジェーン年鑑では 0隻となっているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

注：#) この級は、ジェーン年鑑には記載されていないが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

3 機雷戦艦艇 11 隻

- (1) ユルカ級 (ソ連タイプ 266) MSO 2 隻
- (2) ソーニャ級 (ソ連タイプ 1265) MSC 4隻
- (3) リエンユン級 MSC 2 隻
- (4) バーニャ級 MSI 1隻#)
- (5) イフゲニア級 (ソ連タイプ 1258) MSI 2隻
- (6) その他 K 8級 (ソ連) MSB 5 隻

注：#) この級は、ジェーン年鑑には記載されていないが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

4 両用戦艦艇 37 隻

- (1) キノン級 (米国 LST 1-510級×1、LST 511-1152 級×2) LST 3 隻
- (2) ポルノクヌイ級 (ソ連タイプ 771) LSM 3隻
- (3) LSM-1 級 (米国) LSM 1 隻#)
- [その他] 30隻
- (4) LCM 12隻#)
- (5) LCU 18隻#)

注：#) この級は、ジェーン年鑑には記載されていないが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

注：*) この級の記号と数値は、ジェーン年鑑とは異なっているが、ミリタリー・バランスにしたがっている。

5 潜水艦

保有していない。

6 支援艦艇 30 隻+

カメンカ級 (タイプ 870) AGS 1 隻

小型タンカー 4隻

輸送船 12 隻

浮ドック (元ソ連) 2

潜水支援船 3隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

8 対潜哨戒機

[回転翼]

Ka-25: 8 機

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機

1 個連隊 SU-22: 65 機、 SU-27: 6 機

2 戦闘機

5 個連隊 MiG-21bis/PF: 125 機

3 攻撃ヘリコプター

Mi-24: 25機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海軍歩兵: 30,000名 (ジエーン年鑑では 25,000 名)

なお、配備状況については、資料が得られなかった。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については載していない。

1 主要水上艦艇 8隻

[フリゲート艦] 8隻

(1) バーネガット級 (米カッター) FFG 1隻

この級は、ジェーン年鑑1996-97には記載されていない。ミリタリー・バランス1995-1996までにも記載はないので、誤りの可能性が高い。

(2) ファムニョラオ級 (米バーネガット) FFG 1隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ファムニョラオ (元アブセコン)	HQ 01 (元WHEC 374)	1943. 1. 28	1971

イ 諸元

排水量 (トン)	寸法 (フィート (m))	主機	速力 (Kt)	レンジ (浬)	乗員 (名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,766	310.8×41.1×13.5	ディーゼル	18	20,000	200
2,800F	(94.7×12.5×4.1)	2軸		(12Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2A スティックス ×2

SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー ×2

砲

米 5インチ/38 砲×1

37 mm/63砲×3

25 mm 連装砲×2

81 mm モーター×2

ソナー

トムソンソナトラ スパロン ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) ソ連ペチャII級 (タイプ 159) FFL 3 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
	HQ 13、15、17		1983、84

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
960	268.3×29.9×9.5	CODAG	32	4,870	98
1,180F	(81.8×9.7×2.9)	3軸		(10Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連 3インチ/60砲×4

魚雷

16インチ(406 mm) 5 連装砲発射管×2、SAET-40 魚雷

対潜武器

RBU 6000 12 連装旋回発射管×4

爆雷軌条×2

機雷搭載可能×22

ソナー

バィチャグ MG 311ハルソナー

(4) ソ連ペチャIII級 (タイプ 159) FFL 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
	HQ 09、11		1978.12

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
960	268.3×29.9×9.5	CODAG	32	4,870	98
1,180F	(81.8×9.7×2.9)	3軸		(10Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連 3インチ/60砲×4

魚雷

21インチ(533 mm) 3 連装砲発射管×3、SAET-60 魚雷

対潜武器

RBU 2500 16 連装旋回発射管×4

爆雷軌条×2

機雷搭載可能×22

ソナー

バィチャグ MG 311ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) ダイキイ級 (米サベッジ級) FF 1隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ダイキイ (元タンカーテュ、元フォスター)	HQ 03	1944. 1. 25	1971. 9. 25

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
1,590	306×36.6×14	ディーゼル	21	10,000	170
1,850F	(93.3×11.2×4.3)	2軸		(15Kt)	

ウ 装備武器

ミイル

SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー ×2

砲

米 3インチ/50 砲×2

魚雷

324 mm米 Mk 32 3連装発射管×2

対潜武器

Mk 15 ヘッジホグ ×1

爆雷投下軌条×1

ソナー

SQS-29 ハルソナー

2 小型水上艦艇 52 隻

[ミサイル艇] 8 隻

(1) オサII級 (ソ連) PCFG 8隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1979~81

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
245F	126.6×24.9×8.8 (38.6×7.6×2.7)	ディーゼル	37	500	30
		3軸		(35Kt)	

ウ 装備武器

ミイル

SSM: SS-N-2B スティックス×4

砲

ソ連 30 mm/65 連装法×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) タランチュル I 級 (ソ連タイプ 1241) FSG 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
	1996	1994.10 発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
385	184.1×37.7×8.2	ガスタービン	36	2,000	41
450F	(56.1×11.5×2.5)	2軸		(20Kt)	(5)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2D スティック×4

SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー

砲

3 インチ /60 砲×1

30 mm/65 AK 630 砲×2

ソナー

フォールテール

[哨戒艇] 29隻

(3) ツーリャ級 (ソ連タイプ 206M) ハイドロfoil PHT 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1984~86

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
190	129.9×41×13.1	ディーゼル	40	600	30
250F	(39.6×12.5×4)	3軸		(35Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連 57 mm/70 連装砲×2

ソ連 25 mm/80 連装砲×2

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×2

爆雷投下軌条×2

ソナー

フォールテール VDS

HP「海軍砲術学校」公開資料

(4) シェルシエン級 (ソ連) PCF 16隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1973～83

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
145	113.4×22×4.9	ディーゼル	45	850	23
170F	(34.7×6.7 ×1.5)	3軸		(30Kt)	

ウ 装備武器

ミイル

SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー

砲

ソ連30 mm/65 連装砲×2

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×4

爆雷

投下軌条×2、爆雷×12

機雷 ×8 搭載可能

(5) SO 1級 (ソ連) PC 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1980～83

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
170	137.8×19.7×5.9	ディーゼル	28	1,100	31
215F	(42×6 ×1.8)	3軸		(13Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連25 mm/80 連装砲×2

対潜武器

RBU 1200 5連装×4

爆雷

投下軌条×2、爆雷×24

機雷 ×10搭載可能

ポッド・ヘッド 水上搜索

(6) 米 PGM-59/71級 3隻

この級は、ジェーン年鑑では 0隻となっている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

(7) ズーク級 (ソ連タイプ 1400M) PC 10 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1978~96

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワッジ(溼)	乗員(名) (士官)
395F	78.7×16.4×3.9 (24×5 ×1.2)	ディーゼル 2軸	30	1,100 (15Kt)	11 (3)

ウ 装備武器

砲

14.5 mm 連装砲×2

(8) ツーリャ級 (ソ連タイプ 206M) ハイドロfoil PH 3隻 (魚雷無し)

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1984~86

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワッジ(溼)	乗員(名) (士官)
190 250F	129.9×41×13.1 (39.6×12.5×4)	ディーゼル 3軸	40	600 (35Kt)	30

ウ 装備武器

砲

ソ連 57 mm/70 連装砲×2

ソ連 25 mm/80 連装砲×2

爆雷投下軌条×2

(9) PCI 4 隻

この級は、ジェーン年鑑には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) ユルカ級 (ソ連タイプ 266) MS0 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
HQ 851~HQ 852	1970年代	1979.12

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
540F	171.9×30.8×8.5 (52.4×9.4 ×2.6)	ディーゼル 2軸	17	1,500 (12Kt)	45

ウ 装備武器

砲

ソ連 30 mm/65 連装砲×2、火器管制

機雷

×10搭載可能

ソナー

スタックアイ ハル機雷掃討用ソナー

(2) ソーニャ級 (ソ連タイプ 1265) MSC 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1987~90

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
400F	157.4×28.9×6.6 (48×8.8 ×2)	ディーゼル 2軸	15	3,000 (10Kt)	43

ウ 装備武器

砲

ソ連 30 mm/65 AK 630連装砲×2

機雷

×8 搭載可能

ソナー

MG 69/79

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) リエンユン級 MSC 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		中国製トローラー

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	131.2×26.2×11.5	ディーゼル	8		
400F	(40×8 ×3.5)	1軸			

ウ 装備武器

砲
12.7 mm 機関銃×2

(4) バーニャ級 MSI 1隻

この級は、ジェーン年鑑には記載されていない。

(5) イフゲニア級 (ソ連タイプ 1258) MSI 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1979～86

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	80.7×18×4.9	ディーゼル	11	300	10
90 F	(24.5×5.5 ×1.5)	2軸		(10Kt)	

ウ 装備武器

砲
ソ連 25 mm/80 連装砲×2
ソナー
MG 7

(6) K 8 級 (ソ連) MSB 5 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1980.10

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	55.4×10.5×2.6	ディーゼル	18		6
26 F	(16.9×3.2 ×0.8)	2軸			

ウ 装備武器

砲
14.5 mm 連装機関砲×2

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

4 両用戦艦艇 37 隻

(1) キノン級 (米国 LST 1-510級×1、LST 511-1152 級×2) LST 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
HQ 501、HQ 503、HQ 505	1943~44	1960年代中期

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
4,080F	328×50×14 (100×15.3×4.3)	ディーゼル 2軸	11	6,000 (10kt)	110

ウ 装備武器

砲

37 mm/63砲 ×4

(2) ポルノクヌイ級 (ソ連タイプ 771) LSM 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
HQ 511~HQ 513		1979~80

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
760	246.1×31.5×7.5	ディーゼル	19		40
834F	(75×9.6 ×2.3)	3軸			

ウ 装備武器

砲

ソ連 30 mm/65 単装又は連装×2

(3) LSM-1 級 (米国) LSM 1 隻

この級は、ジェーン年鑑には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 対潜哨戒機

[回転翼]

(1) Ka-25: 8 機

最大水平速力 145 kt (270 km/h)
サービスマンリング 3,500 m (11,500 ft)
行動半径 108 浬 (200 km)
武器 ASW: 魚雷×2、対潜爆弾
ASV: ミサイル又はロケットランチャー ×1 ~2

2 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 1 個連隊

(1) SU-22: 65 機

最大水平速力 (海面) マッハ 1.05
サービスマンリング 18,000 m (59,050 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 340 浬 (630 km) (lo-lo-lo) 195 浬 (360 km)
武器 30 mm NR-30 砲×2、ASM: AS-7 クリー等

(2) SU-27: 6 機

最大水平速力 (海面) マッハ 2.35 (1,350 kt, 2,500 km/h)
サービスマンリング
戦闘行動半径 810 浬 (1,500 km)
武器

[戦闘機] 5 個連隊

(3) MiG-21bis/PF: 125 機

最大水平速力 (低空) マッハ 1.06 (701 kt, 1,300 km/h)
サービスマンリング 18,000 m (59,050 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 200 浬 (370 km)
武器 23 mm Gsh-23砲×1、UV-16-57ロケットパック ×4、爆弾

[攻撃ヘリコプター]

(4) Mi-24: 25 機

最大水平速力 175 kt (320 km/h)
サービスマンリング 4,500 m (14,750 ft)
戦闘行動半径 86 浬 (160 km)
武器 ガットリングタイプ 12.7 mm 機銃×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

(1) SS-N-2A スティックス SSM

搭載艦艇 ファンニューラオ級 FFG

アクティブレーダー又はIRホーミング 46 km(25nm) 0.9 マッハ

弾頭重量 513 kg

(2) SS-N-2B スティックス SSM

搭載艦艇 オサII級 PCFG

アクティブレーダー又はIRホーミング 46 km(25nm) 0.9 マッハ

弾頭重量 513 kg

(3) SS-N-2D スティックス SSM

搭載艦艇 タランチュル級 FSG

IRホーミング 83 km(45nm) 0.9 マッハ、シースキマー

弾頭重量 513 kg

(4) SA-M-5 グレイル SAM

搭載艦艇 ファンニューラオ級 FFG、タランチュル級 FSG

目視照準、IRホーミング、6 km(3.2nm) 1.5 マッハ、高度 2,500 m (8,000ft)

弾頭重量 1.5 kg

2 砲

(1) 米 5インチ/38 砲

搭載艦艇 ファンニューラオ級 FFG

仰角 85°、発射速度 15 発/分、射程 17 km

弾丸重量 25 kg

(2) 米 3インチ/50 砲

搭載艦艇 ダイキイ級 FFL

仰角 85°、発射速度 20 発/分、射程 12 km

弾丸重量 6 kg

(3) ソ連 3インチ/60 砲

搭載艦艇 ペチャII級 FFL、ペチャIII級 FFL

仰角 85°、発射速度 90 発/分、射程 15 km

弾丸重量 6.8 kg

(4) ソ連 3インチ/60 砲

搭載艦艇 タランチュル級 FSG

仰角 85°、発射速度 120 発/分、射程 15 km

弾丸重量 7 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (5) ソ連 57 mm/70 砲
搭載艦艇 ツーリャ級 PHT
発射速度 120発/分、射程 8 km
弾丸重量 2.8 kg
- (6) 37 mm/63砲
搭載艦艇 ファンニュラオ級 FFG
- (7) ソ連 30 mm/65 AK 630 6連装砲
搭載艦艇 タランチュル級 FSG
仰角 85°、発射速度 3,000発/分、射程 2 km
弾丸重量 0.54 kg
- (8) ソ連 30 mm/65 砲
搭載艦艇 オサII級 PCFG、シエルシェン級 PCF
発射速度 500発/分、射程 5 km
弾丸重量 0.54 kg
- (9) ソ連 25 mm/80 砲
搭載艦艇 ファンニュラオ級 FFG、ツーリャ級 PHT、OS 1級 PC
仰角 85°、発射速度 270 発/分、射程 3 km
弾丸重量 0.34 kg
- (10) 14.5 mm 機関砲
搭載艦艇 ズーク級 PC
- (11) 81 mm モーター
搭載艦艇 ファンニュラオ級 FFG

3 魚雷

- (1) SAET-60 魚雷 (21インチ)
搭載艦艇 ペチャIII級 FFL
パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt
弾頭重量 400 kg
- (2) SAET-40 魚雷 (16インチ)
搭載艦艇 ペチャII級 FFL
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 10 km 30 kt
弾頭重量 100 kg

4 対潜武器

- (1) RBU 6000 12 連装 旋回
搭載艦艇 ペチャII級 FFL
射程 6,000 m
弾頭重量 31 kg
- (2) RBU 2500 16 連装 旋回
搭載艦艇 ペチャIII級 FFL
射程 2,500 m
弾頭重量 21 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) RBU 1200 5連装 旋回

搭載艦艇 SO 1級 PC

射程 1,200 m

弾頭重量 34 kg

(4) 爆雷

搭載艦艇 ペチャII級 FFL、ペチャIII級 FFL、サベッジ級 FF、ソーリャ級 PHT、
シエルシエン級 PCF、SO 1級 PC、

5 機雷

(1) 機雷敷設軌条

搭載艦艇 ペチャII級 FFL、ペチャIII級 FFL、シエルシエン級 PCF、SO 1級 PC、
ユルカ級 MSO、ソーニャ級 MSC

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

(1) AS-7 ケリー ASMミサイル

搭載機 Su-22、Ka-25

無線コマンド誘導、射程 8 km、重量 295 kg、弾頭 60 kg HE

2 対潜武器

(1) 対潜魚雷

搭載機 Ka-25

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億ﾄﾞﾝ)					
(10 億ﾄﾞﾙ)		18.1e	19.4e	12.2-20.4e	12.4-20.8e
一人当たり (ﾄﾞﾙ)					
国防支出(10 億ﾄﾞﾝ)					
(10 億ﾄﾞﾙ)					
国防予算(10 億ﾄﾞﾝ)					
(10 億ﾄﾞﾙ)					
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)	50-200.0e				
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億ﾄﾞﾝ)	217.0e	235.0e	240.6e	19,100e	20,100e
(10 億ﾄﾞﾙ)	14.1	14.52	14.9	15.60	16.0
一人当たり (ﾄﾞﾙ)					700
国防支出(10 億ﾄﾞﾝ)					8,020e
(10 億ﾄﾞﾙ)					0.72
国防予算(10 億ﾄﾞﾝ)					
(10 億ﾄﾞﾙ)	2.54e	2.32e		1.87e	1.75e
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)					
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億ﾄﾞﾝ)		170,258	210,200		
(10 億ﾄﾞﾙ)	17.6e	19.1	21.3		
一人当たり (ﾄﾞﾙ)	800	900	1,000		
国防支出(10 億ﾄﾞﾝ)	7,812e	19,439	21,000e		
(10 億ﾄﾞﾙ)	0.72	0.9	0.975		
国防予算(10 億ﾄﾞﾝ)	3,200	15,000e		22,600e	
(10 億ﾄﾞﾙ)	0.3048	0.86		1	
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)					

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フリゲート艦	8	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
バーネット級 (米国製) 1766t	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
ペチャ II級 (ソ連製) 960t	(6)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(3)
ペチャ III級 (ソ連製) 960t												(2)
サハッ級 (米国製) 1590t	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
保有隻数計	8	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
保有基準排水量計 (k トン)	9	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 小型水上艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
高速ミサイル艇((FAC(G))										10	10	
オチII級(ソ連製)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	(8)	(8)
タンチュルI級											(2)	(2)
高速魚雷艇((FAC(T))	26			21	21	23	21	19	19	19	19	19
ツリヤ級ハイト・ロフォイル	(3)	2+	5+	(5)	(5)	(7)	(5)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
シェルシェン級	(12)	12	16	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)
P-4G	(8)											
P-6G	(3)											
高速砲艇(FAC)	22											
シヤンハイ級	(8)	8	8									
スワト級	(14)	14	14									
哨戒艇	54	26	26	33	33	33	35	28	28	28	28	23
アトミラブル級MSF(米国製)				(2)	(2)	(2)	(2)					
So-1	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(4)
PGM-59/71	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
ボルチャト級	(1)	(2)	(2)									
ズック級	(7)	(6)	(6)					(11)	(11)	11	(11)	(10)
PO-2	(2)	(2)	(2)									
スイフト級	(20)											
P-4	(8)											
小型艇				(15)	(15)	(15)	(15)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
ツリヤ級								(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
保有隻数計	110	70	77	62	62	64	64	55	55	55	57	52

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇												
ユルカ 級MSC		1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ソニヤ級MSC				1	1	1	4	4	4	4	4	4
リエンユン 級MSC								2	2	2	2	2
ハーニヤ級MSI								1	1	1	1	1
イフゲニア 級MSI		1	1	2	2	2	3	2	2	2	2	2
K-8 MSB		10	10					5	5	5	5	5
保有隻数計		12	12	5	5	5	14	16	16	16	16	16

4 両用戦艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
揚陸艦												
LST 510-1152級 (米国製)	7	7	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7
ホルヌスイ級LST(ソ連製)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
LSM-1 級 (米国製)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
中型揚陸艇				(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
LCM	20	20	20	24	24	24	24	30	30	30	30	30
LCU				(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)
LCU/LCVP				(12)	(12)	(12)	(12)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)
保有隻数計		+	+									
保有隻数計	27	27+	26+	31	31	31	31	37	37	37	37	37

5 潜水艦

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

6 その他

ミリター、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
調査船						1	1	1	1	1	1	
タンカー							4	4	4	4	4	
浮ドック						2	2	2	2	2	2	
輸送船						10	10	12	12	12	12	
潜水支援艇								3	3	3	3	
その他									+	+	+	+
保有隻数計						13	17	30+	30+	30+	30+	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
回転翼 Ka-25	17	17	17	17	17	17	8	8	8	8	8	8
合計	17	17	17	17	17	17	8	8	8	8	8	8

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
Ch J-5					70							
MiG-23BN					36							
Su-7B					30	30						
Su-17						30	20	20				
MiG-21MF	25	38	30+									
Su-22	45	45	40	40	40	40	40	40	65	65	65	65
Su-27												6
戦闘機												
MiG-21改/F/PF	200	200	200	200	206	150	125	125	175	125	125	125
攻撃ヘリコプター												
Mi-24	30	30	30	30	30	20	20	20	20	25	25	25
合計	300	313	300	270	412	270	205	205	260	215	215	221

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

ベトナム海軍の有する対空ミサイルは、ファンニョラオ級 FFGとタランチュル級 FSGに装備のSA-M-5 グレイル SAM (IRホーミング、射程 6 km(3.2nm) 1.5マッハ、高度 2,500 m (8,000ft)) の1種類である。タランチュル級 FSGは、1996年に就役をした新しい艦であり、これにより対空能力の質は向上した。ファンニョラオ級 FFGにSSM を装備した時期については更に調査をする必要がある。

砲については、ファンニョラオ級 FFGの米 5インチ/38 砲 (発射速度 15 発/分、射程 17 km)が最大の口径であり射程も最大であるが、発射速度が遅いので、対空砲としては、ペチャII級 FFLとペチャIII級 FFLのソ連 3インチ/60 砲 (発射速度 90 発/分、射程 15 km) が最も効果のあるものであった。新しいタランチュル級 FSGのソ連 3インチ/60 砲 (発射速度 120 発/分、射程 15 km) とソ連 30 mm/65 AK 630 6連装砲 (発射速度 3,000発/分、射程 2 km)は、特に発射速度が大きくなっており、同艦のSAM と合わせて、対空武器の性能は大きく向上した。ただし、支払いの遅延のためにこの級の建造は遅れ気味の模様である。

2 対艦武器

対艦ミサイルについては、性能はほぼ同じ (射程46 km(25nm) 0.9 マッハ) のファンニョラオ級 FFGのSS-N-2A スティック SSMとオサII級 PCFG のSS-N-2B スティック SSMがあったが、タランチュル級 FSGのSS-N-2D スティック SSM (射程83 km(45nm) 0.9 マッハ、シースキマー) で射程は大きく増大した。

砲については、対空武器の項と同じであり、対艦武器についてもタランチュル級 FSGによる質の向上は著しい。

長魚雷 (SAET-60(21インチ))が、ペチャIII級 FFL、ツーリャ級 PHT、シェルシェン級 PCFによって運用されるが、この期間中の大きな変化はない。

3 対潜武器

対潜武器については、ペチャII級 FFLのSAET-40 魚雷 (16インチ)(射程 10 km 30 kt) 、RBU 6000 12 連装対潜弾 (射程 6,000 m) があり、この期間の間の大きな変化はない。

第2項 航空機性能の推移

1 対潜哨戒機

対象期間を通じて Ka-25 ホーモンA ヘリコプター (行動半径 108浬) を運用している。対潜機であるが、ミサイルを搭載することができる。

2 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

1980年代には Su-22 (戦闘行動半径 340浬) 、Su-7 (戦闘行動半径 135~184 浬) 、Su-22(戦闘行動半径 340浬) 、MiG-21MF (戦闘行動半径 200浬) 、MiG-23BN (戦闘行動半径 485 ~700 浬) 、J-5 を有していたが、現在は Su-22だけを運用している。最近新しく Su-27 (戦闘行動半径 810浬) を導入しており、行動範囲は増大した。

戦闘機 MiG-21bis/PF(戦闘行動半径 200浬) と攻撃ヘリコプター Mi-24 (戦闘行動半径 86浬) は機銃が主であり、対艦攻撃能力は限られている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

対象期間を通じてSu-22 に搭載の AS-7 ケリー (射程 8 km)を有しており、質の面での変化はない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第8章 カンボディア

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997では、沿岸師団 9個大隊、河川師団 7個大隊としている。

第2項 海軍の主要指揮官

ミリタリー・バランス1996-97、ジェーン年鑑 1996-1997ともに記載されていない。

第3項 基地

リーム（沿岸）、フノンペン（河川）、コンボンソン（シビル）

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇 14 隻

[哨戒艇] 14隻

(1) ツーリャ級（ソ連タイプ 206M） ハイドロfoil PHT/PC 2隻（魚雷なし）

(2) ステンカ級（ソ連タイプ 205P） PCF 4隻^{#)}

(3) ズーク級（ソ連タイプ 1400M） PC 2隻

(4) シュメル級（ソ連タイプ 1204） PBR 4隻

(5) PCF 級 PBR 2隻

(6) PCI （カノ級 PBR） ^{*)}

(7) ボート

注：#) この級は、ジェーン年鑑では 2隻とされているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

注：*) この級は、ジェーン年鑑では 9隻とされているが、ミリタリー・バランスの数値を記載している。

3 機雷戦艦艇

保有していない。

4 両用戦艦艇 8隻

(1) T 4 級（ソ連） LCVP 3隻

(2) 河川揚陸艇（フランス） LCVP 5隻

5 潜水艦

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

- 6 支援艦艇
保有していない。
- 7 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 8 対潜哨戒機
保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

- 1 戦闘機
MiG-21 : 19 機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は存在するが、兵力、配備状況については、資料が得られなかった。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 小型水上艦艇 14 隻

[哨戒艇] 14隻

(1) ツーリャ級 (ソ連タイプ 206M) PHT/PC 2 隻 (魚雷無し)

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1984～85

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
190	129.9×24.9×5.9	ディーゼル	14	1,450	30
250F	(39.6×7.6 ×1.8)	3軸		(14Kt)	

ハイドロfoilであったが、現在はfoilは取り外されている。

ウ 装備武器

砲

ソ連 57 mm/70 連装砲×2

ソ連 25 mm/80 連装砲×2

(2) ステンカ級 (ソ連タイプ 205P) PCF 4隻

ジェーン年鑑では、ソ連から4隻購入したが2隻は部品を取られたので運用できるのは2隻とされている。

ア 艦名等

番号	就役	移転
1133～1134		1987.11

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
211	129.3×25.9×8.2	ディーゼル	37	800	25
253F	(39.4×7.9 ×2.5)	3軸		(24Kt)	(5)

ウ 装備武器

砲

ソ連30 mm/65 連装 AK 230 砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) ズーク級 (ソ連タイプ 1400M) PC 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
41~42		1985~87

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
39 F	78.7×16.4×3.9 (24×5 ×1.2)	ディーゼル 2軸	30	1,100 (15Kt)	11 (3)

ウ 装備武器 砲

14.5 mm 連装機関砲×2

(4) シュメル級 (ソ連タイプ 1204) PBR 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
31~34		1984~85

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
77 F	90.9×14.1×3.6 (27.7×4.3 ×1.1)	ディーゼル 2軸	25	600 (12Kt)	12 (4)

ウ 装備武器 砲

3 インチ(76mm) 砲×1

25 mm 連装砲×2

7.62 mm 機関砲×5

BP6 ロケットランチャー ×1

機雷×9 搭載可能

(5) PCF 級 PBR 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
21~22		1974

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
30 F	47.6×14.8×4.9 (14.5×4.5 ×1.5)	ディーゼル 2軸	9		7 (2)

ウ 装備武器

砲 ZPU 1 14.5 mm 機関砲×2

75 mm モーター×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 両用戦艦艇 8隻

(1) T4級(ソ連)LCVP 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
60~62		1985.1

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	62.3 × 14 × 3.3	ディーゼル	10		5
70 F	(19 × 4.3 × 1)	2軸			(2)

搭載量 貨物 30 ト

(2) 河川揚陸艇(フランス)LCVP 5隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
63~65、68~69		

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	57.1 × 13.8 × 3.9	ディーゼル	10		5
45 F	(17.4 × 4.2 × 1.2)	2軸			(2)

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[戦闘機]

(1) MiG-21 : 19 機

最大水平速力(低空) マッハ 1.06 (701 kt, 1,300 km/h)

カーブスリーク 18,000 m (59,050 ft)

戦闘行動半径(hi-lo-hi) 200 哩 (370 km)

武器 23 mm Gsh-23砲×1、対地攻撃 UV-16-57ロケットパック×4、爆弾

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 砲

(1) ソ連 3インチ砲

搭載艦艇 シュメル級 PBR

仰角 80°、発射速度 90 発/分、射程 15 km

弾丸重量 6.8 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (2) ソ連 57 mm 連装砲
搭載艦艇 ツーリャ級 PHT、
仰角 °、発射速度 120発/分、射程 8 km
弾丸重量 2.8 kg
- (3) ソ連 30 mm/65 AK 230 2連装砲
搭載艦艇 ステンカ級 PCF
仰角 85°、発射速度 1,000発/分、射程 2 km
弾丸重量 0.54 kg
- (4) ソ連 25 mm/80 連装砲
搭載艦艇 ツーリャ級 PHT、シュメル級 PBR
仰角 85°、発射速度 270 発/分、射程 3 km
弾丸重量 0.34 kg
- (5) 14.5 mm 連装機関砲
搭載艦艇 ズーク級 PC、PCF 級 PBR
仰角 °、発射速度 発/分、射程 km
弾丸重量 kg
- (6) 7.62 mm 機関砲
搭載艦艇 シュメル級 PBR
仰角 °、発射速度 発/分、射程 km
弾丸重量 kg
- (7) BP6 ロケットランチャー
搭載艦艇 シュメル級 PBR
仰角 °、発射速度 発/分、射程 km
弾丸重量 kg
- (8) 75 mm モーター
搭載艦艇 PCF 級 PBR
仰角 °、発射速度 発/分、射程 km
弾丸重量 kg

2 機雷

- (1) 機雷敷設軌条
搭載艦艇 シュメル級 PBR

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) 23 mm Gsh-23 砲
搭載機 MiG-21
- (2) UV-16-57 ロケットパック
搭載機 MiG-21

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)					
一人当たり (ﾄﾞﾙ)					
国防支出(10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)					
国防予算(10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)					
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)					
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)				1,335.9e	1,863
一人当たり (ﾄﾞﾙ)		0.91784e		1.07	2.2
国防支出(10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)				47.0	49e
国防予算(10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)				0.04273	0.05810
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)					0.2
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)	5,414.0	6,048	6,800		
一人当たり (ﾄﾞﾙ)	2.4	2.6	2.7		
国防支出(10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)	181.0e	333	309		
国防予算(10 億リエル) (10 億ﾄﾞﾙ)	0.048	0.131	0.126		
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)	185e	164e		298	
	0.052	0.047		0.116	
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)	12	2.4	4.3	6.4	3.5

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

- 1 主要水上艦艇
保有していない。
- 2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
哨戒艇												
ツリヤ級PHT(ソ連製)				2	2	2	2	2	2	2	2	2
ステカ級PFI(ソ連製)				4	4	4	2	2	2	2	2	4
その他				5	5	5	6	6	6	6	+	+
ジューク級											2	2
シメル 級											4	4
高速艇											2	2
内海艇											1	
保有隻数計				11	11	11	10	10	10	10	13	14

- 3 機雷戦艦艇
保有していない。
- 4 両用戦艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
LCVP (ソ連製)									2	3	3	3
LCVP (仏製)												5
保有隻数計									2	3	3	8

- 5 潜水艦
保有していない。
- 6 その他
不明

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

- 1 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 2 対潜哨戒機
保有していない。
- 3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ミタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦闘機												
MiG-21				12	15	17	17	17	21	21	19	19
合計				12	15	17	17	17	21	21	19	19

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

- 1 対空武器
1984年以降のソ連からの艦艇の購入で、シュメル級 PBRの 3インチ砲、ツーリャ級 PHTの 57 mm 連装砲、及びステンカ級 PCFの 30 mm/65 AK 230 2連装砲を保有することとなり、砲の性能は大きく向上した。
- 2 対艦武器
砲については、対空武器の項と同じである。その外に、BP6 ロケットランチャー(シュメル級 PBR)及び75 mm モーター (PCF 級 PBR) がある。

第2項 航空機性能の推移

- 1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機
1980年代後半から MiG-21(戦闘行動半径 200浬)を運用しているのみで、変化はない。

第3項 航空機装備武器性能の推移

- 1 対艦武器
MiG-21 の 23 mm Gsh-23 砲と UV-16-57 ロケットパックがあり、変化はない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第9章 ミヤンマー

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997、ミリタリー・バランス1996-97ともに組織についての記述はない。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

国防参謀副長 (海軍) (Vice-Chief of Staff, Defence Services (Navy))

海軍参謀長 (Chief of Naval Staff)

海軍参謀副長 (Deputy Chief of Naval Staff)

第3項 基地

バセイン、メルギ、ムールメイン、ラングーン、セイキイ、シットエ (アキャブ)、シンマライク、ハンギイ島、キアウクブユ、サンドウエイ

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇 58 隻

[コルベット] 2 隻

(1) ヤンタインアウン級 (米PCE 827) FS 1 隻

(2) ヤンギアウン級 (米アドミラブル級 MSF) FS 1隻

[哨戒艇] 56隻

(3) ヤンシットアウン級 (中国ハイナン級 (タイプ 037)) PC 12隻

(4) ビルマ PGM タイプ PC 6 隻

(5) 米 PGM タイプ PC 6 隻

(6) PB 90 級 (ユーゴスラビア) PC 3 隻

(7) ナラワット級 FS 2 隻

(8) Y 301 改級 PGR 2隻

(9) Y 301 級 (ユーゴスラビア) PGR 10隻

(10) その他 15 隻、+ ボート 25 隻

3 機雷戦艦艇

保有していないが、中国製 T 43 級の購入が考慮されている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇 5隻

- (1) アイヤルマイ級 (日本) LCU 4隻
- (2) アイヤルルリン級 (米 1610 デザイン) LCU 1隻
- (3) LCM 10隻

5 潜水艦

保有していない。

6 支援艦艇 4隻

アイダワヤ級輸送船 AK 1隻
調査船 AGHS 2隻
ヤンロンアウング潜水支援船 1隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

8 対潜哨戒機

保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機

2 個スコードロン A-5M : 24機

2 戦闘機

3 個スコードロン F-7 : 30機、 FT-7 : 6機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海軍歩兵 1個大隊 800名

主としてアラカンとテナセリン沿岸地域、及び反乱対処のためにイラワジデルタに展開している。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 小型水上艦艇 58 隻

[コルベット] 2 隻

(1) ヤンタインアウン級 (米PCE 827) FS 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
41	1943. 8. 10	1965. 6. 18

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
640	184×33×9.5	ディーゼル	15		72
903F	(50×10.1×2.9)	2軸			

ウ 装備武器

砲

米 3インチ/50 Mk 26砲×1
米ホーフォース 40 mm/60砲×2
エリコン 20 mm 4連装砲×2

ソナー

RCA OCU-2 ハルソナー

(2) ヤンギアウン級 (米アドミラブル級 MSF) FS 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
42	1945. 12. 18	1967. 3. 31

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
650	184.5×33×9.8	ディーゼル	14.8	4,300	73
945F	(56.2×10.1×3)	2軸		(10kt)	

ウ 装備武器

砲

米 3インチ/50 Mk 26砲×1
米ホーフォース 40 mm/60連装砲×2
エリコン 20 mm 連装砲×2

ソナー

RCA OCU-2 ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

[哨戒艇] 56隻

(3) ヤンシットアウン級 (中国ハイナン級 (タイプ 037)) PC 12隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
441 ~452	1991.1~1995	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
375	192.8×23.6×7.2	ディーゼル	30.5	1,300	69
392F	(58.8×7.2 ×2.2)	4軸		(15kt)	

ウ 装備武器

砲

中国 57 mm/70 連装砲×2

ソ連 25 mm/60 連装砲×2

対潜武器

RBU 1200 5連装固定ランチャー×4

機雷敷設軌条

ソナー

スタックアイ ハルソナー

(4) ビルマ PGM タイプ PC 6 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PGM 412 ~PGM 415	1983	
タイハザール I、II	1993.6.27	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
168F	110×22×6.5 (33.5×6.7 ×2)	ディーゼル	16	1,400	17
		2軸		(14kt)	

ウ 装備武器

砲

米ホーフォース 40 mm/60砲×2

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(5) 米 PGM タイプ PC 6 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
PGM 401 ~PGM 406	1959~61	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
141F	101×21.1×7.5 (30.8×6.4 ×2.3)	ディーゼル 2軸	17	1,000 (15kt)	17

ウ 装備武器

砲

米ホーフォース 40 mm/60砲×1
 エリコン 20 mm連装砲×1
 12.7 mm 機関砲×2

(6) PB 90 級 (ユーゴスラビア) PC 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
424 ~426	1986~87	1990.10 ビルマ 着

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
92 F	89.9×21.5×7.2 (27.4×6.6 ×2.2)	ディーゼル 3軸	32	400 (25kt)	17

ウ 装備武器

砲

20 mm M75 4 連装砲×2
 レーダー
 テッカ 1226 対水上搜索

(7) ナラワット級 FS 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
501 ~502	1960	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
400 450F	163×26.8×5.8 (49.7×8.2 ×1.8)	ディーゼル 2軸	12		43

ウ 装備武器

砲 25 pdr (88 mm) OF×1
 米ホーフォース 40 mm/60砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(8) Y 301 改級 PGR 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
Y311~Y312	1969	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
250F	121.4×24×3.9 (37×7.3 ×1.2)	ディーゼル 2軸	12		37

ウ 装備武器

砲
 ホース 40 mm/60 砲×2
 エリコン 20 mm砲×4

(9) Y 301 級 (ユーゴスラビア) PGR 10隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
Y301~Y310	1958	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
120F	104.8×24×3 (32×7.3 ×0.9)	ディーゼル 2軸	13		29

ウ 装備武器

砲
 ホース 40 mm/60 砲×2 又は ホース 40 mm/60 砲×1
 ビツカース 2-pdr

2 両用戦艦艇 5隻

(1) アイヤルマイ級 (日本) LCU 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
604 ~607	1969	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
250F	125.6×29.8×4.6 (38.3×9.1 ×1.4)	ディーゼル 2軸	10		10

搭載量

重量 100 トン

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) アイヤルルリン級 (米 1610 デザイン) LCU 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
801	1965	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)

	50×14×4	ディーゼル	9		5
--	---------	-------	---	--	---

52 F	(15.2×4.3 ×1.2)	2軸			
------	-----------------	----	--	--	--

搭載量

重量 30 トン

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 2 個スコードロン

(1) A-5M : 24機

最大水平速力 (海面) 653 kt (1,210 km/h)

サーブिसーリング 16,000 m (52,500 ft)

戦闘行動半径 (lo-lo-lo) 216 浬 (400 km)

航続距離 (11,000 m (36,100 ft))

1,080 浬 (2,000 km)

武器

[戦闘機] 3 個スコードロン

(2) F-7 : 30機 FT-7 : 6 機

最大水平速力 (12,500~18,500 m (41,000~60,700 ft))

マッハ 2.05 (1,175 kt、 2,175 km/h)

サーブिसーリング 18,800 m (61,680 ft)

最大航続距離 (11,000 m (36,100 ft))

804 浬 (1,490 km)

武器 30 mm タイプ 30-1キャノン×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 砲

- (1) 米 3インチ/50 Mk 26 砲
搭載艦艇 ヤンタインアウン級 FS、ヤンギアウン級 FS
仰角 85°、発射速度 20 発/分、射程 12 km
弾丸重量 6 kg
- (2) 中国 57 mm/70 砲
搭載艦艇 ヤンシットアウン級 PC
発射速度 120発/分、射程 12 km
弾丸重量 6.31 kg
- (3) ボホース 40 mm/60 砲
搭載艦艇 ヤンタインアウン級 FS、ヤンギアウン級 FS、PGM タイプ、ナワラット級 FS、Y 301 改級、Y 301 級
発射速度 発/分、射程 km
- (4) ソ連 25 mm/60 AK 630 6連装砲
搭載艦艇 ヤンシットアウン級 PC
発射速度 270発/分、射程 3 km (対空)
弾丸重量 0.34 kg
- (5) エリコン 20 mm砲
搭載艦艇 ヤンタインアウン級 FS、ヤンギアウン級 FS、PGM タイプ PC
Y 301 改級、Y 301 級
- (6) 20 mm M75 砲
搭載艦艇 PB 90 級 PC
- (7) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 PGM タイプ PC
- (8) 25 pdr (88 mm) OF
搭載艦艇 ナワラット級 FS
- (9) ビッカーズ 2 pdr
搭載艦艇 Y 301 級

2 機雷

- (1) 機雷敷設軌条
搭載艦艇 ヤンシットアウン級 PC

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) 30 mm タイプ 30-1 キャノン
搭載機 F-7、FT-7

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7	1987/8
GDP (10 億チャット)	49.73	54.042	56.08	58.45	60.06e
(10 億ドル)	6.13	6.314	6.87	8.2	9.31
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億チャット)	1.9e	2.1	1.863		
(10 億ドル)	0.23409	0.245379	0.228153		
国防予算(10 億チャット)				1.8	1.9
(10 億ドル)				0.25256	0/29160
受領軍事援助(100万ドル)	(83)1.2	(84)1.4	(85)1.7		
年度	1988/9	1988	1989	* 1990	1991
GDP (10 億チャット)	(87)66.37	71.06	110.92	138.1e	217.11e
(10 億ドル)	9.97	11.11	16.54	21.92	10.94
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億チャット)				5.4	6.1
(10 億ドル)				0.858	0.971
国防予算(10 億チャット)	2.24	1.9	2.23	6.72	7.9e
(10 億ドル)	0.34716	0.286	0.33259	1.0602	#0.39819
受領軍事援助(100万ドル)		0.26			
年度	1992	1993	1994	1995	1996
GDP (10 億チャット)	69.5	339.1	473.0	623	
(10 億ドル)	11.4	13.0	14	15	
一人当たり (ドル)	730	810	900	1,000	
国防支出(10 億チャット)		10.5	17.5	22.0	
(10 億ドル)		0.43	1.8	1.9	
国防予算(10 億チャット)	7.1e	8.5e	11.1	15.5	17.2
(10 億ドル)	1.2	1.4	0.425	0.594	1.6
受領軍事援助(100万ドル)					

注 *ビルマからミャンマーに国名変更

#ドルの換算に疑問があるが、ミリタリーバランス1993-1994 の141 ページのままの数値とした。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット 艦	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
PCE-827 級 (米国製)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
アドミラル級 (米国製)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
ナワット 級	(2)	(2)	(2)									
砲艇	36	30	30									
沿岸型		(9)	(9)									
120t		(12)	(12)									
その他		(9)	(9)									
哨戒艇	46	36	36	37	37	37	44	58	50	54	54	56
ナワット 級				(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
オスプレイ 級 (デンマーク 製)								(3)				
ハイチン級 (中国製)							(6)	(6)	(8)	(10)	(10)	(12)
PGM-401(米国製)				(9)	(9)	(9)	(9)	(10)	(10)	(12)	(12)	(12)
Y-301 改(ユーゴ 製)								(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
高速艇(ユーゴ 製)PB-90								(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
スイト級高速艇 (米国製)								(3)				
Y-301(ユーゴ 製)				(12)	(12)	12	(12)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
その他				(9)	(9)	(9)	(10)	(19)	(15)	(15)	(15)	(15)
河川用				(5)	(5)	(5)	(5)					
ボート								[30]	[30]	[25]	[25]	[25]
保有隻数計	86	70	70	39	39	39	46	60	52	56	56	58

3 機雷戦艦艇

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇

ミタリ-、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
小型艇												
LCU(米国製)	1	1	1				5	5	5	5	5	5
LCM(米国製)	8	8	8				8	10	10	10	10	10
保有隻数計	9	9	9				13	15	15	15	15	15

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

ミタリ-、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
沿岸輸送船				1	1	1	1	1	1	1	1	1
AGHS測量艇				1	1	1	1	2	2	2	2	2
支援艇	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保有隻数計	1	1	1	3	3	3	3	4	4	4	4	4

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ミタリ-、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦闘機												
F-7							12	10	10	30	30	30
FT-7								2	2	6	6	6
対地攻撃機												
A-5M										24	24	24
合計							12	12	12	60	60	60

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

砲については、ヤンタインアウン級 FS、ヤンギアウン級 FS の米 3インチ/50 Mk 26 砲（発射速度 20 発/分、射程 12 km）が最大の口径であり射程も最大である。1991年から逐次就役しているヤンシットアウン級 PC の中国 57 mm/70 砲（発射速度 120発/分、射程 12 km）は、射程はほぼ同じであるが発射速度が大であり、これによって対空武器の性能は大きく向上した。

2 対艦武器

沿岸や河川の警備においては小口径の砲が有効な場合が多いが、1990年代初めからの PB 90 級 PC(20 mm M75 砲搭載) やヤンシットアウン級 PC(ソ連 25 mm/60 AK 630 6連装砲搭載) の導入で、小口径砲の発射速度についての性能は向上している。

3 対潜武器

装備していない。

第2項 航空機性能の推移

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

1990年代になって、中国から F-7（高度11,000 mにおける航続距離 804浬）を導入した。その後90年代半ばに同じく中国の A-5（高度11,000 mにおける航続距離 1,080浬）を購入しており、航続距離は増大した。なお、A-5の戦闘行動半径は 216浬（10-10-10）である。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

ASM ミサイルの装備の情報はなく、機銃だけである。

2 対潜武器

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

1995-1996 における海軍に関連する武器の発注と供給

装備	タイプ	数量	供給国	契約年	供給年	備考
FGA	F-7	12	中	1993	1995	1991-93 年の24機に続いて1994年から供給開始
FGA	A-5	24	中	1992	1995	1994年に12機、1995年に12機の計画
ヘリコプター	Mi-17	6	ロシア		1995	
PFC	ハイソ級	6	中	1994	1995	1996年に続く供給
PFC		2	国内	1991	1995	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第10章 バングラディシュ

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、海軍は、艦隊及びチッタゴンとクールナの2つの海軍区で構成されているとみられる。1996年には海軍の沿岸哨戒艇6隻等を譲渡して沿岸警備隊を新編することが計画されている。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍参謀長 (Chief of Naval Staff)

BN艦隊司令官 (Commodore Commanding BN Flottilla)

チッタゴン司令官 (Commodore Commanding Chittagong)

クールナ司令官 (Commodore Commanding Khulna)

海軍管理長官 (Naval Administration Authority, Dhaka)

第3項 基地

チッタゴン (BNS イッサカーン、BN ドックコンプレクス) 司令部

海軍兵学校 (BNS パテンガ); (BNS パーティアリ)

ダーカ (BNS ハジモーシン)

クールナ (BNS ティツミル及びモングラ)

カプタイ (BNS シャヒード、モアツァム)

コックスズバザール (BNS ウルカ)

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 4隻

[フリゲート艦] 4隻

(1) オスマン級 (中国ヤンフー I (タイプ 053 H1)) FFG 1 隻

(2) ウマールファルーク級 (英国サルズベリー級 (タイプ61)) FF 1 隻

(3) アバクル級 (英国レオパード級 (タイプ41)) FF 2 隻

2 小型水上艦艇 37 隻

[ミサイル艇] 8 隻

(1) デュルダハルシャ級 (中国ファンフェン級 (タイプ012)) PCFG 4隻

(2) デュルバル級 (中国ヘグ級 (タイプ023)) PCFG 4隻

[哨戒艇] 29隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (3) フション級 (中国 (タイプ026)) PHT 8隻
- (4) シャヒードルフルアミン級 (英国アイランド級) AX 1隻
- (5) デュルジョイ級 (中国ハイナン級) PC 2隻
- (6) メグナ級 (シンガポール) PC 2隻
- (7) シャハラ級 (日本) AG 1隻
- (8) シャヒードドーラット級 (中国シャンハイII) PC 7隻
- (9) カルナフリ級 (ユーゴ クラルジェビカ級) PC 2隻
- (10) ビシカリ級 (リバー級) PC 1隻
- (11) パブナ級 PBR 5隻
- 3 機雷戦艦艇 5隻
 - (1) シャブラ級 (英国リバー級) MSI/PC 4隻
 - (2) サガル級 (中国(T 43)) MSO 1隻
- 4 両用戦艦艇 8隻
 - (1) シャハナマト級 LSL 1隻
 - (2) LCM 4隻
 - (3) LCVP 3隻
- 5 潜水艦
保有していない。
- 6 支援艦艇 5隻
 - カーンジャハンアリ級 タンカー AOT 1隻
 - シャハヤク級 修理船 1隻
 - フジュ級 航洋曳船 1隻
 - ユーチン級 AGHS 2隻
- 7 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 8 対潜哨戒機
保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機/ 戦闘機

5 個スコードロン A-5	:	12 機		
F-6	:	16 機、	RF-6	: 1 機
F-7M	:	16 機、	FT-7B	: 4 機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は編成されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 4隻

[フリゲート艦] 4隻

(1) オスマン級 (中国ヤンフー I (タイプ 053 H1)) FFG 1 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
オスマン (元シアンタン)	F 18 (元556)	1989. 11. 4	1989. 10. 8バングラデシュ 着

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
1,425	338.6×35.4×10.2	ディーゼル	26	2,700	300
1,702F	(103.2×10.7×3.1)	2軸		(18Kt)	(27)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: ハイン 2 連装ランチャー ×2

砲

中国 3.9インチ (100 mm)/56 連装砲×2

中国 37 mm/76 連装砲×4

対潜武器

RBU 1200 5連装 固定ランチャー ×2

爆雷

BMB-2 投射器、投下軌条×2

機雷 60個まで搭載可能

ソナー

エコータイプ 5 ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ウマルファルク級 (英国サルスベリー級 (タイプ61)) FF 1 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ウマルファルク(元リアンダフ)	F 16	1958. 4. 11	1976. 12. 10

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2, 170	339. 8×40×15. 5	ディーゼル	24	2, 300	237
2, 408F	(103. 6×12. 2×4. 7)	2軸		(24Kt)	(14)

ウ 装備武器

砲

ビツカース 4. 5インチ (115 mm)/45連装 Mk 6 砲×2

ボホース 40 mm/60 Mk 9 砲×2

対潜武器

3 連装スキット Mk 4 ×1

ソナー

タイプ 174 ハルソナー

グラスビタータイプ 170B ハルソナー

(3) アブバクル級 (英国レオパード級 (タイプ41)) FF 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
アブバクル(元リンクス)	F 15	1957. 3. 14	1982. 3. 12
アリハテル(元シヤカー)	F 17	1959. 12. 12	1978. 7. 16

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2, 300	339. 8×40×15. 5	ディーゼル	24	2, 300	235
2, 520F	(103. 6×12. 2×4. 7)	2軸		(24Kt)	(15)

ウ 装備武器

砲

ビツカース 4. 5インチ (115 mm)/45連装 Mk 6 砲×2

ボホース 40 mm/60 Mk 9 砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 小型水上艦艇 37 隻

[ミサイル艇] 8 隻

- (1) デュルダハルシャ級 (中国ファンフェン級 (タイプ012)) PCFG 4隻
 ジェーン年鑑1996-97 では5 隻とされている。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 8125~P 8128、P 8131	1988~1992	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
171	110.2×24.9×8.9	ディーゼル	35	800	65
205F	(33.6×7.6 ×2.7)	3軸		(30Kt)	(5)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: ハイノク 2 ×4

砲

ソ連 30 mm/69 連装砲×2

- (2) デュルバル級 (中国ヘグ級 (タイプ023)) PCFG 4隻
 ジェーン年鑑1996-97 では5 隻とされている。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 8111~P 8114、P 8141	1983~1992	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
68	88.6×20.7×4.3	ディーゼル	37.5	400	17
79.2 F	(27×6.3 ×1.3)	4軸		(30Kt)	(4)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SY-1×2

砲

25 mm/80連装砲×2

[哨戒艇] 29隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) フション級 (中国 (タイプ026)) PHT 8隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
TB 1 P 8221 ~TB 4 P 8224		
TB 35 P 8235~TB 38 P 8238		

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
46 F	73.8×16.4×6.9 (22.5×5 ×2.1)	ディーゼル 3軸	50	500 巡航	23 (3)

ウ 装備武器

砲

中国 14.5 mm連装砲×2

魚雷

21インチ(533 mm) 対水上艦船魚雷×2

(4) シャヒードルフルアミン級 (英国アイランド級) AX 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
元ジャシー A 511(元295)	1976. 10. 15	1994. 2購入

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
925	195.3×36×15	ディーゼル	16.5	7,000	39
1,260F	(59.5×11×4.5)	2軸CPプロペラ		(12kt)	

ウ 装備武器

砲

ボホース 40 mm Mk 3 砲×1

FN 7.6 mm 機関砲×2

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(5) デュルジョイ級 (中国ハイナン級) PC 2隻

第81護衛隊群所属、チッタゴン基地

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 812	1985. 12. 1	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
375	192.8×23.6×7.2	ディーゼル	30.5	1,300	70
392F	(58.8×7.2 ×2.2)	4軸		(15kt)	

ウ 装備武器

砲

中国 57 mm/70 連装砲×2
25 mm 連装砲×2

対潜武器

RBU 1200 固定5 連装ランチャー ×4

爆雷

投下器×2、投射器×2、18発搭載

機雷

敷設軌条装備、機雷×12搭載可能

(6) メグナ級 (シンガポール) PC 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 211 ~P 212	1984	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
410F	152.5×24.6×6.6	ディーゼル	20	2,000	47
	(46.5×7.5 ×2)	2軸		(16kt)	(3)

ウ 装備武器

砲

ボホース 57 mm/70 Mk 1砲×1
ボホース 40 mm/70 砲×1
7.62 mm 機関砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(7) シャハラル級 (日本) AG 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
A 513	1987. 1. 15	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (12kt)	乗員(名) (士官)
600F	131.8×29.7×12.6 (40.2×9.1×3.8)	ディーゼル 1軸	12	7,000	55
				(12kt)	(3)

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm 砲×2

(8) シャヒードドーラット級 (中国シャンハイ II) PC 7隻

ジェーン年鑑1996-97 では8隻となっている。このうち4隻で第41哨戒隊群(基地チッタゴン)を編成している。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 411 ~ P 414、P 611 ~ P 614		1980、1982

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (16.5kt)	乗員(名) (士官)
113	127.3×17.7×5.6	ディーゼル	30	800	38
131F	(38.8×5.4×1.7)	4軸			

ウ 装備武器

砲

37 mm/63 連装砲×2

25 mm/80 連装砲×2

爆雷

投射器×2、8発搭載

機雷

敷設軌条装備、機雷×10搭載可能

ソナー

ハルナー、VDS を装備しているという情報もある。

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(9) カルナフリ級 (ユーゴ クラルジェビカ級) PC 2隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 314 ~P 315	1956	1975. 6. 6

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
195	141.4×20.7×5.7	ディーゼル	19	1,500	44
245F	(43.1×6.3 ×1.8)	2軸		(12kt)	(4)

ウ 装備武器

砲

ホース 40 mm/70 砲×2

エリコン 20 mm砲×4

128 mmロケットランチャー ×2

爆雷 投下軌条×2、Mk 6 投射器×2

ソナー OCU 2 ハルソナー

(10) ビシカリ級 (リバー級) PC 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 311	1965. 5. 20	1971沈没 1978. 11. 23再就役

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
115	107×20×6.9	ディーゼル	24		30
143F	(32.6×6.1 ×2.1)	2軸			

ウ 装備武器

砲 ブレダ 40 mm/70 砲×2

(11) パプナ級 PBR 5隻

第11河川哨戒隊群を編成、基地モングラ

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 111 ~P 115	1972~1977	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
69.5F	75×20×3.5 (22.9×6.1 ×2.1)	ディーゼル	10.8	700	33
		2軸		(8kt)	(3)

ウ 装備武器

砲 ホース 40 mm/60 砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) シャプラ級 (英国リバー級) MSI/PC 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
M 95～M 98	1984～85	1995. 4. 27 バングラデッシュで再就役

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
890F	156×34.5×9.5 (47.5×10.5×2.9)	ディーゼル 2軸	14	4,500 (10Kt)	30 (7)

ウ 装備武器

砲

ボフォース 40 mm/60 Mk 3 砲×1

カウンターメジャー

深々度対艇係維掃海具

ソナー

レikal機雷掃討システム

(2) サガル級 (中国(T 43)) MSO 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
M 91	1995. 4. 27	1993発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
520	196.8×27.6×6.9 (60×8.8×2.3)	ディーゼル 2軸	14	3,000 (10Kt)	70 (10)

ウ 装備武器

砲

中国 37 mm/63 連装砲×4

25 mm/63連装砲×4

中国 14.5 mm/93 連装砲×4

爆雷

BMB-2 投射器×2、爆雷×20搭載

機雷×12～20搭載可能

カウンターメジャー

MPT-1 パラペーン、MPT-3 係維掃海具、音響磁気掃海具

ソナー

タミールII ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇 8隻

(1) シヤハナマト級 LSL 1 隻

ジェーン年鑑1996-97 では、3 隻記載されている。

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 900 ~L 902		1990~

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	154.2×34.1×8	ディーゼル	9.5		31
366F	(47×10.4×2.4)	2軸			(3)

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機/戦闘機] 5個スコードロン

(1) A-5: 12 機

最大水平速力 (海面) 653 kt (1,210 km/h)

サービスマンリング 16,000 m (52,500 ft)

戦闘行動半径 (10-10-10) 216 哩 (400 km)

航続距離 (11,000 m (36,100 ft))

1,080 哩 (2,000 km)

武器

(2) F-6: 16 機、RF-6: 1機

最大水平速力 (低空) マッハ 1.09 (723 kt, 1,340 km/h)

サービスマンリング 17,900 m (58,725 ft)

戦闘行動半径 370 哩 (685 km)

航続距離 (14,000 m (46,000 ft))

750 哩 (1,390 km)

最大航続時間 (14,000 m (46,000 ft)) 2 時間38分

武器 30 mm NR-30 キャノン×2 又は3

(3) F-7M: 16機、FT-7B: 4 機

最大水平速力 (12,500~18,500 m (41,000~60,700 ft))

マッハ 2.05 (1,175 kt, 2,175 km/h)

サービスマンリング 18,800 m (61,680 ft)

戦闘行動半径

最大航続距離 (11,000 m (36,100 ft))

804 哩 (1,490 km)

武器 30 mm タイフ 30-1 キャノン ×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

(1) ハイイン 2連装ランチャー SSM

搭載艦艇 オスマン級 FFG、デュルダハルシャ級 PCFG

慣性航法、アクティブレーダー又はIRホーミング 80 km(43.2nm) 0.9 マッハ

弾頭重量 513 kg

(2) SY-1 SSM

搭載艦艇 デュルバル級 PCFG

慣性航法、アクティブレーダー又はIRホーミング 45 km(24.3nm) 0.9 マッハ

弾頭重量 513 kg

2 砲

(1) ビッカーズ 4.5 インチ/45 Mk 6 砲

搭載艦艇 ウマールファルーク級 FF、アブバクル級 FF

仰角 80°、発射速度 20 発/分、射程 19 km (対水上)、6 km (対空)

弾丸重量 25 kg

(2) 中国 3.9インチ(100 mm)/56 砲

搭載艦艇 オスマン級 FFG

仰角 85°、発射速度 18 発/分、射程 22 km

弾丸重量 15.9 kg

(3) 中国 57 mm/70 Mk 1砲

搭載艦艇 デュルジョイ級 PC

仰角 85°、発射速度 120発/分、射程 12 km (対空)

弾丸重量 6.31 kg

(4) ボフォース 57 mm/70 Mk 1 砲

搭載艦艇 メグナ級 PC

仰角 75°、発射速度 200発/分、射程 17 km

弾丸重量 2.4 kg

(5) ボフォース 40mm/70 砲

搭載艦艇 メグナ級 PC、カルナフリ級 PC、ビシカリ級 PC

仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km (対水上)、 km (対空)

弾丸重量 0.96 kg

(6) ボフォース 40mm/60 砲

搭載艦艇 ウマールファルーク級 FF、アブバクル級 FF、パプナ級 PBR

仰角 80°、発射速度 120発/分、射程 3 km (対空)、10km (最大)

弾丸重量 0.89 kg

(7) ボフォース 40mm Mk 3 砲

搭載艦艇 シャヒードルフルアミン級 AX

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (8) 中国 37mm/76砲
搭載艦艇 オスマン級 FFG
仰角 85°、発射速度 180発/分、射程 8.5 km (対空)
弾丸重量 1.42 kg
 - (9) 37 mm/63 砲
搭載艦艇 シャヒードダーラット級 PC
仰角 °、発射速度 180発/分、射程 8.5 km (対空)
弾丸重量 1.4 kg
 - (10) ソ連 30 mm/69 砲
搭載艦艇 デュルダハルシャ級 PCFG
仰角 85°、発射速度 1,000発/分、射程 3 km (対空)
 - (11) 25 mm/80砲
搭載艦艇 デュルバル級 PCFG、デュルジョイ級 PC、シャヒードドーラット級 PC
仰角 85°、発射速度 270発/分、射程 3 km (対空)
弾丸重量 0.34 kg
 - (13) エリコン 20 mm砲
搭載艦艇 シャハラル級 AG、カルナフリ級 PC
 - (14) 中国 14.5 mm砲
搭載艦艇 フション級 PHT
仰角 85°、発射速度 600発/分、射程 7 km
 - (15) FN 7.62 mm 機関砲
搭載艦艇 シャヒードルフルアミン級 AX、メグナ級 PC
 - (16) 128 mm ロケットランチャー
搭載艦艇 カルナフリ級 PC
- 3 魚雷
- (1) 21インチ対艦魚雷
搭載艦艇 フション級 PHT
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 km
弾頭重量 380 kg
- 4 対潜武器
- (1) RBU 1200
搭載艦艇 オスマン級 FFG、デュルジョイ級 PC
射程 1,200 m
弾頭重量 34 kg
 - (2) スキッド Mk 4
搭載艦艇 ウマールファルーク級 FF、
射程 前方 300 m
- 6 機雷
- 敷設可能艦艇 オスマン級 FFG、デュルジョイ級 PC、シャヒードドーラット級 PC
サガール級 MSO

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) 30 mm NR-30 キャノン
搭載機 F-6 、 RF-6
- (2) 30 mm タイプ30-1 キャノン
搭載機 F-7 、 FT-7

2 対潜武器

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7	1987/8	
GDP (10 億効)	349.920	416.96	459.91	539.17	594.10	
(10 億ﾄﾞﾙ)	14.026	16.0	15.37	17.60	19.01	
一人当たり (ﾄﾞﾙ)						
国防支出(10 億効)		7.05				
(10 億ﾄﾞﾙ)		0.27335				
国防予算(10 億効)			5.06	6.64		
(10 億ﾄﾞﾙ)			0.16917	0.21675		
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)	(83)0.3	(84)0.5				
年度	1988	1988	1989	1990	1991	
GDP (10 億効)	587.5	641.1	656.4	750.41	802.22	
(10 億ﾄﾞﾙ)	18.52	19.87	20.34	21.71	21.92	
一人当たり (ﾄﾞﾙ)						
国防支出(10 億効)				11.3		
(10 億ﾄﾞﾙ)				0.3269		
国防予算(10 億効)			9.34	11.12	11.1	
(10 億ﾄﾞﾙ)			0.289	0.32168	0.30331	
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)	0.3					
年度	1992	1993	1994	1995	1996	97
GDP (10 億効)	906.5	947.9	1,030	1,128		
(10 億ﾄﾞﾙ)	23.3	23.96	25.6	28.0		
一人当たり (ﾄﾞﾙ)	1,200	1,250	1,300	1,400		
国防支出(10 億効)	13.8	18.24	18.8	20.2		
(10 億ﾄﾞﾙ)	0.355	0.461	0.467	0.5		
国防予算(10 億効)		14.8e	18.76	19.35	20.7e	
(10 億ﾄﾞﾙ)		0.375	0.467	0.483	0.503	
受領軍事援助(100万ﾄﾞﾙ)		0.46	0.2	0.2	0.3	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フリゲート 艦												
ヤフー I 級 (中国製) 1425t						1	1	1	1	1	1	1
61型 (英国製) 2170t	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
41型 (英国製) 2300t	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保有隻数計	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4
保有基準排水量計 (k トン)	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ミサイル艇 (FAC (G))												8
ファンフエン級 (中国製)						4	4	4	4	4	4	(4)
ヘグ級 (中国製)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	(4)
魚雷艇 (FAC (T))												
フジョン級 (中国製)	4	4	4	4	4	8	4	4	8	8	8	8
哨戒艇												
ジャーシー級 (英国製)										1	1	1
ハイナン級 (中国製)	4	6	8	8	8	8	2	2	2	2	2	2
メグナ級 (シンガポール製)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
シャハラル級				1	1	1	1	1	1	1	1	1
アチ級 (日本製)	1	1	1									
シャンハイ II 級	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7
カルナリ級 (ユーゴ製)				2	2	2	2	2	2	2	2	2
アクシャイ級 (インド製) パトマ級	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
河川用ビシカ級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
河川哨戒艇パブナ級	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
保有隻数計	31	33	35	37	37	45	35	35	39	40	40	37

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
リバー級MSI(英国製)										4	4	
MSI(中国製)										1	1	
保有隻数計										5	5	

4 両用戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
シヤマト級LCU							1	1	1	1	1	1
LCT		4			2	4	4	4	4	4	4	4
LCVP		3			4	3	3	3	3	3	3	3
保有隻数計		7			6	7	7	7	7	7	7	7

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
練習艦	1	1	1	1	1	1			1			
兵員艦	1	1	1									
支援艦	1	1	1									
タンカー			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
修理艦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調査艇0-67	2	2	2									
航洋曳船				1	1	1	1	1	1	1	1	1
ユーチン級AGHS												2
保有隻数計	6	6	7	4	4	4	3	3	4	3	3	5

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ミサイル、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機/ 戦闘機												
J-6(中国製) (F-6)	18	18	36	36	25	25	18	18	18	17	17	16
RF-6												1
Q-5 (A-5)			16	16	16	20	16	16	13	13	13	12
J-7M (F-7M)						17	17	17	17	17	17	16
FT-7B												4
Su-7BM (イラク機)							12	12	12	12	12	
MiG-21MF	3	10	10	10	16	16	16	16	4	4	4	
MiG-21U	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
合計	23	30	64	64	59	80	81	81	66	65	65	49

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

バングラディッシュ海軍の艦艇には、対空ミサイルを装備したものは無い。

ウマールファールク級 FF とアブバクル級 FF に搭載の、ビッカーズ 4.5インチ/45 Mk 6 砲（発射速度 20 発/分、射程 19 km（対水上）、6 km（対空））が最大の口径の砲であるがデュルジョイ級 PC の中国 57 mm/70 Mk 1砲（発射速度 120発/分、射程 12 km（対空））の方が射程発射速度ともに大である。1989年から運用しているオスマン級 FFGは、中国 3.9インチ(100 mm)/56 砲（発射速度 18 発/分、射程 22 km）と中国 37mm/76砲（発射速度 180発/分、射程 8.5 km(対空)）を搭載しており、対空武器の性能は向上した。

2 対艦武器

対艦ミサイルについては、この期間の始めからSY-1 SSM（射程45 km(24.3nm)）を装備しているデュルバル級 PCFG があつたが、オスマン級 FFG（1989～）とデュルダハルシャ級PCFG（1988～）の導入で、ハイイン 2連装ランチャー SSM（射程80 km(43.2nm)）を有することとなり、射程は大きく増大した。

砲については、対空武器の項のとおりである。

対水上艦船用魚雷は、当初からあるフション級 PHTの21インチ魚雷発射管で運用することができ当該期間中の変化はない。

3 対潜武器

対潜武器については、ウマールファールク級 FF のスキッド Mk 4(射程 前方 300 m) とデュルジョイ級 PC のRBU 1200 (射程 1,200 m)を有している。1989年から就役しているオスマン級 FFGもRBU 1200を装備しており、質の面では変化はない。

第2項 航空機性能の推移

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

1980年代中期には、MiG-21(戦闘行動半径 200浬 (10-10-10)、機内タンクでの航続距離 593 浬)と F-6 (戦闘行動半径 370浬、航続距離 750浬 (高度14,000 mにおいて))であったが、80年代後半に A-5 (戦闘行動半径 216浬 (10-10-10)、航続距離 1,080浬 (高度11,000 mにおいて))、そして、90年代初めに F-7 (航続距離 804浬 (高度11,000 mにおいて))が導入された。それぞれの条件が異なるので数値のみでは比較はできないが、航続能力については F-6に比べると A-5は相当に増大していると見ることができよう。F-7 は航続能力については F-6を若干上回る程度であるが、MiG-21に代わる戦闘機としての能力を期待しているものと考えられる。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

当初は MiG-21 の 23 mm機銃と F-6 の 30 mmキャノンであったが、F-7 の導入で 30 mmキャノンの数が増大した。しかし質の面では大きな変化はない。ASM は有していないので、対艦攻撃能力はあまり大きくはない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 対潜武器

保有していない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

1995-1996 における海軍に関連する武器の発注と供給

装備	タイプ	数量	供給国	契約年	供給年	備考
ヘリコプター	Mi-17	8	ロシア	1995	1996	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第11章 インド

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ミリタリー・バランス1996-97では、西部、東部、南部の3海軍区と、潜水艦及び海軍航空のサブ司令部があり、艦隊は西部と東部の2つである。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍参謀長 (Chief of Naval Staff)

西部海軍区長官 (Flag Officer C-in-C Western Naval Command)

東部海軍区長官 (Flag Officer C-in-C Eastern Naval Command)

南部海軍区長官 (Flag Officer C-in-C Southern Naval Command)

西部艦隊司令官 (Flag Officer Commanding Western Fleet)

東部艦隊司令官 (Flag Officer Commanding Eastern Fleet)

アンダマン及びニコバル島基地司令官 (Fortress Commander, Andaman and Nicobar Island)

海軍航空及びゴア地域司令官 (Flag Officer, Naval Aviation and Goa Area (at Goa))

潜水艦司令官 (Flag Officer, Submarines (Vishakapatnam))

第3項 基地

1 主要基地と所在司令部等

(1) ニューデリー: 司令部 (INS インディア)

(2) ボンベイ: 西部海軍区司令部 兵舎と空母のドックを有する主造船所、潜水艦基地 補給学校 (INS ハムラ) マザゴン及びゴア造船所を含む。

(3) ビジャカパトナム: 東部海軍区司令部 潜水艦基地 (INS ビルバフ) 潜水艦学校 (INS サチャバハナ) 及びソ連の支援で建設し拡張しつつある造船所 海軍航空基地 (INS デガ) 新兵教育隊 (INS チルカ) ビジャヤラガバプラムには1986年9月に完成した潜水艦用 VLF W/T 基地がある。マドラスとカルカッタに施設 ヒンダスタン及びガーデンリーチ造船所を含む。

(4) コチン: 南部海軍区司令部 海軍航空基地及び術科学校 (INS ベンデュルシイ) (海軍の全ての訓練は南部海軍区司令官の責任の下にある。) 造修所 試験所 (INS ドロナチャヤ)

(5) ゴア、海軍航空基地司令官の司令部

(6) カルワル (ゴアの近く)、新しい基地を建設中

(7) ラクシャドウィープ (ラカディブ島)、哨戒艇基地

(8) アンダマンとニコバルの基地、浮きドックを含む限定的な支援施設

2 海軍兵学校、ゴアからエチマラの新しい基地 INS ジャワルハラルナールに移転する計画である。

3 海軍大学、カラニヤに所在する。

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 艦艇建造の担当

ボンベイ：潜水艦、駆逐艦、フリゲート、コルベット

カルスッタ：フリゲート、コルベット、LST、補助艦艇

ゴア：哨戒艇、LCU、対機雷艇

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇（艦種、艦級別）及び航空機（機種別）の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 26 隻

[航空母艦] 2 隻

- (1) ビラート級（英ハーメス級）CV 1隻
- (2) ビ克蘭ト級（英マジスティック級）CV 1隻

[駆逐艦] 2 隻

- (3) ラジプット級（ソ連カシン級）DDG 5 隻

[フリゲート艦] 19 隻

- (4) ゴダバリ級 FFG 3隻
- (5) ニルギリ級（英リアンダー級）FF 6隻
- (6) クリシュナ級（英リアンダー級）AX 1隻
- (7) カモルタ級（ソ連ペチャII級）FFL 4 隻*
- (8) クークリ級（プロジェクト25及び25A）FSG 5隻

注：*）ジェーン年鑑1996-97 にはカモルタの艦名はない。

2 小型水上艦艇 52 隻

[コルベット] 18隻

- (1) ビジャイドウルク級（ソ連ナヌチュカII級）FGS 3 隻
- (2) ビーア級（ソ連タランチュルI級）FGS 5 隻
- (3) ビブフティ級（ソ連タランチュルIタイプ）FGS 6 隻
- (4) アブハイ級（ソ連ポーク級）FG 4 隻

[ミサイル艇] 8 隻

- (5) ビデュット級（ソ連オサII級）PCFG 8 隻*

[哨戒艇] 18隻

- (6) スカニャ級 OPV 7隻
- (7) SDB Mk 2/3級 11 隻

注：*）ジェーン年鑑1996-97 にはビデュットの艦名はない。

3 機雷戦艦艇 5 隻

- (1) ポンディシェリイ級（ソ連ナチャIタイプ 266M）MSO 12 隻
- (2) バルサー級（英ハム級）MSI 2 隻#)
- (3) マヘ級（ソ連イフゲニア級）MSI 6 隻

注：#）この級は、ジェーン年鑑には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇 19 隻

- (1) マガー級 LST 1 隻
- (2) ゴールパッド級 (ソ連ポルノクヌイ級タイプ 773) LSM 8隻
- (3) バスコダガマ級 LCU 10 隻

5 潜水艦

- (1) シンデュゴッシュ級 (ソ連キロ級タイプ877EM) SSK 8隻
- (2) シシユマール級 (独209 級タイプ1500) SSK 4 隻
- (3) クルスラ級 (ソ連フォックストロット級タイプ641) SS 7 隻

6 支援艦艇 27 隻

ディーパック級給油タンカー AOR 2隻
ポシャク級支援タンカー AOTL 5 隻
アンバ級 (ソ連ウグラ級) 潜水艦母艦 AS 1 隻
ニリークシャク潜水支援艦 ASR 1隻
ガジ級航洋曳船 ATA/ATS 2隻
サンダーヤク級観測船 AGS 6隻
マカール級観測船 AGS 4隻
ティル級練習艦 AX 1 隻
サガードワニ級調査船 AGOR 1 隻
魚雷揚収艇 TRV 3隻
ラクシャドウィープ級病院船 1隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

2 個スコードロン
ブリティッシュエアロスペース シーハリアー FRS Mk-51: 20機
T-60 : 2機

8 対潜哨戒機

[固定翼]

洋上監視部隊3 個スコードロンの中に対潜機も含まれている。

I1-38: 5機

Tu-142M べ7F: 8機

[回転翼]

6 個ヘリコプタースコードロン

チェタック: 26機

Ka-25: 7機

Ka-28: 10機

シーキング Mk 42A/B: 32 機

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機

17個スコードロン

3 個スコードロン	MiG-23 BN/UM :	54機
4 個スコードロン	ジャガー S(I) :	88機
6 個スコードロン	MiG-27 :	148機
4 個スコードロン	MiG-21 MF/PFMA :	80機

2 戦闘機

20個スコードロン

4 個スコードロン	MiG-21 FL/U :	74機
10個スコードロン	MiG-21 bis/U :	170機
1 個スコードロン	MiG-23 MF/UM :	26機
3 個スコードロン	MiG-29 :	65機
2 個スコードロン	ミラージュ2000H/TH :	35機

3 対艦船攻撃

ジャガー S(I) : 7 機 シーイーグル搭載

4 攻撃ヘリコプター

3 個スコードロン

Mi-25/35: 32機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊 : 1,000 名 1 個連隊 (3 グループ)

なお、配備状況については、資料が得られなかった。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 26 隻

[航空母艦] 2 隻

(1) ビラート級 (英ハーメス級) CV 1隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ビラート (元ハーメス)	R22	1959. 11. 18	1987. 5. 20イト [*] で再就役

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ [*] (浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
23,900	744.3×160×28.5	蒸気タービン	28		1,350
28,700F	(226.9×27.4×8.7)	2軸			(143)

ウ 装備武器

ミサイル

SAM: ショーツキーヤット 4連装ランチャー ×2、武器管制: GWS 22

砲

エリコン 20 mm砲×2

ソナー

グラスビー タイプ 184M ハルソナー

航空機

固定翼: シーハリアー FRS Mk 51×12 (搭載能力は30機)

ヘリコプター: ジェキング Mk 42B/C ASW/ASV/ハートレップ^{*} ×7、Ka-27 ヘリックス

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ビ克蘭ト級 (英マジスティック級) CV 1隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ビ克蘭ト(元ハーキュレス)	R11	1961. 3. 4	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
16,000	700×128×24	蒸気タービン	24.5	12,000	1,075 平時
19,500F	(213.4×39×7.3)	2軸		(14)	1,345 戦時

ウ 装備武器

砲

ホース 40 mm/70 砲×7、一部 30 mm/65 6連装 ADGに換装の可能性あり。

ソナー

グラスビター 750 ハルソナー

航空機

固定翼: シーハリアー FRS Mk 51×6

ヘリコプター: シェキング Mk 42 ASW/ASV×9、チェタック SAR ×1

[駆逐艦] 2隻

(3) ラジプット級 (ソ連カシン級) DDG 5隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ラジプット(元ナティオスニ)	D 51	1980. 9. 30	1970年代発注
ラナ (元グビティエルニ)	D 52	1982. 6. 28	1970年代発注
ランジット(元ロフキ)	D 53	1983. 11. 24	1970年代発注
ランビル (元トアルティ)	D 54	1986. 8. 28	1982. 12. 20発注
ランビジヤイ (元トルコビイ)	D 55	1988. 1. 15	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
3,950	480.5×51.8×15.7	COGAG	35	4,500	320
4,974F	(146.5×15.8×4.8)	2軸		(18Kt)	(35)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2D スティック ×4

SAM: SA-N-1 コア 2連装ランチャー ×2、ミサイル×44、SSM としてもある程度有効

砲

3インチ/60 連装砲×2

30 mm/65連装 AK 230 砲×4 (D 51 ~D 53)

30 mm/65 ADG 630 6連装砲×4 (D 54 ~D 55)

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

魚雷

21インチ(533 mm) 5 連装発射管×1、SET-65E 対潜魚雷及びタイプ 53-65 魚雷
対潜武器

RBU 6000 12 連装 旋回×2

ソナー

パッチェター MG 311 ハルソナー

メアテイル VDS

ヘリコプター

Ka-27/28 ヘリックス ×1

[フリゲート艦] 19 隻

(4) ゴダバリ級 FFG 3隻 (+3)

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ゴダバリ	F 20	1983. 12. 10	
ゴマチ	F 21	1988. 4. 16	
ガンガ	F 22	1985. 12. 30	
ブラーマト	F 23	1997. 3.	
ベアス	F 24	1999.	
ベトリ	F 25	2001.	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
3,850	414.9×47.6×14.8	蒸気タービン	27	4,500	313
5,000F	(126.5×14.5×4.5)	2軸		(12Kt)	(40)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2D スティック ×4

SAM: SA-N-4 グェコ 連装ランチャー ×4、ミサイル×20、SSM としてもある程度有効

砲

57 mm/70連装砲×2

30 mm/65連装 AK 230 砲×4

魚雷

324 mm ILAS 3 3 連装発射管×2、ホワイトヘッド A244S 対潜魚雷

ソナー

グラスヒター 750 ハルソナー (F 20)、APSOH ハルソナー (F 21, F 22)

ファザムス オーシャンック VDS (F 20を除く)

タイプ 162M 海底類別

ヘリコプター

シーキング ×2 又は シーキング ×1 とチェタック ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) ニルギリ級 (英リアンダー級) FF 6隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ニルギリ	F 33	1972. 6. 3	
ヒムギリ	F 34	1974. 11. 23	
ウダイヤリ	F 35	1977. 5. 5	
デユナギリ	F 36	1976. 2. 18	
タラギリ	F 41	1980. 5. 16	
ピントヤギリ	F 42	1981. 7. 8	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
2,682	372×43×18	蒸気タービン	27	4,500	267
2,962F	(113.4×13.1×5.5)	2軸	28 (F41, F42)	(12Kt)	(17)

ウ 装備武器

ミサイル

SAM: ショートブラスターズ シーキャット 4 連装ランチャー ×1 又は2、ミサイル×32

砲

ビッカーズ 4.5 インチ/45連装 Mk 6 砲×2

エリコン 20 mm/70 砲×2

魚雷

324 mm ILAS 3 3 連装発射管×2、ホワイトヘッド A244S 又はイント NST 58バージョン 対潜

魚雷

対潜武器

ホース 375 mm 連装ランチャー ×1 (F41, F42)

リンボ Mk 10 3 連装ランチャー ×1 (F33~F36)

ソナー

グラスビター 750 ハルソナー、APSOH ハルソナー (F 34 で試験中)、及びタイプ 170

EMI タイプ 199 又はウェスティングハウス VDS (F 33 ~F 36)、トムソンソナトラ VDS (F 41, F 42)

タイプ 162M 海底類別

ヘリコプター

チェタック ×1 (F 33 ~F 36)、シーキング Mk 42 (F 41, F 42)

HP「海軍砲術学校」公開資料

(6) クリシュナ級 (英リアンダー級) AX 1隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
クリシュナ(元アント・ロムダ)	F 46 (元F 57)	1968. 12. 2	1995. 8. 22 イト ^ト で再就役

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
2,960F	372×43×18 (113.4×13.1×5.5)	蒸気タービン 2軸	28	4,000 (15Kt)	260 (19)

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm/70 砲×4

ヘリコプター

チェタック ×1

(7) カモルタ級 (ソ連ペチャII級) FFL 4 隻

ジェーン年鑑1996-97 にはカモルタの艦名はない。

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
アルナ	P 68		1972. 8
アンジヤティ	P 73		1973. 2
アントロス	P 69		1972. 8
アミ	P 75		1973. 3

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
950	270×29.9×10.5	CODOG	32	4,000	98
1,100F	(82.3×9.1×3.2)	3軸		(20Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連 3インチ/60連装砲×2

魚雷

21インチ(533 mm) 3 連装発射管×1

対潜武器

RBU 2500 16 連装旋回ランチャー ×4

爆雷軌条×2

機雷敷設軌条×2

ソナー

ハーキュレス ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

(8) クークリ級 (プロジェクト25及び25A) FSG 5隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
クークリ	P 49	1989. 8. 23	
クータル	P 46	1990. 6. 7	
キルパソリ	P 44	1991. 1. 12	
カンジヤル	P 47	1991. 10. 22	
コラ	—	1996.	
キルチ	—	1998.	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1,350F	298.9×34.4×13.1 (91.1×10.5×4)	ディーゼル 2軸CPプロペラ	25	4,000 (16Kt)	79 (10)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2D スティック ×2 又は4

SAM: SA-N-5 グレイル

砲

ソ連 AK 176 3インチ/60 砲×1

30 mm/65 AK 630 砲×2

ヘリコプター

ヘリ甲板のみ、チェタック ヘリコプター用

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

2 小型水上艦艇 52 隻

[コルベット] 18隻

(1) ビジャイドゥルグ級 (ソ連ナヌチュカ II 級) FGS 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
K 71~K 73		1970年代後期

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
660F	194.5×38.7×8.5 (59.3×11.8×2.6)	ディーゼル 3軸	33	2,500 (12kt)	42 (7)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2C スティック×4
SAM: SA-N-4 ケッコ 連装ランチャー、ミサイル×20

砲

ソ連 57 mm/80 連装砲×2

(2) ビーア級 (ソ連タランチュル I 級) FGS 5 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
K 40~K 44	1987~90	ソ連製

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
385	184.1×37.7×8.2	COGOG	36	2,000	41
450F	(56.1×11.5×2.5)	2軸		(20kt)	(5)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2D スティック×4
SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー

砲

ソ連 3インチ/60砲×1
30 mm/65 AK 630 6 連装×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) ビブフティ級 (ソ連タランチュル I タイプ) FGS 6 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
K 45~K 48, K 83 +1	1991~99	インド製

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
385	184.1×37.7×8.2	COGOG	36	2,000	41
450F	(56.1×11.5×2.5)	2軸		(20kt)	(5)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2D スティック×4

SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー

砲

ソ連 3インチ/60砲×1

30 mm/65 AK 630 6 連装×2

(4) アブハイ級 (ソ連ポーク級) FG 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 33~P 36	1989~91	1983~87発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	189×33.5×10.8	ディーゼル	32	2,400	32
440F	(57.6×10.2×3.3)	2軸		(14kt)	(6)

ウ 装備武器

ミサイル

SAM: SA-N-5 グレイル 4連装ランチャー

砲

ソ連 3インチ/60砲×1

30 mm/65 AK 630 6 連装×1

魚雷

21インチ(533 mm) 連装発射管×2

対潜武器

RBU 1200 5連装発射管 固定×2

ソナー

ラットテイル VDS

[ミサイル艇] 8 隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) ビデユット級 (ソ連オサII級) PCFG 8 隻

ジェーン年鑑1996-97 にはビデユットの艦名はない。8 隻のうちの2 隻は部品をとるために退役したとされている。

ア 艦名等

番号	就役	移転
K 90~K 91、K 93~K 94、K 96~K 97		1976~77

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	126.6×24.9×8.6	ディーゼル	37	800	30
245F	(38.6×7.6 ×2.7)	3軸		(25kt)	

ウ 装備武器

ミサイル
SSM: SS-N-2A又はB スティック ×4

砲
30 mm/65 連装×2

[哨戒艇] 18隻

(6) スカニャ級 OPV 7隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 50~P 60	1989~93	1987韓国へ発注

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	331.7×37.7×14.4	ディーゼル	21	5,800	140
1,890F	(101.1×11.5×4.4)	2軸		(15kt)	(15)

ウ 装備武器

砲
ボホース 40 mm/60 砲×1

ヘリコプター

チェタック ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(7) SDB Mk 2/3級 11 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
T 57～T 62	1984～86	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
210F	124×24.6×6.2 (37.8×7.5×1.9)	ディーゼル 2軸	30		32

ウ 装備武器

砲

ボホース 40 mm/60 砲×2

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) ポンディシェリイ級 (ソ連ナチャ I タイプ 266M) MSO 12 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
M 61～M 72	1984～86	1978～89発注

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
804F	200.1×33.5×10.8 (61×10.2×3)	ディーゼル 2軸CP7°ロペラ	16	3,000 (12kt)	82 (10)

ウ 装備武器

砲

30 mm/65 連装砲×2

25 mm/70 連装砲×2

対潜武器

RBI 1200 5連装 固定×2

機雷×10 搭載可能

カウンターメジャー

GKT-2 係維掃海具×1、AT-2音響掃海具×1、TEM-3 磁気掃海具×1

ソナー

MG 69/79 ハル 機雷掃討ソナー

(2) バルサー級 (英ハム級) MSI 2 隻

ジェーン年鑑1996-97 には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) マヘ級 (ソ連イフゲニア級) MSI 6 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
M 83~M 88		1983~84

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
77	80.7×18×4.9	ディーゼル	11	300	10
90 F	(24.6×5.5 ×1.5)	2軸		(10kt)	(1)

ウ 装備武器

砲

ソ連 25 mm/80 連装砲×2

ソナー

MG 7 / 曳航式 機雷掃討ソナー

4 両用戦艦艇 19 隻

(1) マガー級 LST 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 20	1987	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
	409.4×57.4×13.1	ディーゼル	15	3,000	136
5,655F	(124.8×17.5×4)	2軸		(14kt)	(16)

ウ 装備武器

砲

ボホース 40 mm/60 砲×4

122 mm 連装ロケット ランチャー ×2

ヘリコプター

シーキング 42C ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ゴールパッド級 (ソ連ボルノクヌイ級タイプ 773) LSM 8隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 14~L 19、L 21~L 22		1975~86

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
1,120	266.7×31.8×7.9	ディーゼル	18	2,600	108
1,305F	(81.3×9.7×2.4)	2軸		(12kt)	(12)

搭載量: 350 トン、人員 160名

ウ 装備武器

砲
 30 mm 連装砲×2
 140 mm 18 連装ロケット ランチャー ×2
 ヘリコプター
 ヘリ甲板 (L 18~L 19、L 21~L 22)

(3) バスコダガマ級 LCU 10 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 31~L 40	1980~87	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
500F	188.6×26.9×5.2 (57.5×8.2×1.6)	ディーゼル 3軸	11	1,000 (8kt)	287

搭載量: 250 トン、PT 761×2 又はAPC ×2

ウ 装備武器

砲
 ホース 40 mm/60 砲×2
 機雷: 搭載可能

HP「海軍砲術学校」公開資料

5 潜水艦

(1) シンデュゴッシュ級 (ソ連キロ級タイプ877EM) SSK 8隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
シンデュゴッシュ	S 55	1986. 4. 30	1983発注
シンデュダーバジ	S 56	1987. 6. 12	
シンデュラジ	S 57	1987. 10. 20	
シンデュヒル	S 58	1988. 8. 26	
シンデュラナ	S 59	1989. 2. 16	
シンデュカサ	S 60	1989. 3. 10	
シンデュキリ	S 61	1990. 3. 4	
シンデュヒシヤイ	S 62	1991. 3. 8	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(漕)	乗員(名) (士官)
浮上 2,325	328.2×32.5×21.7	ディーゼル 電気	浮上 10	6,000	52
潜航 3,076	(72.6×9.9×6.6)	1軸	潜航 17	(7kt)	(13)

ウ 装備武器

ミサイル

SAM: SA-N-8 ホータブル ランチャー

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×6、タイプ 5365魚雷とテスト 71/96 対潜魚雷 合計18本

機雷

魚雷に替えて 24 発搭載可能

(2) シシユマール級 (独209 級タイプ1500) SSK 4 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
シシユマール	S 44	1986. 9. 22	
シヤングシュ	S 45	1986. 11. 20	
シヤルキ	S 46	1992. 2. 7	
シヤンクル	S 47	1994. 5. 28	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(漕)	乗員(名) (士官)
浮上 1,660	211.2×21.3×19.7	ディーゼル 電気	浮上 11	8,000	40
潜航 1,850	(64.4×6.5×6)	1軸	潜航 22	(8kt)	(8)

ウ 装備武器

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×8、AEGSUT Mod 1魚雷×14

機雷 外部にストラップで止める。

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) クルスラ級（ソ連フォックストロット級タイプ641）SS 7 隻
ジェーン年鑑1996-97 では 6隻である。

ア 艦名等

艦名	番号	就役（イト 着）	移転
クルスラ	S 20	1970. 12.	
ベラ	S 40	1973. 11.	
バグリ	S 42	1974. 9.	
カレニ	S 21	1970. 10.	
バギル	S 41	1973. 12.	
バグシール	S 43	1975. 12.	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
浮上 1,952	299.5×24.6×19.7	ディーゼル 電気	浮上 16	20,000	75
潜航 2,475	(91.3×7.5 ×6)	3軸	潜航 15	(8kt)	(8)

ウ 装備武器

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×10（前部×6、後部×4）、SET-65E/SAET-60 魚雷×22

機雷

魚雷に替えて 44 発搭載可能

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 海軍所属の対艦攻撃機

- (1) シーハリアー FRS MK 51: 20機 T-60: 2機
最大水平速力 (低空) 640 kt (1,185 km/h) 以上
サービスシーリング 15,600 m (51,200 ft)
戦闘行動半径 250 哩 (463 km)
武器 シーイーグル又はハーブーン ASM ×2、30 mm アテンキャンノン×2

2 対潜哨戒機

[固定翼]

- (1) イリュージン Il-38 メイ: 5機
作戦速力 347 kt (645 km/h)
サービスシーリング 10,000 m (32,800 ft)
戦闘行動半径
航続距離 (海面) 3,887 哩 (7,200 km)
武器 ASW: 各種魚雷、対潜爆弾、機雷
- (2) ツポレフ Tu-142M ベア F: 8機
作戦速力 500 kt (925 km/h)
サービスシーリング 13,720 m (45,000 ft)
戦闘行動半径
航続距離 (海面) 6,775 哩 (12,550 km)
武器 ASW: 魚雷×12、対潜爆弾
ASV: 23 mm キャンノン×2

[回転翼]

- (3) エアロスパティアル(HAL)SA 319B チェタック (アルエットIII): 26機
最大巡航速力 (海面) 113 kt (210 km/h)
サービスシーリング 3,250 m (10,675 ft)
戦闘行動半径
航続距離 (海面) 257 哩 (477 km)
航続時間 3 時間
武器 ASW: ホイトヘッド A244S 魚雷×2
- (4) カモフKa-25 ホーモンA: 7機
最大水平速力 119 kt (220 km/h)
サービスシーリング 3,500 m (11,500 ft)
航続距離 217 哩 (400 km)
武器 ASW: 魚雷、ASM: 小型(fire to forget)
- (5) カモフ Ka-28 ヘリックス A: 10機
最大水平速力 145 kt (270 km/h)
サービスシーリング 3,250 m (10,675 ft)
戦闘行動半径 108 哩 (200 km)
武器 ASW: ホイトヘッド A244S 魚雷又はソ連 APR-2魚雷×2、あるいは爆雷×4

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

- (6) ウエストランド シーキング Mk 42A/B: 32機
最大巡航速度 (海面) 112 kt (208 km/h)
サービースリーク 1,525 m (5,000 ft)
航続距離 664 哩 (1,230 km)
武器 ASW: ホワイトヘッド A244S 魚雷又はソ連 APR-2魚雷×2、Mk 11 爆雷、機雷
ASV: シーイーグル×2

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 1 個連隊

- (1) MiG-23 BN/UM: 54機
最大水平速度 (海面) マッハ 1.25
サービースリーク 18,600 m (61,000 ft)
戦闘行動半径 485 ~700 哩 (900 ~1,300 km)
武器 23 mm Gsh-23機銃×1
- (2) ジャガーS(I): 88機
最大水平速度 (海面) マッハ 1.1 (729 kt, 1,350 km/h)
サービースリーク 11,000 m (36,000 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 440 哩 (815 km)、(lo-lo-lo) 310 哩 (575 km)
武器 ASV: BAe シーイーグル又は AM39 イグゾセ×2、DEFA 30 mmキャノン×2
- (3) ミコヤン MiG-27: 148 機
最大水平速度 (海面) マッハ 1.1
サービースリーク 16,600 m (52,500 ft)
戦闘行動半径 (lo-lo-lo) 210 哩 (390 km)
武器
- (4) ミコヤン MiG-21 MF/PFMA: 80機 (マルチロールバージョン)
最大水平速度 (低空) マッハ 1.06 (701 kt, 1,300 km/h)
サービースリーク 18,000 m (59,050 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 200 哩 (370 km)
武器 23 mm Gsh-23機銃×1、対地攻撃: 爆弾、S-24 240 mm ASロケット

[戦闘機] 5 個連隊

- (5) ミコヤン MiG-21 FL/U: 74 機 (輸出型)
最大水平速度 (低空) マッハ 1.06 (701 kt, 1,300 km/h)
サービースリーク 18,000 m (59,050 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 200 哩 (370 km)
武器 23 mm Gsh-23機銃×1、対地攻撃: 爆弾、S-24 240 mm ASロケット
- (6) ミコヤン MiG-21 bis/U: 170 機 (第3世代マルチロール)
最大水平速度 (低空) マッハ 1.06 (701 kt, 1,300 km/h)
サービースリーク 18,000 m (59,050 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 200 哩 (370 km)
武器 23 mm Gsh-23機銃×1、対地攻撃: 爆弾、S-24 240 mm ASロケット

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (7) ミコヤン MiG-23 MF/UM: 26機
最大水平速力 (海面) マッハ 1.2
サービシールンク 18,600 m (61,000 ft)
戦闘行動半径 485 ~700 哩 (900 ~1,300 km)
武器 23 mm Gsh-23機銃×1
- (8) ミコヤン MiG-29: 65機
最大水平速力 (海面) マッハ 2.2 (1,260 kt, 2,335 km/h)
サービシールンク
戦闘行動半径 430 哩 (800 km)
武器
- (9) ダソールトブルゲット ミラージュ 2000H/TH: 35機
最大水平速力 (低空) 600 kt (1,110 km/h) 以上
サービシールンク 18,000 m (59,000 ft)
航続距離 800 哩 (1,480 km)
武器 30 mmDEFA 554 キャノン×2
[海上攻撃機]
- (10) ジャガーS(I): 7 機
最大水平速力 (海面) マッハ 1.1 (729 kt, 1,350 km/h)
サービシールンク 11,000 m (36,000 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 440 哩 (815 km) 、 (lo-lo-lo) 310 哩 (575 km)
武器 ASV: BAe シーゲル又は AM39 イグゾセ×2 、 DEFA 30 mmキャノン×2
[攻撃ヘリコプター]
- (11) ミル Mi-25/35 ハインド: 32 機
最大水平速力 175 kt (320 km/h)
サービシールンク 4,500 m (14,750 ft)
戦闘行動半径 86 哩 (160 km)
武器 12.7 mm 機銃×1

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

- (1) SS-N-2A 又はB スティックス SSM
搭載艦艇 ビデユット級 PCFG (ソ連オサII)
アクティブレーダー又はIRホーミング 46 km(25nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 513 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (2) SS-N-2C スティックス SSM
搭載艦艇 ビジャイドウルグ級 FSG
アクティブレーダー又はIRホーミング 46 km(25nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 513 kg
- (3) SS-N-2D スティックス SSM
搭載艦艇 ラジプット級 DDG、ゴダバリ級 FFG、クークリ級 FSG
IRホーミング 83 km(45nm) 0.9 マッハ、シースキマー
弾頭重量 513 kg
- (4) ショーツシーキャット SAM
搭載艦艇 ビラート級 CVG
レーダーガイダンス、5 km(2.3nm)
弾頭重量
- (5) SA-M-5 グレイル SAM
搭載艦艇 クークリ級 FSG、ビジャイデュルグ級 FSG、ビーア級 FSG、ビブチ級 FSG
アバーイ級 FS
目視照準、IRホーミング、6 km(3.2nm) 1.5 マッハ、高度 2,500 m (8,000ft)
弾頭重量 1.5 kg
- (6) SA-N-1 ゴア SAM
搭載艦艇 ラジプット級 DDG
コマンドガイダンス、31.5 km(17 nm) 2マッハ、高度 91-22,860 m (300-75,000ft)
弾頭重量 60 kg
- (7) SA-N-4 ゲッコ SAM
搭載艦艇 ゴダバリ級 FFG、ビジャイドウルグ級 FSG
セミアクティブレーダーホーミング、15 km(8 nm) 2.5 マッハ、高度 9.1-3,048 m
(30-10,000ft)
弾頭重量 50 kg
- (8) SA-N-8 SAM
搭載艦艇 シンデュゴッシュ級 SSK
ポータブルランチャー

2 砲

- (1) ビッカーズ 4.5インチ/45 連装砲 Mk 6
搭載艦艇 ニルギリ級 FF
仰角 80°、発射速度 20 発/分、射程 19 km(対水上)、6 km (対空)
弾丸重量 25 kg
- (2) 3 インチ/60 砲
搭載艦艇 ラジプット級 DDG、カモルタ級 FFL
仰角 80°、発射速度 90 発/分、射程 15 km
弾丸重量 6.8 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (3) ソ連 AK 176 3インチ/60 砲
搭載艦艇 クークリ級 FSG、ビーア級 FSG、ビブチ級 FSG、アバイ級 FS
仰角 85°、発射速度 120 発/分、射程 15 km
弾丸重量 7 kg
- (4) オットーメララ 76 mm/62 砲
搭載艦艇 ゴダバリ級 FFG、
仰角 °、発射速度 発/分、射程 km
弾丸重量 kg
- (5) 57 mm/80 連装砲
搭載艦艇 ビジャドゥルグ級 FSG、
仰角 90°、発射速度 120発/分、射程 8 km
弾丸重量 2.8 kg
- (6) 57 mm/70 連装砲
搭載艦艇 ゴダバリ級 FFG
仰角 90°、発射速度 120発/分、射程 8 km
弾丸重量 2.8 kg
- (7) ボホース 40mm/70砲
搭載艦艇 ビ克蘭ト級 CV
仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km (対空)
弾丸重量 2.4 kg
- (8) ボホース 40mm/60砲
搭載艦艇 スカニャ級 OPV、SDB MK 3級、マガール級 LST、バスコダガマ級 LCU
仰角 80°、発射速度 120発/分、射程 10 km
弾丸重量 0.89 kg
- (9) 30mm/65 AK 630 6 連装砲
搭載艦艇 ビ克蘭ト級 CV、ラジプット級 DDG、ゴダバリ級 FFG、ビーア級 FSG、
ビブチ級 FSG、アバイ級 FS
仰角 85°、発射速度 3,000発/分、射程 2 km
- (10) 30 mm/65 AK 230 連装砲
搭載艦艇 ラジプット級 DDG、ゴダバリ級 FFG、ビデュット級 PCFG
ボンディチェリー級 MSO
仰角 85°、発射速度 500 発/分、射程 5 km
弾丸重量 0.54 kg
- (11) ソ連 25 mm/80 砲
搭載艦艇 ポンディチェリー級 MSO、マへ級 MSI
仰角 85°、発射速度 270 発/分、射程 3 km
- (12) エリコン 20 mm/70 砲
搭載艦艇 ビラート級 CV、ニルギリ級 FF、クリシュナ級 AX
発射速度 800発/分、射程 2 km

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 魚雷

- (1) タイプ 53-65魚雷 (21インチ)
搭載艦艇 シンデュゴッシュ級 SSK、ラジプット級 DDG
パッシブウエーキ ホーミング、射程 19 km 45 kt
弾頭重量 300 kg
- (2) AEG SUT Mod 1 魚雷 (21インチ)
搭載艦艇 シシュマール級 SSK
ワイヤーガイドッド アクティブ/ パッシブ ホーミング
射程 28 km 23 kt 、 12 km 35 kt
弾頭重量 250 kg
- (3) SEAT-60 魚雷 (21インチ)
搭載艦艇 クルスラ級 SSK
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt
弾頭重量 400 kg
- (4) SET-65対潜魚雷 (21インチ)
搭載艦艇 クルスラ級 SSK、ラジプット級 DDG、アブハイ級 FS
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt
弾頭重量 205 kg
- (5) TEST 71/96対潜魚雷 (21インチ)
搭載艦艇 シンデュゴッシュ級 SSK
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt
弾頭重量 205 kg
- (6) 21インチ魚雷発射管
搭載艦艇 カモルタ級 FFL
- (7) ホワイトヘッド A244S対潜魚雷 (324 mm)
搭載艦艇 ゴダバリ級 FFG、ニルギリ級 FF
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 7 km 33 kt
弾頭重量 34 kg
- (8) A244S NST 58バージョン対潜魚雷 (324 mm)
搭載艦艇 ゴダバリ級 FFG、ニルギリ級 FF
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 7 km 33 kt
弾頭重量 34 kg

4 対潜武器

- (1) RBU 6000 12 連装 旋回
搭載艦艇 ラジプット級 DDG
射程 6,000 m
弾頭重量 31 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (2) RBU 1200 5連装 旋回
搭載艦艇 アブハイ級 FS
射程 1,200 m
弾頭重量 34 kg
- (3) ボホース 375 mm 連装ランチャー
搭載艦艇 ニルギリ級 FF
射程 1,600 m
- (4) リンボー Mk 10 3連装ランチャー
搭載艦艇 ニルギリ級 FF
射程 1,000 m
弾頭重量 92 kg
- (5) 爆雷
搭載艦艇 カモルタ級 FFL

5 機雷

- (1) 機雷敷設軌条
搭載艦艇 カモルタ級 FFL、ポンディシェリイ級 MSO、バスコダガマ級 LCU
ユルカ級 MSO、ソーニャ級 MSC
- (2) 発射管から敷設
搭載艦艇 シンデュゴッシュ級 SS、クルスラ級 SS
- (3) 外部から敷設
搭載艦艇 シシユマル級 SS

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) イグゾセ AM 39ミサイル
搭載機 ジャガー S(I)
速度 ハイブソニック、射程 50 km、重量 625 kg
- (2) シーイーグル ASMミサイル
搭載機 シーハリアー FRS Mk 51、シーキング Mk 42 A/B、ジャガー S(I)
射程 110 km、誘導方式 慣性航法+アクティブレーダーホーミング、重量 600 kg
- (3) ハープーン ASMミサイル
搭載機 シーハリアー FRS Mk 51
重量 522 kg
- (4) シースクア ASMミサイル
搭載機 ヘリコプター
射程 18 km、重量 145 kg、弾頭 20 kg SAP HE
- (5) AS-7 ケリー ASM ミサイル
搭載機
無線コマンド誘導、射程 8 km、重量 295 kg、弾頭 60 kg HE

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (6) AS-11B(ATWG)キラー ASM ミサイル (AS-10 カレンの改良型)
搭載機
テレビガイド・セミアクティブ レーザーシーカー、IRシーカー、重量 300 kg
- (7) AS-12 ケグラーASM ミサイル (対レーダーホーミング) (AS-9の後継)
搭載機
射程 35 km、重量 350 kg
- (8) AS-30 レーザー ASM ミサイル (仏)
搭載機
最大射程 10 km、重量 520 kg、弾頭 240 kg
- (9) 小型 (fire and forget) ASM
搭載機 Ka-25

2 対潜武器

- (1) ホワイトヘッド A244S 対潜魚雷
搭載機 シーキングMk 42 A/B、Ka-25、Ka-28、SA 319B チェタック、I1-38、
Tu-142M
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 7 km、直径 324 mm
弾頭重量 34 kg 成形爆薬
- (2) ソ連 APR-2対潜魚雷
搭載機 Ka 27/28、シーキングMk 42 A/B、I1-38、Tu-142M
、射程 km
弾頭重量 34 kg 成形爆薬
- (3) Mk 11 対潜爆弾
搭載機 シーキングMk 42 A/B、Ka 28、I1-38、Tu-142M

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7	1987/8
GDP (10 億円 [°] -)	1,938.4	2,131.8	2,384.59e	2,927.9	3,292.42e
(10 億ドル)	187.924	179.342	194.87	228.98	253.88
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億円 [°] -)		82.1e	77.471e	101.90	
(10 億ドル)		6.97	6.331	7.97	
国防予算(10 億円 [°] -)			76.86	87.3	125.12
(10 億ドル)			6.126	6.956	9.65
受領軍事援助(100万ドル)					
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億円 [°] -)	3,917.98	4,477	4,959e	6,095.0	7,056.0
(10 億ドル)	281.52	272.88	283.31	268.01	272.23
一人当たり (ドル)					1,200
国防支出(10 億円 [°] -)	133.00	145.0	176.84	183.55e	174.1
(10 億ドル)	9.59	8.94	10.1	8.07	6.7
国防予算(10 億円 [°] -)	(8/9)130.00	(9/90)130.00	157.5	168.5	175.0
(10 億ドル)	8.89	8.40	9.0	7.41	6.75
受領軍事援助(100万ドル)					
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億円 [°] -)	7,863.6	9,456.0	10,700		
(10 億ドル)	257.9	301	330		
一人当たり (ドル)	1,200	1,300	1,400		
国防支出(10 億円 [°] -)	217.8	235	269		
(10 億ドル)	7.14	7.5	8.3		
国防予算(10 億円 [°] -)	191.2	230.0	255.0	287	
(10 億ドル)	6.3	7.33	8.12	8.4	
受領軍事援助(100万ドル)		0.2	0.2	0.4	0.4

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
航空母艦			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ヘルメス級 (英国製) 23,900t			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
マジステック級 (英国製) 16,000t	1	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
巡洋艦												
フィジー級 (英国製) 8,700t	1											
駆逐艦												
カン II級 (ソ連製) 3,950t	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
フリゲート艦	23	23	21	24	21	20	21	21	17	18	18	19
ゴダバリ級 3,600t	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
リアンダー級 (英国製) 2,682t	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
リアンダー級練習艦クリシュナ 2,682t												(1)
ホイットビー級 (英国製) 2,144t	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)		(2)	(2)				
ペチャ II級 (ソ連製) 950t	(10)	(10)	(8)	(8)	(8)	(8)	(6)	(5)	(4)	(4)	(4)	(4)
クリ級 1,350F				(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(4)	(5)	(5)	(5)
レホルト級 (英国製) 2,320t	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)				
ブラックスワン級 (英国製) 1,470t				(1)								
保有隻数計	28	27	27	31	28	27	28	28	24	25	25	26
保有基準排水量計 (k トン)	81	72	98	107	102	99	103	103	96	97	97	100

HP「海軍砲術学校」公開資料

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット		4	4	5	8	10	13	14 [?]	15	15	17	18
ナスチュカ 級 (ソ連製)	3	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
ビブアティ 級							(1)	(1)	(3)	(3)	(5)	(6)
ビーア 級 (ソ連製)		(1)	(1)	(2)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
ポーク 級 (ソ連製)						(2)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
高速ミサイル艇 (FAC(G))	14	14	14									
村級 (ソ連製)				13	13	12	9	8				
村 I 級 (ソ連製)	(6)	(6)	(6)									
村 II 級 (ソ連製)	(8)	(8)	(8)						6	6	6	8
外洋哨戒艇												
スカニャ 級 PCO						2	4	5	7	7	7	7
哨戒艇	8	9	9	14	13	13	14					
村 I 級 (ソ連製)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)					
アペイ 級 (ソ連製)	(1)	(1)	(1)									
SDB-2 型	(5)	(6)	(6)	(12)	(11)	(11)	(12)	12	12	12	11	11
保有隻数計	25	27	27	32	34	37	40	39	40	40	41	44

注: ? 各級の合計は13であるが、ミリタリー・バランス1992-1993(訳) のとおりとした。

3 機雷戦艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇												
ナチャ 級 MSO (ソ連製)	6	8	8	9	12	12	12	12	12	12	12	12
ハム 級 (英国製)	4	4	4	2	2	2	4	2	2	2	2	2
イフゲニア 級 MSI (ソ連製)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
インデアノ 級 MHI	3	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
保有隻数計	19	18	18	17	20	20	22	20	20	20	20	20

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇

ミタリ、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦車揚陸艦(LST)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
戦車揚陸艇(LCT)	7	7	8									
LCT(ソ連製)	(6)	(2)	(2)									
ポルクヌイ級(ソ連製)	(1)	(5)	(6)	9	9	9	8	8	8	8	8	8
LCU バスコダガマ級	4	4	4	8	9	9	7	7	7	7	7	10
保有隻数計	13	12	13	18	19	19	16	16	16	16	16	19

5 潜水艦

ミタリ、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
SSGN												
C-I (ソ連製)4,500ts				1	1	1						
SS												
F 級(ソ連製)1,952ts	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7
1500型(独)1,660t			2	2	2	2	2	3	3	3	3	4
K 級(ソ連製)2,325ts			1	3	6	8	7	4	4	4	4	8
保有隻数計	8	8	11	14	17	19	17	15	15	15	15	19
保有基準排水量計(kト)	16	16	21	30	37	42	35	30	30	30	30	39

HP「海軍砲術学校」公開資料

6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
給油艦			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
洋上給油弾薬補給艦							1					
支援タンカー			1	1	1							
潜水艦母艦			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
潜水支援艇							1	1	1	1	1	1
輸送艦			1	1	1							
航洋曳船			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
給油支援艦							4	4	5	5	5	5
観測船			5	5	5	4	5	6	6	6	6	6
調査船			5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
練習艦			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調査船カゴートワ級											1	1
魚雷揚収艇												3
病院船												1
保有隻数計			18	18	18	20	20	22	22	23	23	27

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

ミタリ-. バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
シーホーク FGA-6	15											
シーハリアーFRS Mk-51	8	8	8	8	8	18	21	21	23	23	20	20
T-60		2	2	2	2	2	3	3	2	4	2	2
合計	23	10	10	10	10	20	24	24	25	27	22	22

2 対潜哨戒機

ミタリ-. バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
固定翼機												
I1-38	3	3	3	3	3	3	5	5	6	5	5	5
Tu-142M ベアF		3	3	5	5	5	8	10	10	8	8	8
アリエス 1050	5	5	5	10	4	4						
回転翼機												
チェタック アルエット III	11	11	11	10	10	10	26	26	26	26	26	26
Ka-25 ホーモンA	5	5	5	5	5	5	7	7	7	7	7	7
Ka-27/28				18	18	18	10	10	10	10	10	10
シーキング Mk42A/B	10	9	9	20	20	40	32	32	32	32	32	32
合計	31	30	30	63	57	77	75	75	75	75	75	88

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
爆撃機	53	53	53									
キャンベラ B(1)58/B(1)12	35	35	35	10	10	9	9	9				
ジャガー	18	18	18									
対地攻撃機												
MiG-23 BN/UM	90	72	95	90	60	64	54	54	54	54	54	54
ジャガー-S(I)	50	50	61	72	70	80	80	80	80	89	97	88
MiG-27		24	24	72	72	80	56	100	96	120	148	148
MiG-21 MF/PFMA			60	90	120	108	112	112	144	144	144	80
ハンターF-56A	10											
アジート	92	72	72	80	80	48						
T-2	6	6										
Su-7BM	40											
HF-24 マルト	50	18		20	20	20						
防空戦闘機												
MiG-21 FL/U							74	74	74	74	74	74
MiG-21/bis/U	260	259	120	150	200	200	108	108	108	170	170	170
MiG-23MF/UM	40	45	45	45	65	65	26	26	26	26	26	26
MiG-29			44	40	49	49	54	54	59	59	67	65
ミラージュ 2000H/TH							36	+	36	35	35	35
ミラージュ 2000H	7	24	40	36	45	45						
ミラージュ 2000TH				4	7	7						
海上攻撃機												
ジャガー S(I)							8	8	8	8	8	7
攻撃ヘリコプター												
Mi-25			12	12	12	12	18	18	18	18	18	18
Mi-35							18	18	18	18	18	18
合計	698	623	626	626	815	737	649	657	719	811	855	779

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

シーハリヤー戦闘機を搭載する2隻の空母があり相当な艦隊防空能力を有している。

対空ミサイルについては、1980年代に逐次増勢されたラジプット級 DDGに搭載のSA-N-1ゴア（コマンドガイダンス、31.5 km(17 nm) 2マッハ、高度 91-22,860 m (300-75,000ft) が最大の射程である。この期間の初めから保有しているので、質の面では変化はない。

砲については、ニルギリ級 FF のビッカーズ 4.5インチ/45 連装砲 Mk 6(発射速度 20 発/分、射程 19 km(対水上)、6 km (対空))が最大の口径であり射程も最大であり、ラジプット級 DDG、カモルタ級 FFLの3インチ/60 砲 (発射速度 90 発/分、射程 15 km)と、クークリ級 FSG、ビーア級 FSG、ビプチ級 FSG、アバイ級 FS のソ連 AK 176 3インチ/60 砲 (発射速度 120 発/分、射程 15 km)がこれに次ぐが、この期間の間の変化はなく、質の面では変わっていない。

2 対艦武器

対艦武器についても対空武器と同様に、この期間の質の変化はない。

対艦ミサイルについては、ラジプット級 DDG、ゴダバリ級 FFG、クークリ級 FSGの SS-N-2D スティック SSM (IRホーミング 83 km(45nm) 0.9 マッハ、シースキマー) が最大の射程である。

砲については、対空武器の項と同じである。

21インチ魚雷発射管は、ラジプット級 DDG、カモルタ級 FFL、シンデュゴッシュ級 SSK、シシュマール級 SSK、クルスラ級 SSKに装備されており、対水上艦用のタイプ 53-65魚雷 (パッシブウエーキ ホーミング、射程 19 km 45 kt)、AEG SUT Mod 1 魚雷 (ワイヤーガイドッド アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 28 km 23 kt、12 km 35 kt)、SEAT-60 魚雷 (アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt)を運用する。

3 対潜武器

前述の21インチ魚雷発射管を装備している艦艇は、対潜魚雷SET-65対潜魚雷 (アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt)、及びTEST 71/96対潜魚雷 (アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt)の使用が可能である。短魚雷については、ゴダバリ級 FFGとニルギリ級 FF が324 mm魚雷発射管を装備しており、ホワイトヘッド A244S対潜魚雷 (アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 7 km 33 kt) とインドで製造しているA244S NST 58バージョン対潜魚雷 (アクティブ/パッシブ ホーミング、射程7 km 33 kt)を運用する。

その他の対潜武器については、ラジプット級 DDGのRBU 6000 12 連装対潜弾 (射程6,000 m)が最大の射程である。

これらの対潜武器についてもこの期間の質の変化はない。

第2項 航空機性能の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

空母に搭載のシーハリヤー FRS MK 51は、戦闘行動半径 250浬であるが、その基地である

HP「海軍砲術学校」公開資料

空母が移動するのでその作戦行動の範囲は広く洋上に展開することとなる。1990年代初頭のビクラントの導入でシーハリヤーの数量は倍増したが、質の面での変化はない。

2 対潜哨戒機

アリーゼ 1050 と洋上監視を主任務とする I1-38メイ（航続距離 3,884浬）が対象期間の当初からあったが、1986年からTu-142M ベア（航続距離 6,775浬）を新しく導入し行動範囲は増大した。

対潜ヘリコプターについては、チェタック（航続距離 257浬）、Ka-25 ホーモンA（航続距離 217浬）、シーキング（航続距離 664浬）、を有しており、1980年代後期からは、Ka-27/28（戦闘行動半径 108浬）が加わっているが、質の面での大きな変化はない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

対地攻撃機は、対象期間の当初から MiG-23 BN/UM（戦闘行動半径 485～700 浬）を有しており、その後1980年代の後半にMiG-27（戦闘行動半径 210浬）、ジャガーS(I)（戦闘行動半径 440浬）、MiG-21 MF/PFMA（戦闘行動半径 200浬）を導入しているが、戦闘行動半径についてはMiG-23 BN/UMが最大であり、この面での変化はない。

戦闘機については、MiG-21 FL/U（戦闘行動半径 200浬）、MiG-21 bis/U（戦闘行動半径 200 浬）、MiG-23 MF/UM（戦闘行動半径 485～700 浬）、MiG-29（戦闘行動半径 430浬）ミラージュ 2000H/TH（航続距離 800浬）があるが、同じく当初から有しているMiG-23 MF/UMが戦闘行動半径では最大であり、この面での変化はない。

1980年代後半からは、攻撃ヘリコプター Mi-25/35（戦闘行動半径 86 浬）を有しているが戦闘行動半径は小さい。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

対艦攻撃のための ASMは、イグゾセ AM 39（射程 50 km）、シーイーグル（射程 110 km）、ハーブーン、シースクア（射程 18 km）、AS-7 ケリー（射程 8 km）、AS-11B(ATWG)キラー、AS-12ケグラ（射程 35 km）、AS-30レーザー（最大射程 10 km） 小型 (fire and forget)ASM と多種類のを有しているが、対象期間の当初から有るシーハリヤー FRS Mk 51に装備しているシーイーグルの射程が最大である。

2 対潜武器

対潜魚雷は、ホワイトヘッド A244S（射程 7 km）、ソ連 APR-2を有しており対象期間の間の変化はない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

1995-1996 における海軍に関連する武器の発注と供給

装備	タイプ	数量	供給国	契約年	供給年	備考
FGA	MiG-21	125	ロシア	1996	1997	
FGA	MiG-29	10	ロシア	1994	1995	1996年に最終機供給
FGA	Su-30MK	15	ロシア	1996	2001	第1 バッチ 15~20機、ライセンス 生産40
機						
FGA	LCA	7	国内	1983	2002	プロトタイプ 7機は1997年までに飛行 部隊配置2008~10年
AO		1	ロシア		1996	ホリスチキン 級らしい
ヘリコプター	Mi-24	15	ロシア		1995	元 Kgz

注：数量、契約・供給年の空欄はデータが得られなかったものであるが、契約/ プログラムは確認されている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第12章 スリランカ

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

北南東西の4海軍区に分けられている。重要海域は、インドとの間のパルク海峡とスリランカ北部のタミール地域である。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍司令官 (Commander of the Navy)

海軍参謀長 (Chief of Naval Staff)

東部海域司令官 (Commander East Area)

北部海域司令官 (Commander North Area)

西部海域司令官 (Commander West Area)

南部海域司令官 (Commander South Area)

第3項 基地

コロンボ (司令部及び西)、トリンコマリー (東、主基地)、カライナガール (北)、ウエリサラ、タンガーレ (南)、カルピチャ、ガーレ、マンカサンスライ、プーサ、タライマナール

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇

保有していない。

2 小型水上艦艇 40 隻

[哨戒艇] 40隻

- (1) ジャエサガラ級 OPV 1隻
- (2) ソーラヤ級 (中国シャンハイ II 級) PCF 7 隻^{*}
- (3) ラナ級 (中国シャンハイ II 改級) PCF 2 隻[#]
- (4) ドボラ級 (イスラエル) PCF 8 隻¹⁾
- (5) 韓国キラ級 PCF 3隻
- (6) PCI 19隻
- (7) その他ボート 約30隻

注: *) ジェーン年鑑1996-67によると、この級のうち3隻は1995年に沈没している。

#) ジェーン年鑑1996-67によると、1995. 9. 9に更に3隻 (中国ハイツイ改級) が就役している。

HP「海軍砲術学校」公開資料

!)ジェーン年鑑1996-67によると、ドボラ級5隻、スーパートボラ級5隻である。

3 機雷戦艦艇

保有していない。

4 両用戦艦艇 5隻

(1) パッバサ級 LCM 3隻

(2) ハンサヤ級 人員輸送艇 LCP 2隻

5 潜水艦

保有していない。

6 支援艦艇 1隻

アブヒーサ級指揮艦 AFG 1隻*

注: *)ジェーン年鑑1996-67によると、この級は2隻である。

7 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

8 対潜哨戒機

保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機

F-7M: 4機、 FT-7: 1機、 FT-5: 2機

Kfir-C2: 5機、 Kfir-TC2: 1機

2 攻撃ヘリコプター

ベル 212: 12機

Mi-24V: 3機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は編成されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 小型水上艦艇 40 隻

[哨戒艇] 40隻

(1) ジャエサガラ級 OPV 1隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 601	1983. 12. 9	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
330F	130.5×23×7 (39.8×7×2.1)	ディーゼル 2軸	15	3,000 (11kt)	52 (4)

ウ 装備武器

砲

中国 27 mm/80 連装砲×1

中国 14.5 mm 連装機関砲×1

(2) ソーラヤ級 (中国シャンハイII級) PCF 7 隻

ジェーン年鑑1996-67によると、この級のうち3隻は1995年に沈没している。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 311 ~P 312、P 315 ~P 316		1972~1980

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
113	127.3×17.7×5.2	ディーゼル	29	700	34
131F	(38.8×5.4×1.6)	4軸		(16kt)	(4)

ウ 装備武器

砲

中国 37 mm/63 連装砲×2

中国 25 mm/80 連装砲×2

中国 14.5 mm 連装機関砲×2

爆雷×8

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) ラナ級 (中国シャンハイII改級) PCF 2 隻

ジェーン年鑑1996-67によると、1995.9.9に更に3隻 (中国ハイツイ改級) が就役している。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 321 ~P 322	1991.11	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
150F	134.5×17.7×5.2 (41×5.4 ×1.6)	ディーゼル 4 軸	29	750 (16kt)	28 (4)

ウ 装備武器

砲

中国 37 mm/63 連装砲×2 タイプ 76

中国 14.5 mm 連装機関砲×2 タイプ 69

(4) ドボラ級 (イスラエル) PCF 8 隻

ジェーン年鑑1996-67によると、ドボラ級5隻、スーパートボラ級5隻である。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 453 ~P 455、P 457 ~P 458		1984~1986

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
47 F	70.8×18×5.8 (21.6×5.5 ×1.8)	ディーゼル 2 軸	36	1,200 (17kt)	12

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm砲×2

中国 12.7 mm 機関砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(4)-2 スーパードボラ級 (イスラエル) PCF

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 465 ~P 468、P 441	1987~88	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	73.5×18×5.8	ディーゼル	46	1,200	12
54 F	(22.4×5.5 ×1.8)	2軸		(17kt)	

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm砲×2
12.7 mm 機関砲×2

(5) 韓国キラー級 PCF 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 473 ~P 475	1988.2	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	75.5×17.7×5.9	ディーゼル	40		12
56 F	(23×5.4 ×1.8)	2軸			

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm砲×2
12.7 mm 機関砲×2

2 両用戦艦艇 5隻

(1) パッバサ級 LCM 3隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
L 838 ~L 839、L 836	1987~92	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	108.3×26×4.9	ディーゼル	8	1,800	12
268F	(33×81×1.5)	2軸		(8kt)	(2)

ウ 装備武器

砲

中国 14.5 mm 連装機関砲×2(L 836)、エリコン 20 mm砲×2(L 838 ~L 839)
12.7 mm 機関砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ハンサヤ級 人員輸送艇 LCP 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
A 540 ~L 541	1987. 12. 20	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
154F	98.4×36.8×7.7 (30×11.2×2.3)	ディーゼル 2軸	30		12 (2)

船体 カタマラン

搭載量 貨物60トン、人員 120名

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm砲×1
12.7 mm 機関砲×2

3 支援艦艇 1 隻

アブヒーサ級指揮艦 AFG 1隻

ジェーン年鑑1996-67 によると、この級は2 隻である。

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 714 、 716	1984. 8. 9	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
2,628F	249.7×56.1×12.5 (76.1×17.1×3.8)	ディーゼル 2軸CP7°ロペラ	12	6,000 (10kt)	50

ウ 装備武器

砲

中国 25 mm/60 連装砲×1 タイプ 61
中国 14.5 mm/93 連装機関砲×4

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機]

- (1) F-7M: 4機、 FT-7: 1機、 FT-5: 2機

最大水平速力 (高度12,500~18,500 m (41,000~60,700 ft))

マッハ 2.05 (1,175 kt, 2,175 km/h)

サービースーリング 18,800 m (61,680 ft)

最大航続距離 (11,000 m (36,100 ft))

804 哩 (1,490 km)

武器 30 mm タイプ 30-1 キャン ×2

- (2) FT-5: 2機

通常運用速力 418 kt (775 km/h)

サービースーリング 14,300 m (46,900 ft)

最大航続距離 (12,000 m (39,730 ft)) 燃料満載

664 哩 (1,230 km)

最大航続時間 (13,700 m (45,000 ft)) 燃料満載 400 lb投棄式タンク追加

2時間 483分

武器

- (3) Kfir-C2: 5機、 Kfir-TC2: 1機

最大水平速力 (海面) 750 kt (1,389 km/h)

スタビライズト シーリング 17,680 m (58,000 ft)

戦闘行動半径 (20分間の燃料を保留、hi-lo-hi、爆弾、ミサイル装備、増装タンク)

640 哩 (1,186 km)

武器 IAI 30 mm DEFA 552キャン ×1、サイドワインダー ×1

対地攻撃: 爆弾、LAU-3A/10A/32Aロケットランチャー

[攻撃ヘリコプター]

- (4) ベル 212: 12機

速力 (海面) 100 kt (185 km/h)

サービースーリング 3,963 m (13,000 ft)

最大航続距離 227 哩 (420 km)

武器

- (5) Mi-24V: 3機

速力 (海面) 175 kt (320 km/h)

サービースーリング 4,500 m (14,750 ft)

戦闘行動半径 86 哩 (160 km)

武器 12.7 mm 機銃 ×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 砲

- (1) 中国 37 mm/63 連装砲
搭載艦艇 ソーラヤ級 OCF、ラナ級 PCF
- (2) 中国 25 mm/80 連装砲
搭載艦艇 ジャエサガラ級 OPV、ソーラヤ級 OCF
- (3) 中国 25 mm/60 連装砲 タイプ61
搭載艦艇 アブヒーサ級 AGF
仰角 85°、発射速度 270発/分、射程 3 km (対空)
弾丸重量 0.34 kg
- (4) エリコン 20 mm砲、キラー級 PCF
搭載艦艇 ドボラ級 PCF、
- (5) 14.5 mm 連装機関砲
搭載艦艇 ジャエサガラ級 OPV、ソーラヤ級 OCF、ラナ級 PCF アブヒーサ級 AGF
- (6) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 ドボラ級 PCF、キラー級 PCF

2 対潜武器

- (1) 爆雷
搭載艦艇 ソーラヤ級 PCF

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) 30 mm タイプ 30-1 キャノン
搭載機 F-7M、FT-7M、FT-5
- (2) IAI 30 mm DEFA 552キャノン
搭載機 Kfir-C2、Kfir-TC2
- (3) 12.7 mm 機銃
搭載機 Mi-24V
- (4) LAU-3A/10A/32Aロケットランチャー
搭載機 Kfir-C2、Kfir-TC2

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億円 [°])	121.664	153.75	162.38	179.47	196.72
(10 億ドル)	5.171	6.04	5.98	6.41	6.68
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億円 [°])				16.00	
(10 億ドル)				0.57108	
国防予算(10 億円 [°])		2.6	6.196	8.700	18.00
(10 億ドル)		0.102209	0.228104	0.311159	0.61528
受領軍事援助(100万ドル)					
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億円 [°])	221.98	251.89	321.06	372.59	423.3
(10 億ドル)	6.98	7.01	8.01	9.01	9.7
一人当たり (ドル)					2,900
国防支出(10 億円 [°])	11.40e				23.9
(10 億ドル)	0.38716				0.5472
国防予算(10 億円 [°])	10.2	12.64	17.6	18.62e	20.71e
(10 億ドル)	0.321	0.35063	0.43931	0.45006	0.47404
受領軍事援助(100万ドル)	0.16				
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億円 [°])	496.5	539	653		
(10 億ドル)	10.27	11.7	12.7		
一人当たり (ドル)	3,100	3,200	3,300		
国防支出(10 億円 [°])	24.05	26	32		
(10 億ドル)	0.498	0.516	0.624		
国防予算(10 億円 [°])	24.0	24.1	30.12	38	
(10 億ドル)	0.4967	0.4889	0.65	0.701	
受領軍事援助(100万ドル)	0.4	0.1	0.1	0.2	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

- 1 主要水上艦艇
保有していない。
- 2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
沿岸哨戒艇												
ジャェカガラ級	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
内水哨戒艇		42	38	34	34	36	41	42	42	41	39	39
プラティーン級	11	(11)	(11)									
ダビュール級		(6)	(6)									
クーガーマリン 32ft		(9)	(10)									
36t			(2)									
シェパードン22t			(5)									
21t			(4)									
その他	17	(16)		(28)	(16)	(18)	(20)	(19)	(19)	(19)	(19)	(19)
港内艇ソニークラフト 13t		4	4									
高速砲艇(FAC)			12									
スパートホーラ(イスラエル製)			(6)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(11)	(11)	(8)
ソーラー級(シャンハイII級中国製)	7	6	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)	(4)	(7)
ラナ級								(3)	(3)	(3)	(2)	(2)
小型艇(韓国製)							(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
小艇								+30	+30	+30	+30	30
保有隻数計	35	52	56	36	36	38	43	44	44	43	40	40

- 3 機雷戦艦艇
保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇

シテ-、バ-ランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
LCT ホ-スパ-33t			2									
LCM		2		2	2	2	2	4	4	4	4	3
LCU		2										
高速人員輸送艇								2	2	2	2	2
保有隻数計	4	2	2	2	2	2	2	6	6	6	6	5

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

シテ-、バ-ランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
A-526 級 6,300F				1		1						
アブヒ-サ 級監視指揮艦 2,628F		3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1
母船 (元貨物船)		3	5									
保有隻数計	6	8	4	3	4	4	3	3	3	3	2	1

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
F-7M										4	4	4
FT-7												1
FT-5												2
Kfir-C2												5
Kfir-TC2												1
攻撃ヘリコプター												
ベル 412				4	4	4	4	4	4	4	4	
ベル 212	2	2	9	11	11	10	13	13	13	13	12	12
Mi-24V												3
合計	2	2	13	15	15	14	17	17	17	21	20	28

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

スリランカ海軍は小型艇ばかりで、ソーラヤ級 OCF、ラナ級 PCFに装備の中国 37 mm/63 連装砲が最大の口径の砲であり、有力な対空武器は有していない。

2 対艦武器

砲は前述のとおりであるが、沿岸の哨戒、警備には効果を發揮している。この期間の質の面での変化はない。

3 対潜武器

ソーラヤ級が機雷を搭載する他は対潜武器は有していない。またソナーを装備する艦艇はない。

第2項 航空機性能の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

当初は、攻撃ヘリコプター ベル 212/412 (最大航続距離 227 浬) のみであったが、1990 年代半ばに中国から F-7M(最大航続距離 804 浬) を購入し、続いて FT-5(最大航続距離 664 浬)、Kfir-C2, Kfir-TC2 (戦闘行動半径 640 浬) を導入して、行動範囲は大幅に広がった。なお、同じ頃に攻撃ヘリコプター Mi-24V(戦闘行動半径 86 浬) も購入している。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

攻撃ヘリコプター及び F-7等は機銃のみを搭載しているが、Kfir-C2, Kfir-TC2 は LAU-3A/10A/32A ロケットランチャーを装備しており、攻撃能力は向上している。

2 対潜武器

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

1995-1996 における海軍に関連する武器の発注と供給

装備	タイプ	数量	供給国	契約年	供給年	備考
FGA	Kfir	8	イスラエル	1995	1996	
ヘリコプター	Mi-17	3	ウクライナ	1995	1996	
ヘリコプター	Mi-24	3	ウクライナ	1995	1996	
PFC	トボラ級	6	イスラエル	1995	1997	

HP「海軍砲術学校」公開資料

第13章 パキスタン

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、パキスタン艦隊と、1986年に編成された海上保安庁があり、更に陸軍の要員が搭乗した沿岸警備隊がある。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。

海軍参謀長 (Chief of the Naval Staff)

パキスタン艦隊司令官 (Commander Pakistan Fleet)

海上保安庁司令官 (Commander Maritime Security Agency)

第3項 基地

カラチ (艦隊司令部)、クワタール (陸上基地)、オアシム港、オルマラ (1998年以降)、PNS メーラン (カラチ海軍航空基地)

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 11 隻

[駆逐艦] 3 隻

(1) アラムギル級 (米ギアリング (フラム I) 級) DDG 3 隻

[フリゲート艦] 8 隻

(2) タリク級 (英アマゾン級 (タイプ 21)) DD/FF 6 隻

(3) シャムシェー級 (英リアンダー級) FF 2 隻

2 小型水上艦艇 13 隻

[ミサイル艇] 8 隻

(1) ファンフェン級 (中国製ソ連オサ II 級) PCFG 4 隻

(2) ハイバット級 (中国ヘグ級) 4 隻

[哨戒艇] 5 隻

(3) ラーカナ級 PC 1 隻

(4) ケッタ級 (シャンハイ II 級) PCF 3 隻

(5) ラジシャヒ級 (タウン級) PC 1 隻

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) マンシフ級 (フランスエリダン級) MHC 3 隻

(2) マームード級 (米 MSC 268 級) MSC 2 隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇

保有していない。

5 潜水艦

- (1) ハシマツト級 (フランス アゴスタ級) SSK 2 隻
- (2) ハンゴール級 (フランス ダフネ級) SSH 4 隻
- (3) MG 110型 SSI 3隻

6 支援艦艇 4 隻

ナセル級 (中国フーキン級) AOR 1 隻
ダッカ級 (米ミッション級) AOR 1 隻
ベールパイマ級調査船 AGOR 1 隻
モーウィン級 (オランダ プールスター級) AOR 1 隻

7 海軍所属の対艦攻撃機

- (1) ブリケット アトランティック 1: 4 機 (ASW/MR部隊であるが、AM 39 イグゾセ ASMを搭載できる。) (海軍所属であるが空軍が運用する。)
- (2) ウエストランド シーキング Mk 45: 6 機 (ASW/SAR 部隊であるが、AM 39 イグゾセ ASM を搭載できる。)

8 対潜哨戒機

[固定翼機] 1 個スコードロン

- (1) ブリケット アトランティック 1: 4 機 (海軍所属であるが空軍が運用する。)
[回転翼機] 2 個ヘリスコードロン
- (2) エアロスパティアル SA 319B アルエットIII: 4 機
- (3) ウエストランド シーキング Mk 45: 6 機 (ASW/SAR 部隊であるが、AM 39 イグゾセ ASM を搭載できる。)
- (4) ウエストランド リンクス HAS 3: 2 機

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

1 対地攻撃機 7個スコードロン

1 個スコードロン ミラージュIII EP: 15 機、III DP: 3 機
3 個スコードロン (1 OCU) ミラージュ 5PA/PA2: 54 機、5DPA/DPA2: 2 機
3 個スコードロン Q-5 (A-4ファントム): 49 機

2 戦闘機 10個スコードロン

4 個スコードロン J-6/JJ-6 (F-6/FT-6): 100機
3 個スコードロン (1 OCU) F-16A/B: 345機
2 個スコードロン (1 OCU) J-7 (F-7P): 79機
1 個スコードロン ミラージュ 1110: 30 機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊員 1,200名

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 11 隻

[駆逐艦] 3 隻

(1) アラムギル級 (米ギアリング (フラム I) 級) DDG 3 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
アラムギル(元コン DD 866)	D 160	1945. 8. 18	1982. 10. 1
タイムール(元エパーソン DD 719)	D 166	1949. 3. 19	1980. 9. 30
タフビル (元ヘンダーソン DD 785)	D 167	1945. 8. 4	1980. 9. 30

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2,425	390.5×41.2×19	蒸気タービン	32	4,500	274
3,500F	(119×12.6×5.8)	2 軸		(16Kt)	(27)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネルダグラス ハープーン 連装ランチャー ×3

対潜: ハネウエル ASROC Mk 112 8連装ランチャー ×1

砲

米5 インチ/38 Mk 38 連装砲 ×1

ゼネラルエレクトロニクス/ゼネラルダイナミクス 20 mm 6 連装ハルカンファランクス Mk 15×1

23 mm/87 4 連装砲 ×2

魚雷

324 mm 米Mk 32 3 連装発射管×2、ハネウエル Mk 46 対潜魚雷

ソナー

サンカモ SQS-23D ハルソナー

HP「海軍砲術学校」公開資料

[フリゲート艦] 8 隻

(2) タリク級 (英アマゾン級 (タイプ 21)) DD/FF 6 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
タリク(元アンバースケート)	D 181(元F 172)	1993. 7. 28	1993. 11. 1 到着
バブル(元アマゾン)	D 182(元F 169)	1993. 9. 30	
カイパー (元アロー)	D 183(元F 173)	1994. 3. 1	
バートル(元アラクリティ)	D 184(元F 174)	1994. 3. 1	
ティップスルタン(元アベンジジャー)	D 185(元F 185)	1994. 9. 23	1996. 1 到着
シャーシヤン(元アクティブ)	D 186(元F 171)	1994. 9. 23	1996. 1 到着

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
3,100	384×41.7×19.5	COGOG	30	4,000	175
3,700F	(117×12.7×5.9)	2軸CPプロペラ		(17Kt)	(13)

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マットネルダグラス ハープーン 1C

砲

ビツカース 4.5 インチ/55 Mk 8 砲×1

ゼネラルエレクトロニクス/ゼネラルダウチクス 20 mm 6 連装バルカンファランクス Mk 15×1

エリコン 20 mm Mk 7A砲×2 又は4

魚雷

324 mm プレッシャー STWS Mk 2 3 連装発射管×2、(D 184とD 186 のみ)

ソナー

グラスヒーパー タイプ 184P ハルソナー

ケルビンヒューズ タイプ 162M 海底類別 ハルソナー

ヘリコプター

ウェストランド リンクス HAS 3×1

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

(3) シヤムシェー級 (英リアンダー級) FF 2隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
スルフィカール(元アポロ)	F 262	1972. 5. 28	1988. 10. 14
シヤムシェー (元ディオミト)	F 263	1971. 4. 2	1988. 7. 15

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
2,500	372×43×18	蒸気タービン	28	4,000	235
2,962F (113.4×13.1×5.5)		2軸		(15Kt)	(15)

ウ 装備武器

砲

ビッカーズ 4.5 インチ/45 Mk 6 連装砲×1
25 mm/60 連装砲×3

対潜武器

UK MoD モーター Mk 10 3 連装ランチャー ×1

ソナー

グラスビター タイプ 170B ハルソナー
グラスビター タイプ 184P ハルソナー
ケルビンヒューズ タイプ 162M 海底類別 ハルソナー
ヘリコプター

SA 319B アルエット III×1

2 小型水上艦艇 13 隻

[ミサイル艇] 8 隻

(1) フアンフエン級 (中国製ソ連オサII級) PCFG 4隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 1025~P 1028		1984. 4

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
171	110.2×24.9×8.9	ディーゼル	35	800	28
205F	(33.6×7.6 ×2.7)	3軸		(30Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: ハイイン 2 (C 201)×4

砲

リコ 25 mm/80 連装砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) ハイバット級 (中国ヘグ級) 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 1021~P 1024		1981

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溷)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
68	88.2×20.7×4.3	ディーゼル	37.5	400	17
79.2F	(27×6.3 ×1.3)	4 軸		(30Kt)	(2)

ウ 装備武器

ミイル

SSM: SY 1×2

砲

リコ 25 mm/80 連装砲×1

[哨戒艇] 5 隻

(3) ラーカナ級 PC 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 157	1994. 6. 6	

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溷)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
	128×22×5.4	ディーゼル	23		25
180F	(39×6.7 ×1.7)	2 軸			(3)

ウ 装備武器

砲

37 mm/63連装砲×1

25 mm/60連装砲×2

爆雷

Mk 46 ランチャー ×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

(4) ケッタ級 (シャンハイⅡ級) PCF 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 144 ~P 145、P 149		1972~1976

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
113	127.3×17.7×5.6	ディーゼル	30	700	34
131F	(38.8×5.4×1.7)	4軸		(16.5kt)	

ウ 装備武器

砲

37 mm/63連装砲×2

25 mm/80連装砲×2

爆雷

投射機×2、爆雷×8

機雷

敷設軌条、機雷×10

(5) ラジシャヒ級 (タウン級) PC 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 140	1965	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
115	107×20×6.9	ディーゼル	24		19
143F	(32.6×6.1×2.1)	2軸			

ウ 装備武器

砲

ホース 40 mm/70 砲×2

12.7 mm 機関砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) マンシフ級 (フランス エリダン級) MHC 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
M 166 ~ M 168	1989~97	1992~

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
562	168.9×29.2×9.5	ディーゼル	15	3,000	46
595F	(51.5×8.9×2.9)	2軸CPプロペラ		(12Kt)	(5)

ウ 装備武器

砲

GIAT 20F2 20 mm 砲×1

12.7 mm 機関砲×1

カウンターメジャー

PAP 104 Mk 5システム×2、係維掃海具、エリスコMKR 400 音響掃海具、MRK 960 磁気掃海具

ソナー

トムソントラ DUBM 21B 又は21D ハルソナー

トムソントラ TSM 2054 曳航アレー

(2) マームード級 (米 MSC 268級) MSC 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
M 160、M 164		1956~57

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
330	144×27.9×8.5	ディーゼル	13.5	3,000	39
390F	(43.9×8.5×2.6)	2軸		(10.5Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連 23 mm 4連装砲×1 又は エリコン 20 mm砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 潜水艦

(1) ハシマツト級 (フランス アゴスタ級) SSK 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ハシマツト(元アストラント)	S 135	1979. 2. 17	1979. 10. 31 カチ着
ハーマツト(元アドベンチュラス)	S 136	1980. 2. 18	1980. 8. 11 カチ着

イ 諸元

基準排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
浮上(潜航)	長×幅×高				(士官)
1,230	221.7×22.3×17.7	ディーゼル 電気		8,500	54
1,490(1,740)	(67.6×6.8×5.4)	1 軸	12(20)	(9Kt)	(7)
潜航深度 300 m					

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネルダグラス ハープーン

魚雷

21インチ(533 mm) 前部発射管×4、ECAN F17P 魚雷又は AEG SUT魚雷×20搭載可能

機雷

ストーンフィッシュ

(2) ハンゴール級 (フランス ダフネ級) SSH 4 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
ハンゴール	S 131	1970. 1. 12	
シュシュク	S 132	1970. 1. 12	
マンダロ	S 133	1970. 8. 8	
ガーチ	S 134	1969. 10. 1	1975. 12 購入

イ 諸元

基準排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
浮上(潜航)	長×幅×高				(士官)
700	189.6×22.3×15.1	ディーゼル 電気		4,500	45
869(1,043)	(57.8×6.8×4.6)	2 軸	13(15.5)	(5Kt)	(5)
潜航深度 300 m					

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネルダグラス ハープーン

魚雷

21.7インチ(550 mm) 発射管前部×8 後部×4、ECAN L5 Mod 3 又は AEG SUT魚雷×12 搭載可能

機雷

ストーンフィッシュ

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) MG 110型 SSI 3隻

ジェーン年鑑では1995年に1隻喪失し2隻としている。

ア 艦名等

番号	就役	移転
なし	1972年取得	パキスタン 製イリアコスモスが支援 SX 756 を大型化した。

イ 諸元

基準排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(溼)	乗員(名)
浮上(潜航)	長×幅×高				(士官)
	91.2×18.4			1,200	6
(118)	(27.8×5.6)		(7)		+8潜水員

潜航深度 150 m

エンデュランス 20日

ウ 装備武器

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×2、AEG SUT 魚雷

機雷

Mk 414 リンパットタイプ

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 海軍所属の対艦攻撃機

対潜哨戒機の項に記載

2 対潜哨戒機

[固定翼機] 1 個スコードロン

- (1) ブリゲット アトランティック 1: 4 機 (海軍所属であるが空軍が運用する。)

作戦速力 355 kt (658 km/h)

サービシールンク* 10,000 m (32,800 ft)

航続距離 4,855 哩 (8,995 km)

武器 ASW: Mk 46 魚雷又は 244/S魚雷×9、対潜爆弾、機雷

ASV: AS 12 又はAM 39 イグゾセ ASM×2

(ASW/MR部隊であるが、ASMを搭載できるので対艦攻撃が可能である。)

[回転翼機] 2 個ヘリスコードロン

- (2) エアロスパティアル SA-319B アルエットIII: 4機

最大水平速力 (海面) 118 kt (220 km/h)

サービシールンク* (ホリング*) 3,100 m (10,170 ft)

航続距離 (海面) 325 哩 (605 km)

武器 対潜爆弾、タイプ 244S魚雷×1

- (3) ウエストランド シーキング Mk 45: 6 機

作戦速力 125 kt (232 km/h)

サービシールンク* 3,200 m (10,500 ft)

航続距離 630 哩 (1,165 km)

武器 ASW: 244/S 魚雷×2

ASV: AM 39 イグゾセ ASM×1

(ASW/SAR 部隊であるが、ASM を搭載できるので対艦攻撃が可能である。)

- (4) リンクス HAS Mk 3: 2機

最大巡航速力 114 kt (211 km/h)

サービシールンク* (ホリング*) 3,320 m (10,600 ft)

行動半径 96 哩 (178 km)

ホステーション時間 2 時間

武器 ASW: タイプ 244/S 魚雷×2

ASV: 12.7 mm 機銃×2

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 7個スコードロン

- (1) ダソルトブリゲット ミラージュIII EP: 15 機、III DP: 3 機

最大水平速力 (海面) 750 kt (1,390 km/h)

サービシールンク* (マッハ 1.8) 17,000 m (55,770 ft)

戦闘行動半径 647 哩 (1,200 km)

武器 30 mm DEFA 552A 機銃×2、AS-30 ASM

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (2) ミラージュ 5, 5PA/PA2: 54 機、5DPA/DPA2: 2 機
最大水平速力 (海面) 750 kt (1,390 km/h)
サービシールンク (マッハ 1.8) 17,000 m (55,770 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 700 哩 (1,300 km)、(lo-lo-lo) 350 哩 (650 km)
武器 30 mm DEFA 552A 機銃×2、ASM: AM 39イグゾセ又はハーブーン ×2
- (3) Q-5 (A-4ファントム): 49 機
最大水平速力 (海面) 653 kt (1,210 km/h)
サービシールンク 16,000 m (52,500 ft)
戦闘行動半径 (lo-lo-lo) 216 哩 (400 km)
武器
[戦闘機] 10個スコードロン
- (4) J-6/JJ-6 (F-6/FT-6): 100機
最大水平速力 (低空) マッハ 1.09 (723 kt (1,340 km/h))
サービシールンク 17,900 m (58,725 ft)
戦闘行動半径 370 哩 (685 km)
航続時間 (14,000 m (46,000 ft)) 2 時間38分
武器 30 mm NR-30 キャノン×2 又は3
- (5) F-16A/B: 345機
最大水平速力 (12,200 m (40,000ft))
マッハ 2.0
サービシールンク 15,240 m (50,000 ft)
行動半径 500 哩 (925 km)
武器 M61A1 20 mm キャノン、マベリック ASM
- (6) J-7 (F-7P): 79機
最大水平速力 (12,500~18,500 m (41,000~60,700 ft))
マッハ 2.05 (1,175 kt, 21,75 km/h)
サービシールンク 18,800 m (61,680 ft)
航続距離 (11,000 m (36,100 ft))
804 哩 (1,490 km)
武器 30 mm タイプ 30-1 キャノン×2
- (7) ミラージュ 1110: 30 機
最大水平速力
サービシールンク
戦闘行動半径
武器

HP「海軍砲術学校」公開資料

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

(1) マクドネルダグラス ハープーン SSM

搭載艦艇 アラムギル級 DDG、タリク級 DD/FF、ハシマツト級 SSK、ハンゴール級 SSK
慣性航法、アクティブレーダー ホーミング 130 km(70nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 227 kg

(2) ハイイン 2 (C 201) SSM

搭載艦艇 フアンフェン級 PCFG
慣性航法、アクティブレーダー又はIR ホーミング 95 km(51nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 513 kg

(3) SY 1 SSM

搭載艦艇 ハイバット級 PCFG
慣性航法、アクティブレーダー又はIR ホーミング 45 km(24.3nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 513 kg

2 砲

(1) 米 5 インチ/38 Mk38 連装砲

搭載艦艇 アラムギル級 DDG
仰角 85°、発射速度 15 発/分、射程 17 km (対水上)、11 km (対空)
弾丸重量 25 kg

(2) ビッカーズ 4.5 インチ/55 Mk 8砲

搭載艦艇 タリク級 DD/FF
仰角 55°、発射速度 25 発/分、射程 22 km (対水上)、6 km (対空)
弾丸重量 21 kg

(3) ビッカーズ 4.5 インチ/45 Mk 6連装砲

搭載艦艇 シャムシエー級 FF
仰角 80°、発射速度 20 発/分、射程 19 km (対水上)、6 km (対空)
弾丸重量 25 kg

(4) ボフォース 40mm/70 砲

搭載艦艇 ラジシャヒ級 PC/
仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km (対水上)、4 km (対空)
弾丸重量 0.96 kg

(5) 37 mm/63 連装砲

搭載艦艇 ラーカナ級 PC、ケッタ級 PCF

(6) ノリンコ 25 mm/80 連装砲

搭載艦艇 フアンフェン級 PCFG、ハイバット級 PCFG、ケッタ級 PCF
発射速度 270 発/分、射程 3 km
弾丸重量 0.34 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (7) 25 mm/60 連装砲
搭載艦艇 シヤムシェー級 FF、ラーカナ級 PC
発射速度 270 発/分、射程 3 km
弾丸重量 0.34 kg
- (8) 23 mm/87 4連装砲
搭載艦艇 アラムギル級 DDG
- (9) GE/GD 20 mm 6 連装バルカン ファランクス Mk 15砲
搭載艦艇 アラムギル級 DDG、タリク級 DD/FF
発射速度 3,000発/分、射程 1.5 km
- (10) エリコン 20 mm Mk 7A 砲
搭載艦艇 タリク級 DD/FF
- (11) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 ラジシャヒ級 PC

3 魚雷

- (1) ECAN F17P 魚雷 21インチ (533 mm) (仏)
搭載艦艇 ハシマツト級 SSK
ワイヤーガイド 終末ホーミング、射程 18,500 m、35 kt
弾頭 250 kg HBX3、重量 1,410 kg、深度 500 m 以浅
- (2) ECAN L5 Mod 3 魚雷 21インチ (533 mm) (仏)
搭載艦艇 ハンゴール級 SSK
パッシブ/ アクティブ ホーミング、射程 9.5 km、35 kt
弾頭 150 kg HE、重量 935 kg、深度 555 m
- (3) AEG SUT 魚雷 21インチ (533 mm) (独)
搭載艦艇 ハシマツト級 SSK、ハンゴール級 SSK、SX 756 ミニサブ
ワイヤーガイド アクティブ ホーミング、射程 12 km 35 kt
パッシブ ホーミング、射程 28 km 23 kt
弾頭 260 kg、重量 1,420 kg
- (4) ハニウエル Mk 46 対潜魚雷 324 mm
搭載艦艇 アラムギル級 DDG、タリク級 DD/FF
アクティブ/ パッシブ ホーミング、射程 11 km、40kt、探知距離 460 m (推定)
弾頭 44 kg HE、重量 230 kg

4 対潜武器

- (1) ハニウエル アスロック Mk 112 8 連装ランチャー
搭載艦艇 アラムギル級 DDG
射程 1.6-10 km 弾体 Mk 46 魚雷
- (2) 3 連 UK MoD モーター Mk 10
搭載艦艇 シヤムシェー級 FF
射程 1 km 弾体重量 92 kg
- (3) 爆雷
搭載艦艇 ラーカナ級 PC、ケッタ級 PCF

HP「海軍砲術学校」公開資料

5 機雷

敷設能力 ケッタ級 PCF、ハシマツト級 SSK、ハンゴール級 SSK、SX 756 ミニサブ
保有機雷 ストーンフィッシュ、Mk 414リンペットタイプ

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) イグゾセ AM 39ミサイル (仏)
搭載機 アトランティック 1、シーキング Mk 45
速度 ハイブソニック、射程 50 km、重量 625 kg
- (2) AS-12 ケグラー ASMミサイル (ソ)
搭載機 アトランティック 1、シーキング Mk 45
射程 35 km、重量 350 kg
- (3) AS-30 レーザー ASMミサイル (仏)
搭載機 ミラージュIII、ミラージュ 5
最大射程 10 km、重量 520 kg、弾頭 240 kg

2 対潜武器

- (1) ホワイトヘッド 244S 対潜魚雷
搭載機 アトランティック 1、リンクス HAS 3 ヘリ、シーキング Mk 45 ヘリ、
アルエットIII ヘリ
アクティブ/パッシブ ホーミング、
弾頭 成形爆薬 HBX-3 HE、重量 221 kg
- (2) Mk 46 対潜魚雷
搭載機 アトランティック 1、シーキング Mk 45
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 11 km、40kt、探知距離 460 m (推定)
弾頭 44 kg HE、重量 230 kg
- (3) 対潜爆弾
搭載機 アトランティック 1、シーキング Mk 45、アルエットIII ヘリ

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7	1987/8
GDP (10 億 π° -)	418.77	478.27	539.54	608.15	685.87
(10 億 ト° ル)	31.075	31.55	33.45	35.43	39.07
一人当たり (ト \circ ル)					
国防支出(10 億 π° -)					45.30
(10 億 ト° ル)					2.58
国防予算(10 億 π° -)		29.65	33.06	38.89	44.26
(10 億 ト° ル)		1.957	2,067	2.27	2.53
受領軍事援助(100万 ト° ル)	300	325	(85)350	(86)311.9	
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億 π° -)	669.84	769.75	862.45	992.65	1,211.3
(10 億 ト° ル)	37.2	37.47	39.73	41.71	48.3
一人当たり (ト \circ ル)					2,100
国防支出(10 億 π° -)	48.89	52.90	63.2	76.96	89.10
(10 億 ト° ル)	2.38	2.58	2.91	3.23	3.6
国防予算(10 億 π° -)	(8/9)48.32		61.93	70.95	82.15
(10 億 ト° ル)	2.74		2.85	2.98	3.28
受領軍事援助(100万 ト° ル)	(88)230.92		230		
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億 π° -)	1,342.0	1,565.0	1,770		
(10 億 ト° ル)	47.7	51.2	56		
一人当たり (ト \circ ル)	2,100	2,200	2,200		
国防支出(10 億 π° -)	93.8	108	115		
(10 億 ト° ル)	3.3	3.5	3.6		
国防予算(10 億 π° -)	94.0	101.9	115.3	131	
(10 億 ト° ル)	3.3	3.4	3.7	3.8	
受領軍事援助(100万 ト° ル)		2.5	2.5	2.7	3.3

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
駆逐艦	8	8	7	8	7	3	3	3	3	3	3	3
カントリー級 (英国製) 5,440t	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			
ギアリング級 (米国製) 2,425t	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(3)
バトル級 (英国製) 2,325t	(1)	(1)		(1)								
フリゲート艦					10	10	10	10	11	6	8	8
ブルック級 (米国製) 2,640t					(4)	(4)	(4)	(4)	(4)			
アマゾン級 (英国製) 3,100t									(1)	(4)	(6)	(6)
リアンダー級 (英国製) 2,500t					(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
ガルフ級 (米国製) 2,620t					(4)	(4)	(4)	(4)	(4)			
保有隻数計	8	8	7	8	17	13	13	13	14	9	11	11
保有基準排水量計 (k トン)	22	22	20	22	46	36	36	36	39	25	31	31

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
高速ミサイル艇 (FAC(G))	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
ファンフェン級 (中国製)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
ヘグ級 (中国製)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
高速魚雷艇 (FAC(T))												
フーチュアン級 (中国製) 水中翼艇	4	4	4	4	4	4	4	4				
哨戒艇				17	17	13	13	13	10	5	5	5
ハイナン級 (中国製)	4	4	4	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)	(1)
シャンハイ II級 (中国製) (FAC)	12	12	12	(12)	(12)	(8)	(8)	(8)	(6)	(3)	(3)	(3)
タウン級 ラジシャヒ	1	1	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
スピア級	1											
MC-55	18											
保有隻数計	48	29	29	29	29	25	25	25	18	13	13	13

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
エリダン級 (フランス製)									1	1	1	3
アジュタント級MSC(米国製)	3	2	2									
MSC-268 級 (米国製)		1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2
保有隻数計	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	5

4 両用戦艦艇

保有していない。

5 潜水艦

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
アゴスタ級 1,230t	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ダフネ級 700t	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
SX-404 (米) 40t	5	5	2	3								
MG 110 118t潜航											3	3
保有隻数計	11	11	8	9	6	6	6	6	6	6	9	9
保有基準排水量計 (k トン)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6

6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
洋上給油艦	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ナセル級 (中国フーキン級)	(1)	(1)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
ダッカ級AOR	(1)	(1)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
調査船				1	1	1	1	1	1	1	1	1
給油船												1
航洋曳船				1	1	1	1	1	1			
修理艦						1	1	1	1			
練習艦:ダイト級巡洋艦(英製)	1	1	1									
バトル級駆逐艦(英製)				1								
保有隻数計	3	3	3	4	4	5	5	5	5	3	3	4

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
固定翼機												
アトランティック	3*	3*	3*	4*	4*	5*	6*	4*	4*	4*	4*	4*
回転翼機												
シーキング	6*	6*	6*	6*	6*	6*	6*	5*	6*	6*	6*	6*
アルエット III	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
リンクスHAS Mk3												2
合計	13	13	13	14	14	15	16	13	14	14	14	16

注：* AM-39 ASM を搭載している。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
ミラージュ IIIEP	17	17	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15
ミラージュ 5	50	50	50	62	58	58	58	58	58	58	56	56
中国製Q-5	41	41	41	41	135	135	50	50	50	50	49	49
戦闘機												
中国製J-6	170	170	170	170	150	150	110	110	110	110	100	100
F-16	30	30	39	39	40	39	39	39	35	34	34	34
中国製J-7					20	40	40	75	75	80	79	79
ミラージュ 1110										30	30	30
合計	308	308	316	328	418	437	302	347	343	377	358	358

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

対空ミサイルを装備した艦艇は有していない。

砲については、アラムギル級 DDG (1980年～) に装備の米 5 インチ/38 Mk38 連装砲 (射程 対空 11 km) が最大の口径である。この期間に、ビッカーズ 4.5 インチ砲 (射程 対空 6 km) を装備したシャムシェー級 FF(1988～) とタリク級 DD/FF (1993～) を入手したので、5 インチ砲に次ぐ口径の砲を有することとなった。

2 対艦武器

対艦ミサイルについては、この期間の初めからマクドネルダグラス ハープーン SSM (射程 130 km(70nm)) を搭載したアラムギル級 DDGがあり、ハシマツト級 SSK、ハンゴール級SSK もこのミサイルを使用するので、この期間における質の変化はない。1993年からのタリク級 DD/FFの増勢力でこのミサイルの数は増加している。

対水上の砲の射程については、アラムギル級 DDG (1980～) の5 インチ/38 Mk38連装砲 (射程 17 km) 、シャムシェー級 FF(1988～) のビッカーズ 4.5 インチ/45 Mk 6 連装砲 (射程 19 km) 、タリク級 DD/FFのビッカーズ 4.5 インチ/55 Mk 8砲 (射程 22 km) と逐次増大している。

ハシマツト級 SSK、ハンゴール級 SSK、SX 756ミニサブは、長魚雷ECAN F17P 、ECAN L5 Mod 3 、及びAEG SUT を搭載している。期間内の質の変化はない。

3 対潜武器

対潜武器については、当初からアラムギル級 DDGがハニウエル アスロック Mk 112 8 連装ランチャー (射程 1.6-10 km 弾体 Mk 46 魚雷) を装備している。シャムシェー級 FF(1988年～) には、3 連 UK MoD モーター Mk 10 (射程 1 km 弾体重量 92 kg) を搭載している。

第2項 航空機性能の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

ブリケット アトランティック 1 (航続距離4,855 浬) とウエストランド シーキング Mk 45 ヘリコプター (航続距離 630浬) は、ASW/SAR 部隊であるが、AM 39 イグゾセ ASMを搭載できるので、対艦攻撃が可能である。対象期間の当初から有しているので質の面での変化はない。

2 対潜哨戒機

前項のブリケット アトランティックとウエストランド シーキング Mk 45ヘリコプターの他に、エアロスパティアル SA 319B アルエットIIIヘリコプター (航続距離 325浬) があり、1990年代半ばにはウエストランド リンクス HAS 3 (戦闘行動半径 97 浬) が加わっているが、行動範囲は大きくはなっていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

対地攻撃機は、当初からミラージュIII EP/DP（戦闘行動半径 647哩）、ミラージュ5PA/PA 2, 5DPA/DPA2（戦闘行動半径 700哩）、Q-5（A-4 ファントム）（戦闘行動半径 216 哩）を有しており、期間中の変化はない。

戦闘機は、J-6/JJ-6（F-6/FT-6）（戦闘行動半径 370哩）、F-16A/B（戦闘行動半径 500哩）が当初からあり、1990年代の初めに J-7（F-7P）（航続距離 804哩）を、1990年代の半ばにはミラージュ（戦闘行動半径 哩）を加えている。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

対艦ミサイルは、イグゾセ AM 39（仏）（射程 50 km）、AS-12 ケグラー ASM（ソ）（射程 35 km）、及びAS-30 レーザー ASM（仏）（最大射程 10 km）であり、対象期間の当初から有しており、変化はない。

2 対潜武器

対潜魚雷、ホワイトヘッド 244S 及びMk 46 は当初から使用しており変りはない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

1995-1996 における海軍に関連する武器の発注と供給

装備	タイプ	数量	供給国	契約年	供給年	備考
FGA	ミラージュ 3	40	仏	1996	1998	元ロシア 仏で性能向上
FGA	スーパー7		中	1993		中と協同開発、120 機要求
ヘリコプター	Mi-17	12	ロシア	1995	1996	1996.3に 3機、1996年に残りを供給
MSC	M-163	1	仏	1993	1996	2 番艇発注、3 番艇パキスタン で建造
中						
SS	アコスタ級	3	仏	1994	1998	1, 2 番艇仏、3 番艇パキスタン で建造 1998-2002 に供給
魚雷	43X2		スウェーデン	1995		継続発注、元英タイプ 21フリゲート 用
ヘリコプター	リンクス	1	英	1993	1995	元英、3 機中の1 番機1995年に供給

注：数量、契約・供給年の空欄はデータが得られなかったものであるが、契約/ プログラムは確認されている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第14章 イラン

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、ペルシャ湾に3 個海軍区、カスピ海に1 個海軍区の4 個海軍区がある。ペルシャ湾の3 個海軍部隊と、パスダラン海軍部隊 1個旅団は、固定施設と指揮所を陸岸に有している。中国製の SSM、HY-2 とC-801/C-802 及びソ連製の SS-N-22サンバーンをトラックに搭載し、陸岸から海を守っている。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997で主要指揮官とされているものは、次のとおりである。
海軍及びパスダラン海軍部隊司令官 (Commander of the Navy and Pasdaran Naval Frce)
副司令官 (Deputy Commander)

第3項 基地

ペルシャ湾: バンダルアバス (MHQ 及び第1 海軍区)、ブーシュフル (第2 海軍区及び造船所)、バンダレホメイニ (第3 海軍区)、カーク島、エスム島、バンダルレンゲフ
インド洋: シャーバハール (潜水艦基地)
カスピ海: バンダルアンザリ (第4 海軍区)
パスダラン: アルハルシア、ハルル、シリアブムサ、ララク

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 5 隻

[駆逐艦] 2 隻

(1) バブル級 (米アレン M. サムナー (フラムII) 級) DD 2 隻

[フリゲート艦] 3 隻

(2) アルバンド級 (英ボスパー Mk 5 級) FFG 3 隻

2 小型水上艦艇 48 隻

[コルベット] 2 隻

(1) バヤンドール級 (米 PF 103 級) FS 2 隻

[ミサイル艇] 20 隻

(2) カマン級 (仏コンバタントII級) PGF 10 隻

(3) フドン級 (中国) 10 隻

[哨戒艇] 26 隻

(4) カイバン級 (北朝鮮チャホ級) PCF 3 隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (5) パルビン級 (米 PGM-71 級) PC 3 隻
- (6) 元イラクボゴモル級 (ソ連 OSA II 級) PCFG 1 隻
- (7) PFI 10 隻
- (8) ホバークラフト 9 隻
- (9) その他小型艇多数
- 3 機雷戦艦艇 5 隻
 - (1) シャハローク級 (米 MSC 292、268 級) MSC 3 隻
 - (2) リアッチ級 (米ケーブ級) MSC 2 隻
 - (3) イランアジル級 (日本製) LST/MLA 2 隻
- 4 両用戦艦艇 8 隻
 - (1) ヘンガム級 (英国製) LSL 4 隻
 - (2) イランホルムズ 24 級 (韓国製) LST 3 隻
 - (3) ポルノクニイ級 (元イラク) LSM 1 隻
 - (4) その他舟艇 LCT 3 隻
- 5 潜水艦
 - (1) タレク級 (ソ連キロ級タイプ 877 EKM) SSK 2 隻
- 6 支援艦艇 25 隻
 - カーグ級 AOR 1 隻
 - バンドルアバス級 AORL 2 隻
 - 修理船 1 隻
 - カンガン級 給水船 AWT 4 隻
 - デルバル級 支援船 AEL/AKL/AWT 2 隻
 - ヘンディジャン級 支援船 13 隻
 - AT 1 隻
 - シャハローク級 MSC 1 隻
- 7 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 8 対潜哨戒機
 - [固定翼機]
P-3F: 5 機 (空軍の洋上監視隊に所属している。)
 - [回転翼機] 1 個ヘリスコードロン
SH-3D: 3 機
AB-212 ASW: 6 機

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

- 1 対地攻撃機 9個スコードロン
 - 4 個スコードロン F-4D/E: 60機
 - 4 個スコードロン F-5E/F: 60機
 - 1 個スコードロン Su-24: 30 機

HP「海軍砲術学校」公開資料

- 2 戦闘機 7 個スコードロン
 - 4 個スコードロン F-14: 60機
 - 1 個スコードロン F-7: 25 機
 - 2 個スコードロン MiG-29: 30機

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況
海兵隊 2 個連隊

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。なお、小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 5隻

[駆逐艦] 2 隻

(1) バブル級 (米アレン M. サムナー (フラムII) 級) DD 2隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
バブル(元ゼラス DD 777)	61	1944. 10. 25	1971. 3. 19
パランク (元ストンズ DD 780)	62	1945. 1. 27	1972. 2. 16

イ 諸元

排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名)
(Fは満載)	長×幅×高				(士官)
2,388	376.5×41×21.4	蒸気タービン	34	3,740	290
3,254F	(114.8×12.5×6.5)	2 軸		(12.5Kt)	(14)

ウ 装備武器

ミサイル

SAM: GDC ホモ スタンドート SM-1MR ホックス ランチャー×4

砲

米5 インチ/38 Mk 38 連装砲 ×2

ソ連 23 mm/80 連装砲×2

魚雷

324 mm 米Mk 32 3 連装発射管×2、ハネウエル Mk 44 又は Mk 46対潜魚雷

ソナー

SQS-43 ハルソナー(61)、SQS-44 ハルソナー(62)

ヘリコプター

アグスタ AB 204AS ×1

[フリゲート艦] 3 隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

(2) アルバンド級 (英ボスパー Mk 5 級) FFG 3 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
アルバント (元シム)	71	1971. 5. 20	
アルボルト (元ザール)	72	1971. 3. 1	
サハラ (元ロスタム)	73	1972. 2. 28	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
1, 100	310×36. 4×14. 1	CODOG	39	3, 650	125
1, 350F	(94. 5×11. 1×4. 3)	2軸CP7°ロペラ		(18Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: システル シーキラー II 5 連装ランチャー ×1

砲

ビッカーズ 4. 5 インチ/55 Mk 8 砲×1

エリコン 35 mm/90 連装砲×2

エリコン GAM-B01 20 mm砲×3

12. 78 mm 機関砲×2

対潜武器

3 連装リンボ- Mk 10×1

ソナー

グラスビ- 174 ハルソナー

グラスビ- 170 ハルソナー

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

2 小型水上艦艇 48 隻

[コルベット] 2 隻

(1) バヤンドール級 (米 PF 103 級) FS 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
81~82	1964	1964

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
900	275.6×33.1×10.2	ディーゼル	20	2,400	140
1,135F	(84×10.1×3.1)	2 軸		(18Kt)	

ウ 装備武器

砲

米 3インチ/50 Mk 34砲×2、武器管制 Mk 63
 ホホス 40 mm/60 連装砲×2、武器管制 Mk 51 Mod 2
 エリコン GAM-B01 20 mm砲×2
 12.7 mm 機関砲×2

ソナー

EDO SOS-17A ハルソナー

[ミサイル艇] 20 隻

(2) カマン級 (仏コンバタント II 級) PGF 10 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P 221 ~P 223、P 226 ×P 232	1977~81	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
249	154.2×23.3×6.2	ディーゼル	37.5	2,000	31
275F	(47×7.1 ×1.9)	4軸		(15Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: マクドネル ダグラス ハープーン ×4 又は
 YJ 1 (C 801) ×4

砲

オートメテラ 76 mm/62 コンパクト 砲×1
 ブレダ ホホス 40 mm/70 砲×1

HP「海軍砲術学校」公開資料

(3) フドン級 (中国) 10 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
P3131 ~P3140		1994、1996

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
171	110.2×22.3×8.9	ディーゼル	35	800	28
205F	(33.6×6.8 ×2.7)	3軸		(30Kt)	(3)

ウ 装備武器

ミサイル
SSM: YJ 1 イーグルストライク (C 801)×4
砲
30 mm/65 AK 230 連装砲×1

[哨戒艇] 26 隻

(4) カイバン級 (北朝鮮チャホ級) PCF 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1987. 4

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
70	85.3×19×6.6	ディーゼル	40		17
82 F	(26×5.8 ×2)	4 軸			

ウ 装備武器

砲
ソ連 23 mm/80 連装砲×1
14.5 mm 連装機関砲×2
BM-21 40 連装ロケットランチャー (MRL)

HP「海軍砲術学校」公開資料

(5) パルビン級 (米 PGM-71 級) PC 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
211 ~213	1967~70	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (17kt)	乗員(名) (士官)
89	101×21.3×8.3	ディーゼル	22	1,140	20
148F	(30.8×6.5 ×2.5)	2 軸			

ウ 装備武器

砲

ボホース 40 mm/60 砲×1

エリコン 20 mm 砲×2

12.7 mm 機関砲×2

爆雷

投下軌条、米 Mk 6 爆雷×8

ソナー

SQS-17B ハルソナー

(6) 元イラクボゴモル級 (ソ連 OSA II 級) PCFG 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
	1970年代イラク 着、1991.1湾岸戦争中にイラクへ	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩) (35kt)	乗員(名) (士官)
	126.6×24.9×8.8	ディーゼル	37	500	30
245F	(38.6×7.6 ×2.7)	3 軸			

ウ 装備武器

ミサイル

SS-N-2B スティック×4

砲

30 mm/65連装砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇 5 隻

(1) シャハローク級 (米 MSC 292、268 級) MSC 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
301 ~303	1959~62	1959~62

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	145.8×28×8.3	ディーゼル	13	2,400	40
376F	(44.5×8.5 ×2.5)	2軸		(10Kt)	(6)

ウ 装備武器

砲

エリコン 20 mm 連装砲×2

(2) リアッチ級 (米ケーブ級) MSC 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
311 ~312	1964	1964. 10. 15

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	111×23×7.9	ディーゼル	13	1,200	21
239F	(33.9×7 ×2.4)	2軸		(12Kt)	(5)

ウ 装備武器

砲

12.7 mm 機関砲×1

(3) イランアジル級 (日本製) LST/MLA 2 隻 (機雷敷設に使用している。)

ア 艦名等

艦名	就役	移転
イランアシル、イランカイトル	1978~79	商用ロー船として、1980イラン海軍取得

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	176×35.4×9.9	ディーゼル	12.5		30
2,274F	(53.7×10.8×3)	2軸			
搭載量 650 トン					

ウ 装備武器

砲

12.7 mm 機関砲×2

注: イラン海軍は、約3,000 個の機雷を備蓄しており、その中には中国製の上昇機雷も含まれていると伝えられている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

4 両用戦艦艇 8 隻

(1) ヘンガム級 (英国製) LSL 4 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
511 ~514	1974、1985	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
2,540F	305×49×7.3 (93×15×2.4)	ディーゼル 2軸	14.5	4,000 (12kt)	80

搭載量 戦車×9、貨物600トン、人員 227名

ウ 装備武器

砲

ボホース 40 mm/60 砲×4 (511, 512)、ソ連 23 mm/80 連装砲×4 (513, 514)

12.7 mm 機関砲×2

BM-21 多重ロケット ランチャー ×1

ヘリコプター

シコルスキー MH-53D ×1 搭載可能

(2) イランホルムズ 24 級 (韓国製) LST 3 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
24~26	1985~86	

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名) (士官)
2,014F	239.8×46.6×8.2 (73.1×14.2×2.5)	ディーゼル 2軸	12		30

搭載量 戦車×9、人員 140名

HP「海軍砲術学校」公開資料

5 潜水艦

(1) タレク級 (ソ連キロ級タイプ 877 EKM) SSK 2 隻

ア 艦名等

艦名	番号	就役	移転
タレク	901	1992. 11. 21	
ヌール	902	1993. 6. 6	

イ 諸元

基準排水量(トン)	寸法(フィート(m))	主機	速力(Kt)	レンジ(哩)	乗員(名)
浮上(潜航)	長×幅×高				(士官)
	242.1×32.5×21.7	ディーゼル 電気		6,000	53
2,356(3,076)	(73.8×9.9 ×6.6)	1 軸	10(17)	(7Kt)	(12)
潜航深度	240 m				

ウ 装備武器

魚雷

21インチ(533 mm) 発射管×6、TEST-71/96魚雷の組み合わせ×18搭載可能
機雷×24 搭載可能(魚雷に替えて)

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 対潜哨戒機

[固定翼機]

- (1) ロッキード P-3F: 5機 (空軍の洋上監視隊に所属している。)

作戦速力 410 kt (760 km/h)
サービスシーリング 8,625 m (28,300 ft)
航続距離 4,000 哩 (7,410 km)
武器 ASW: 各種武器搭載可能、 ASV: C-802 SSM

[回転翼機] 1個ヘリスコードロン

- (2) アグスタシコルスキー SH-3D シーキング: 3機

作戦速力 120 kt (222 km/h)
サービスシーリング 3,720 m (12,200 ft)
航続距離 630 哩 (1,165 km)
武器 ASW: A244/S魚雷×4、又は対潜爆弾

- (3) アグスタ AB-212 ASW: 6機

作戦速力 104 kt (193 km/h)
サービスシーリング 3,505 m (11,500 ft)
航続距離 332 哩 (615 km)
武器 ASW: 魚雷×2、 ASV: AS 12 ミサイル×2

2 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[対地攻撃機] 9個スコードロン

- (1) マクドネルダグラス ファントムII F-4D/E: 60機

	F-4D	F-4E
速力	502 kt (936 km/h)	496 kt (919 km/h)
サービスシーリング	7,055 m (23,150 ft)	6,490 m (21,300 ft)
戦闘行動半径	618 哩 (1,145 km)	
武器		

- (2) ノースロップ タイガーII F-5E/F: 60機

	F-5E	F-5F
最大水平速力 (10,975 m (36,000 ft))		
	マッハ 1.64	マッハ 1.56
サービスシーリング	15,790 m (51,800 ft)	15,485 m (50,800 ft)
戦闘行動半径	570 哩 (1,056 km)	520 哩 (964 km)
武器 M39 A2 20 mmキャノン×2		

- (3) スホイ Su-24 フェンサー: 30機

最大水平速力 (海面) マッハ 1.2
サービスシーリング 16,500 m (54,135 ft)
戦闘行動半径 (lo-lo-lo) 174 哩 (322 km)、(hi-lo-hi) 970 哩 (1,800 km)
武器 AS-7 グレ- ASM

HP「海軍砲術学校」公開資料

[戦闘機] 7 個スコードロン

- (4) グラマン トムキャット F-14: 60 機
最大速度 (低空) マッハ 1.2 (792 kt, 1,468 km/h)
サービスシーリング 15,240 m (50,000 ft)
戦闘行動半径
武器 M61 A-1 ハルカン 20 mm機銃×1
- (5) F-7: 25 機
最大水平速度 (12,500~18,500 m (41,000~60,700 ft))
マッハ 2.05 (1,175 kt, 2,175 km/h)
サービスシーリング 18,800 m (61,680 ft)
航続距離 (11,000 m (36,100 ft))
804 哩 (1,490 km)
武器 30 mm タイプ 30-1 キャノン×2
- (6) MiG-29: 30機
最大水平速度 (海面) マッハ 1.06 (700 kt, 1,300 km/h)
サービスシーリング
戦闘行動半径 430 哩 (800 km)
武器

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

- (1) システル シーキラー II SSM
搭載艦艇 アルバンド級 FFG
ビームライダー 無線コマンド又は光学ガイダンス 25 km (13.5nm) 0.8マッハ
弾頭重量 70 kg
- (2) マクドネルダグラス ハープーン SSM
搭載艦艇 カマン級 PGF
アクティブレーダー ホーミング 130 km (70nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 227 kg
- (3) YJ-1 イーグルストライク (C-801) SSM
搭載艦艇 フドン級 PCFG、カマン級 PGF
アクティブレーダー ホーミング 40 km (22nm) 0.9 マッハ、シースキマー
弾頭重量 165 kg
- (4) SS-N-2B スティックス SSM
搭載艦艇 ボゴモル級 PCFG
アクティブレーダー又はIR ホーミング 46 km (25nm) 0.9 マッハ
弾頭重量 513 kg

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

- (5) GDC ポモナ スタンダード SM-1MR ボックスランチャー SAM
搭載艦艇 バブル級 DD
コマンドガイダンス、セミアクティブレーダー ホーミング 46 km(25nm) 2 マッハ
高度 45.7~18,288 m (150 ~60,000ft)
弾頭重量 kg

2 砲

- (1) 米 5 インチ/38 Mk38 連装砲
搭載艦艇 バブル級 DD
仰角 85°、発射速度 15 発/分、射程 17 km (対水上)、11 km (対空)
弾丸重量 25 kg
- (2) ビッカーズ 4.5 インチ/55 Mk 8砲
搭載艦艇 アルバンド級 FFG
仰角 55°、発射速度 25 発/分、射程 22 km (対水上)、6 km (対空)
弾丸重量 21 kg
- (3) 米 3インチ/50 Mk 34 砲
搭載艦艇 バヤンドール級 FS
仰角 80°、発射速度 50 発/分、射程 12.8 km
弾丸重量 6 kg
- (4) オットメララ 76 mm/62 コンパクト砲
搭載艦艇 カマン級 PGF
仰角 85°、発射速度 85 発/分、射程 16 km (対水上)、12 km (対空)
弾丸重量 6 kg
- (5) プレダボフォース 40mm/70 砲
搭載艦艇 カマン級 PGF
仰角 90°、発射速度 300発/分、射程 12 km (対水上)、4 km (対空)
弾丸重量 0.96 kg
- (6) ボフォース 40mm/60 連装砲
搭載艦艇 バヤンドール級 FS、パルビン級 PC
仰角 80°、発射速度 120発/分、射程 10 km
弾丸重量 0.89 kg
- (7) エリコン 35 mm/90 連装砲
搭載艦艇 アルバンド級 FFG
仰角 85°、発射速度 550 発/分、射程 6 km
弾丸重量 1.55 kg
- (8) 30 mm/65 連装砲 AK 230
搭載艦艇 フドン級 PCFG、ボゴモル級 PCFG
仰角 85°、発射速度 500 発/分、射程 5 km
弾丸重量 0.54 kg
- (9) ソ連 23 mm/80 連装砲
搭載艦艇 バブル級 DD、カイバン級 PCF

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (10) エリコン GAM-B01 20 mm 砲
搭載艦艇 アルバンド級 FFG、バヤンドール級 FS、パルビン級 PC
- (12) 12.7 mm 機関砲
搭載艦艇 アルバンド級 FFG、バヤンドール級 FS、パルビン級 PC

3 魚雷

- (1) TEST 71/96 魚雷 21インチ
搭載艦艇 タレク級 SSK
ワイヤーガイド アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 15 km 40 kt
弾頭重量 205 kg
- (2) TEST 53-65 魚雷 21インチ
搭載艦艇 タレク級 SSK
パッシブ ウェーキ ホーミング、射程 19 km 45 kt
弾頭重量 300 kg
- (3) ハニウエル Mk 46 対潜魚雷 324 mm
搭載艦艇 バブル級 DD
アクティブ/パッシブ ホーミング、射程 11 km、速力 40kt、探知距離 460 m
弾頭 44 kg HE、重量 230 kg
- (4) ハニウエル Mk 44 対潜魚雷 324 mm
搭載艦艇 バブル級 DD
アクティブ音響ホーミング、射程 5 km、速力 30 kt、最大水深 300 m
弾頭 34 kg、重量 233 kg

4 対潜武器

- (1) 3連 リンボー Mk 10
搭載艦艇 アルバンド級 FFG
射程 1 km 弾体重量 92 kg
- (2) 爆雷
搭載艦艇 パルビン級 PC

5 機雷

敷設能力 タレク級 SSK
保有機雷 中国製上昇機雷を含む、約 3,000個の備蓄がある。

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) AS 7 ケリー ミサイル
搭載機 Su-24
無線コマンド誘導、重量 295 kg、射程 8 km、弾頭 60 kg HE
- (2) AS 10 カレン ミサイル
搭載機
TVガイド セミアクティブレーザーシーカー、重量 300 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

- (3) AS 11 キラー ミサイル (AS-10 の改良型)

搭載機

IRシーカーの他は AS 10と同じ

- (4) AS 12 ケグラー ミサイル

搭載機 アグスタ AB 204ASW/212 艦上ヘリコプター

対レーダー、重量 350 kg、射程 35 km

- (5) AS 14 ケッジ ミサイル (AS-10、AS-11 の改良型)

搭載機

射程 30 km

- (6) AGM-65A マベリック ミサイル

搭載機

	A/B	D	E	F/G
誘導	TV	赤外線	レーザー	赤外線
重量	210 kg	220 kg	293 kg	307 kg

射程 8~25 km

- (7) C-802 SSM

搭載機 ロッキード P-3F オリオン

射程 120 km

2 対潜武器

- (1) A244/S 対潜魚雷 (324 mm)

搭載機 アグスタ AB 204ASW/212、シコルスキー ASH-3D シーキング

ロッキード P-3F オリオン

アクティブ/ パッシブソナー、自蔵プログラムパターン、射程

弾頭 成形爆薬 HBX-3H、重量 221 kg

- (2) 対潜爆弾

搭載機 アグスタ-シコルスキー ASH-3D シーキング、

ロッキード P-3F オリオン

弾頭重量 44 kg

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1982/3	1983/4	1984/5	1985/6	1986/7
GDP (10 億円)	8,700	13,750.0	14,600	15,306	21,121
(10 億ドル)	99.738	157.632	158.86	174.46	268.71
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億円)		1,500	1,853	1,295e	465
(10 億ドル)		17.196	20.162	14.091	5.90
国防予算(10 億円)				1,295e	465.00e
(10 億ドル)				13.877	6.07
受領軍事援助(100万ドル)					
年度	1987/8	1988/9	1989	1990	1991
GDP (10 億円)	25,345e	32,209e	28,122	34,590	46,776.8
(10 億ドル)	369.01	447.25	53.06	59.49	68.17
一人当たり (ドル)					
国防支出(10 億円)	640			217.0e	391.0e
(10 億ドル)	8.96			3.2	5.8
国防予算(10 億円)	436.00e	680.0e	(9/0)620.0e	895.0	1,273
(10 億ドル)	6.11	9.90	8.609	3.18	4.27
受領軍事援助(100万ドル)					
年度	1992	1993	1994	1995	1996
GDP (10 億円)	67,811	93,801.0	129,777	169,000	
(10 億ドル)	54.2	57.8	59.8	62.5	
一人当たり (ドル)	4,800	4,900	4,800	4,900	
国防支出(10 億円)	527.7e	6,159e	4,020	4,300	
(10 億ドル)	2.3	4.86	2.3	2.5	
国防予算(10 億円)	413.0	368.0	4,020.0	4,300.0e	5,900
(10 億ドル)	1.80	2.0	2.3	2.46	3.4
受領軍事援助(100万ドル)					

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
駆逐艦	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2
バートル級 (英国製) 2, 288t	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			
サムナー級 (米国製) 2, 388t	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
フリゲート艦												
サム級 (英国製) 1, 100t	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保有隻数計	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5	5	5
保有基準排水量計 (k トン)	11	11	11	10	10	10	10	10	10	8	8	8

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット												
PF-103 (米国製) 900t	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
高速ミサイル艇 (FAC(G))												
ラコンバタント II (フランス製)	7	8	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10
フトン級												10
哨戒艇												
PGM-71改 (米国製) (ハルビン級)	3	3		3	3	3	3	3	3	3	3	3
ケーブ級 (カイハン級)	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
ボゴモル級 (旧イラク)										1	1	1
チャホ級 (北朝鮮製)				3	3	3	3	3	3	3		
その他のPFI										10	10	10
BH-7ホーバークラフト	2	2	6	15	15	10	10	14	14	13	9	9
30-m (韓国製)			3									
保有隻数計	18	19	26	36	36	31	31	35	35	45	38	48

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇												
292 級MSC(米国製)	2	2	1	2	2	2	2	2	3	2	3	3
リアッチ級MSI(米ケーブ 級)				1	1	1	1	1	2	2	1	2
機雷敷設												
イラン アジール 級LST(敷設艦)											1	2
保有隻数計	2	2	1	3	3	3	3	3	5	4	3	7

4 両用戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ヘンガム級LST	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
イラン アシール級LST(韓国製)				3								
イラン ホルムズ 級LST(韓国製)				3	3	3	3	3	3	3	3	3
イラン アジール 級LST							2	2	2	1	1	
ポルノクヌイ級(旧イラク)LSM											1	1
フォキュー 級LSSL							1	1				
LCT(オランダ製)		4	4		4	4	3	3	3	3	3	3
LCU(米国製)	1											
保有隻数計	5	8	8	10	11	11	13	13	12	11	12	11

5 潜水艦

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
K 級(ソ連製)									2	2	2	2
保有隻数計									2	2	2	2
保有基準排水量計(kトン)									5	5	5	5

HP「海軍砲術学校」公開資料

6 その他

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
補給艦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
艦隊補給艦ハンダールマス級	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
修理艦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
給水船				2	2	2	2	2	4	4	4	4
宿泊船				2	2	2						
支援艦テルハ級							7	7	7	7	2	2
支援船ヘンデイヤン級									6	6	8	13
曳船								1	1	1	1	1
mSc 練習船シャーロック										1	1	1
保有隻数	4	4	4	8	8	8	13	14	22	23	20	25

第2項 保有航空機の推移

- 1 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 2 対潜哨戒機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
固定翼機												
P-3F	2	2	5	5	(2*	(5*	(5*	(5*	(5*	(5*	(5*	(5*
回転翼機												
SH-3D	12	12	12	3	3	3	3	3	3	3	3	3
AB-212 ASW				7	6	6	6	6	6	6	6	6
合計	14	14	17	15	9	9	9	9	9	9	9	9

注：* 空軍が保有する海上監視用P-3Fの数を記載した。

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル、バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
対地攻撃機												
F-4D/E	35	35	35	35	35	60	60	60	60	60	60	60
F-5E/F	45	45	45	45	45	60	60	60	60	60	60	60
Su-24								10	20	30	30	30
J-6					24							
要撃機												
F-14	20	10	10	10	15	60	60	60	60	60	60	60
F-7								12	25	25	25	25
MiG-29								20	30	30	30	30
J-6			10									
合計	100	90	100	90	119	180	100	232	255	265	265	265

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

1 対空武器

対空ミサイルは、バブル級 DD に装備の GDC ポモナ スタンダード SM-1MR SAM (射程 46 km(25nm)) だけであり、期間中は変わっていない。

砲は、バブル級 DD の 5インチ/38 Mk38 連装砲 (射程 (対空) 11 km) が最大の口径であり、カマン級 PGF の オットメララ 76 mm/62 コンパクト砲 (射程 (対空) 12 km) が対空射撃の射程としては最大である。いずれもこの期間の間に変わっていない。

2 対艦武器

対艦ミサイルについては、この期間の初めからマクドネルダグラス ハープーン SSM (射程 130 km(70nm)) を装備のカマン級 PGF があり変わっていない。

砲の対水上射撃の射程は、アルバンド級 FFG の ビッカーズ 4.5 インチ/55 Mk 8 砲 (射程 22 km) が最大であるが、これも期間中の変化はない。

1992年から、TEST 71/96 魚雷 (射程 15 km 40 kt) 及び TEST 53-65 魚雷 (射程 19 km 45 kt) を搭載のタレク級 SSK が就役しており、これによって対艦攻撃能力は大きく増大している。

3 対潜武器

バブル級 DD は、短魚雷発射艦を装備しており、ハニウエルの Mk 44 又は Mk 46 対潜魚雷を発射することができる。タレク級 SSK の TEST 71/96 魚雷と 53-65 魚雷は、対潜水艦用にも使われる。

対潜武器は、アルバンド級 FFG の リンボー Mk 10 (射程 1 km) と パルビン級 PC の 爆雷 だけであり、この期間の変化はない。

第2項 航空機性能の推移

1 対潜哨戒機

固定翼機は、対象期間の当初からある、空軍の洋上監視隊に所属している P-3F (航続距離 4,000 哩) だけであり、変わりはない。

回転翼機は、SH-3D (航続距離 630 哩) が当初からあり、1980年代後期に AB-212 ASW (航続距離 332 哩) が加わったが、行動範囲は広がっていない。

2 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

対地攻撃機は、当初から F-4D/E (戦闘行動半径 618 哩)、F-5E (戦闘行動半径 570 哩)、F-5F (戦闘行動半径 520 哩) を有していたが、1990年代初期に Su-24 (戦闘行動半径 970 哩) を導入したので、行動範囲は拡大した。この中には湾岸戦争の際にイラクから飛来したものも含まれている。

戦闘機は、当初から F-14 (航続距離 735 哩) を有していたが、1990年代初期に F-7 (航続距離 804 哩) と MiG-29 (戦闘行動半径 430 哩) を導入したので、行動範囲は拡大した。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

当初は、AGM-65Aマベリック（射程 8～25 km）を有していたが、1990年代前半のソ連機の導入にともないソ連製の AS 7 ケリー（射程 8 km）、AS 10カレン、AS 11キラー（AS-10の改良型）、AS 12 ケグラール（射程 35 km）、AS 14 ケッジ（AS-10、AS-11 の改良型）（射程 30 km）を有するようになった。この中で、AS-7とAS-12 はミリタリーバランスにはないが、ジェーン年鑑に記載されているので加えてある。

1995年には、航空機に装備の対艦攻撃武器として中国製の C-802 SSM（射程 120 km）の購入を始めている。ジェーン年鑑では P-3F に搭載するとされており、これによって対艦武器の射程は大幅に増大した。

2 対潜武器

当初から A244/S 対潜魚雷（324 mm）と対潜爆弾を使用しており、変化はない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

1995-1996 における海軍に関連する武器の発注と供給

装備	タイプ	数量	供給国	契約年	供給年	備考
FAC(ミサイル艇)	ヘヴ級	5	中		1995	
SSM	C-802	100	中		1995	対艦攻撃用
SS(潜水艦)	キコ級	3	ロシア		1996	1994年に2隻、1996年に3番艦
機雷	MC-52		中	1995		

注：数量、契約・供給年の空欄はデータが得られなかったものであるが、契約/プログラムは確認されている。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第15章 イラク

第1節 海軍組織

第1項 海軍の主要組織

ジェーン年鑑 1996-1997によれば、イラク海軍は殆ど壊滅状態であり、1995年中に海上で行動をしたのはサワリ級内水哨戒艇(PBI) だけであるとしている。

湾岸戦争までは、沿岸に防備のためのHY-2ミサイル基地×8があったが、そのうちの少なくとも2箇所は湾岸戦争で破壊された。

第2項 海軍の主要指揮官

ジェーン年鑑 1996-1997には主要指揮官の記述はない。

第3項 基地

バスラ (限定的)、アズズバイル、ウムカスル (商港)

第2節 現有兵力

第1項 各艦隊における艦艇 (艦種、艦級別) 及び航空機 (機種別) の配備兵力

艦艇、航空機の現有兵力は、次のとおりである。なお、各艦隊への配備状況については、資料が得られなかった。

1 主要水上艦艇 1隻

[フリゲート艦] 1隻

(1) イブンマルジッド級 (ユーゴスラビア製) FF 1隻*

注: *) ジェーン年鑑1996-97によれば、この艦はバスラに係留されているが、使用できる状態ではないとされている。

2 小型水上艦艇 8隻#)

[ミサイル艇] 1隻

(1) オサI級 (タイプ 205) PCFG 1隻

[哨戒艇] 7隻

(2) ボゴモル級 (ソ連) PCF 1隻^{!)}

(3) PFI 5隻

(4) PCI 1隻

(5) その他ボート

注: #) ジェーン年鑑1996-97によれば、この他にイラクの旗を掲げてイタリアのラスペチア港内に停泊しているアッサド級コルベット2隻が記載されている。

注: !) ジェーン年鑑1996-97によれば、この級1隻は1994年に除籍されている。

3 機雷戦艦艇 4隻

(1) イフゲニア級 (ソ連) MHC 2隻^{!)}

(2) ネスティン級 (ユーゴスラビア) MSI 3隻

HP「海軍砲術学校」公開資料

注: !) ジェーン年鑑1996-97によれば、この級2隻は1995年に除籍されている。

- 4 両用戦艦艇 8隻
保有していない。
- 5 潜水艦
保有していない。
- 6 支援艦艇 3隻
ダメン級 AGS 1隻
アカ級 (ユーゴスパシラック級) サルベージ船 ARS 1隻
カデシヤットサダム級大統領用ヨット 1隻
- 7 海軍所属の対艦攻撃機
保有していない。
- 8 対潜哨戒機
保有していない。

第2項 対艦攻撃能力を有する空軍航空機の兵力及び配備状況

航空機の現有兵力は次のとおりである。なお、配備状況については、資料が得られなかった。

- 1 爆撃機 約6機
H-6D
Tu-22
- 2 対地攻撃機 約130機
MiG-23BN
ミラージュ F1EQ5
Su-7、Su-20、Su-25
- 3 戦闘機 約80機
F-7
MiG-21、MiG-23、MiG-25
ミラージュ F1EQ5
MiG-29

第3項 海軍歩兵及び海兵隊部隊の兵力及び配備状況

海兵隊は編成されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第3節 艦艇、航空機の性能要目

第1項 艦艇

艦艇の性能要目について級毎に整理した。艦名等については、主要水上艦艇と潜水艦は各艦毎に、その他の艦艇は級についてまとめている。小型艇と支援艦艇については記載していない。

1 主要水上艦艇 1隻

[フリゲート艦] 1隻

(1) イブンマルジッド級 (ユーゴスラビア製) FF 1隻

ジェーン年鑑1996-97によれば、この艦はバストラに係留されているが、使用できる状態ではないとされているので記載しない。

2 小型水上艦艇 8隻

[ミサイル艇] 1隻

(1) オサ I 級 (タイプ 205) PCFG 1 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
----	----	----

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	126.6×24.9×8.8	ディーゼル	35	400	30
210F	(38.6×7.6 ×2.7)	3軸		(34Kt)	

ウ 装備武器

ミサイル

SSM: SS-N-2 スティックスカ ×1

砲

30 mm/65 連装砲×2

[哨戒艇] 7 隻

(2) ボゴモル級 (ソ連) PCF 1 隻 (1994年に除籍)

ア 艦名等

番号	就役	移転
----	----	----

1990.3

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	レンジ(浬)	乗員(名) (士官)
	127.9×25.6×5.9	ディーゼル	37	500	30
245F	(39×7.8 ×1.8)	3軸		(35Kt)	

ウ 装備武器

砲

ソ連 3インチ/66 砲×1

30 mm/65 連装砲×2

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇 4 隻

(1) イフゲニア級 (ソ連) MHC 2 隻 (1995年に除籍)

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1975.1

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワッジ(溼)	乗員(名) (士官)
90 F	80.7×18×4.9 (24.6×5.5×1.5)	ディーゼル 2軸	11	300 (10Kt)	10

ウ 装備武器

砲

25 mm/80連装砲×2

ソナー

ソナー タイプ VDS

(2) ネスティン級 (ユーゴスラビア) MSI 2 隻

ア 艦名等

番号	就役	移転
		1979~80

イ 諸元

排水量(トン) (Fは満載)	寸法(フィート(m)) 長×幅×高	主機	速力(Kt)	ワッジ(溼)	乗員(名) (士官)
72 F	88.6×21.3×3.9 (27×6.5×1.2)	ディーゼル 2軸	12	860 (11Kt)	17

ウ 装備武器

砲

イスパノ 20 mm 3 連装砲×1

イスパノ 20 mm 砲×2

機雷×24

4 両用戦艦艇

保有していない。

5 潜水艦

保有していない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 航空機

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

[爆撃機] 約6機

(1) H-6D (Tu-16ハビジャーの中国製)

最大水平速度 (高度 6,000 m(19,700 ft)において)

535 kt (992 km/h)

サービスマシニング 12,300 m (40,350 ft)

戦闘行動半径 1,565 哩 (2,900 km)

武器

(2) Tu-22

最大水平速度 (高度 12,200 m(40,000 ft)において)

マッハ 1.4 (800 kt, 1,480 km/h)

サービスマシニング 18,300 m (60,000 ft)

戦闘行動半径 1,670 哩 (3,100 km)

武器 23 mm NR-23 機銃

[対地攻撃機] 約130機

(3) ミコヤン MiG-23BN、MiG-23

最大水平速度 (海面) マッハ 1.2

サービスマシニング 18,600 m (61,000 ft)

戦闘行動半径 485 ~700 哩 (900 ~1,300 km)

武器 23 mm Gsh-23機銃×1

(4) ミラージュ F1EQ5、F1EQ

最大水平速度 (低空) マッハ 1.2 (800 kt, 1,480 km/h)

サービスマシニング 20,000 m (65,600 ft)

戦闘行動半径 (lo-lo-lo) 230 哩 (425 km) (400~550 kt (740 ~1,020 km/h))

(hi-lo-hi) 750 哩 (1,390 km)

戦闘哨戒航続時間 2 時間15分

武器 AM 39 イグゾセ ASM

(5) スホイ Su-7

最大水平速度 (海面) 460 kt (850 km/h)

サービスマシニング 18,000 m (59,050 ft)

戦闘行動半径 135 ~184 哩 (250 ~345 km)

武器 30 mm NR-30 機銃×2

(6) スホイ Su-20

最大水平速度 (海面) マッハ 1.05

サービスマシニング 18,000 m (59,050 ft)

戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 340 哩 (630 km)、(lo-lo-lo) 195 哩 (360 km)

武器 30 mm NR-30 機銃×2、ASM: AS-7 クリー

HP 「海軍砲術学校」 公開資料

- (7) スホイ Su-25
最大水平速度 475 kt (880 km/h)
カービースーリング
戦闘行動半径 300 浬 (556 km)
武器 Gsh-23 23 mm 機銃×1
[戦闘機] 約 80 機
- (8) F-7
最大水平速度 (高度12,500~18,500 m (41,000~60,700 ft)において)
マッハ 2.05 (1,175 kt、 2,175 km/h)
カービースーリング 18,800 m (61,680 ft)
最大航続距離 (高度11,000 m (36,100 ft)において)
804 浬 (1,490 km)
武器 30 mm タイプ 30-1 キャン×2
- (9) ミコヤン MiG-21
最大水平速度 (低空) マッハ 1.06 (701 kt、 1,300 km/h)
カービースーリング 18,000 m (59,050 ft)
戦闘行動半径 (hi-lo-hi) 200 浬 (370 km)
武器 23 mm Gsh-23 機銃×1、S-24 240 mm ASロケット、爆弾
- (10) ミコヤン MiG-25
最大水平速度 (低空) マッハ 0.85
カービースーリング 24,400 m (80,000 ft)
戦闘行動半径 610 浬 (1,130 km)
武器
- (11) MiG-29
最大水平速度 (海面) マッハ 1.09 (700 kt、 1,300 km/h)
カービースーリング
戦闘行動半径 430 浬 (800 km)
武器

第4節 装備武器の性能要目

第1項 艦艇装備武器

主要水上艦艇、小型水上艦艇、及び潜水艦の装備武器について記載した。

1 ミサイル

(1) SS-N-2A スティックス SSM

搭載艦艇 オサ I 級 PCFG

アクティブ レーダー又はIRホーミング、46 km(25nm) 0.9マッハ

弾頭重量 513 kg

2 砲

- (1) ソ連 3インチ/66 砲
搭載艦艇 ボゴモル級 PCF
仰角 85°、発射速度 120発/分、射程 15 km
弾丸重量 7 kg
- (2) 30 mm/65 連装砲
搭載艦艇 オサ I 級 PCFG、ボゴモル級 PCF
仰角 85°、発射速度 500 発/分、射程 5 km
弾丸重量 0.54 kg

3 機雷

敷設能力 ネスティン級 MSI

第2項 航空機装備武器

1 対艦武器

- (1) AM-39 イグゾセ ミサイル
搭載機 ミラージュ F1EQ5、F1EQ
重量 625 kg、射程 50 km、速力 ハイサブソニック
- (2) AS-7 ケリー ミサイル
搭載機 Su-20
無線コマンド誘導、重量 295 kg、射程 8 km、弾頭 60 kg HE
- (3) AS-4 キッチン ミサイル
搭載機
- (4) AS-5 ミサイル
搭載機
- (5) AS-11 キラー ミサイル (AS-10 の改良型)
搭載機
IRシーカー
- (6) AS-9 カイル ミサイル
搭載機
対レーダー、重量 750 kg、射程 75 km
- (7) AS-12 ミサイル (AS-9の後継)
搭載機
対レーダー、重量 350 kg、射程 35 km
- (8) AS-30Lミサイル
搭載機
重量 520 kg、弾頭 240 kg、最大射程 10 km
- (9) C-601 ミサイル
搭載機
重量 2,440 kg、弾頭 HE プラスト 400 kg、速力 マッハ 0.8

HP「海軍砲術学校」公開資料

第5節 GDP及び国防費の推移

年度	1983	1984	1985	1986	1987
GDP (10 億 ^テ イナル)	9.5	8.4e	14.550	11.350	12.144e
(10 億 ^ト ル)	30.556	27.018	46.800	36.507	39.061
一人当たり (ト ^ル)					
国防支出(10 億 ^テ イナル)		4.3e	4.0e	3.60	4.35e
(10 億 ^ト ル)		13.831	12.866	11.579	13.99
国防予算(10 億 ^テ イナル)	3.2e	4.3e			
(10 億 ^ト ル)	10.293	13.831			
受領軍事援助(100万 ^ト ル)					
年度	1988	1989	1990	1991	1992
GDP (10 億 ^テ イナル)	14.33e	18.2	19.66e		
(10 億 ^ト ル)	46.09	35.0e	40.78	15.0e	17.0e
一人当たり (ト ^ル)					
国防支出(10 億 ^テ イナル)	4.0e				
(10 億 ^ト ル)	12.87	11.0			2.5
国防予算(10 億 ^テ イナル)			4.15		
(10 億 ^ト ル)			8.61		
受領軍事援助(100万 ^ト ル)					
年度	1993	1994	1995	1996	1997
GDP (10 億 ^テ イナル)					
(10 億 ^ト ル)	18.0e	18.5e	18.3e		
一人当たり (ト ^ル)					
国防支出(10 億 ^テ イナル)					
(10 億 ^ト ル)	2.6e	2.7e	2.7e		
国防予算(10 億 ^テ イナル)					
(10 億 ^ト ル)					
受領軍事援助(100万 ^ト ル)					

HP「海軍砲術学校」公開資料

第6節 海軍力の量的推移

以下の表は、ミリタリー・バランス1985-1986 から1996-1997 によって、保有艦艇の推移と保有航空機の推移を整理したものである。

第1項 保有艦艇の推移

1 主要水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
フリゲート 艦												
ルボ級 (イタリア製) 2,208t		1	4	4	4	4	4					
ユーゴ製カトールム 1,850F	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保有隻数計	1	2	5	5	5	5	5	1	1	1	1	1
保有基準排水量計 (k トン)	2	4	11	11	11	11	11	2	2	2	2	2

2 小型水上艦艇

ミリタリー・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
コルベット												
アット級 (イタリア製)		6	6	4	4	4	6					
高速ミサイル艇 (FAC(G))			8									
村級 (ソ連製)	10	10		8	8	8						
村I級 (ソ連製)			(2)						1	1	1	1
村II級 (ソ連製)			(6)									
P-6 型高速魚雷艇	5	5	4	6	6	6						
哨戒艇												
SO-1	3	3	3	3	3	3						
カヤット II 級				4	4	4						
ズック 級			5									
沿岸用	8	8		13	13	13						
内海高速艇ホコモルPFI								1	1	1	1	1
内海高速艇PFI								6	3	5	5	5
内海哨戒艇PCI								3	6	1	1	1
SRN-6 ホーバークラフト									3	3		
保有隻数計	26	32	26	38	38	38	6	10	14	11	8	8

HP「海軍砲術学校」公開資料

3 機雷戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
掃海艇												
T-43級MSO(ソ連製)	2	2	2	2	2	2						
エフゲーニヤ級(ソ連製)	3	3	3	3	3	3		2	2	2	2	2
ネスティン級	3	3	3	3	3	3		2	3	3	2	2
保有隻数計	8	8	8	8	8	8		4	5	5	4	4

4 両用戦艦艇

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
戦車揚陸艦(LST)												
LST アルゲーラ級			3	3	3	3	3					
戦車揚陸艇(LSM)												
ホルクヌイ級(ソ連製)	3	4	3	3	3	3						
保有隻数計	3	7	6	6	6	6						

5 潜水艦

保有していない。

6 その他

ミタリ-バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
ダメン級調査船											1	1
スパシラック級AR(ユーゴ製)アカ									1	1	1	1
ローロー貨物船									3	(3)	(3)	(3)
ストロンボリ級タンカー(イタリア製)			1	1	1	1	1	1	(1)	(1)	(1)	(1)
ホルチャト級魚雷支援船			2									
輸送船			1									
支援船	1	1										
大統領用ヨット				2	2	2		2	1	1	1	1
保有隻数計	1	1	4	3	3	3	1	3	5	2	3	3

HP「海軍砲術学校」公開資料

第2項 保有航空機の推移

1 海軍所属の対艦攻撃機

保有していない。

2 対潜哨戒機

保有していない。

3 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

シリアル・バランスの年	85-86	-87	-88	-89	-90	-91	-92	-93	-94	-95	-96	-97
爆撃機	15	15		20	20	20	6	6	6	6	6	6
TU-22	7	7	x	8	8	8	x	x	x	x	x	x
TU-16	8	8	x	8	8	8	x	x	x	x	x	
H-6D中国製				4	4	4	x	x	x	x	x	x
対地攻撃機	181	83		164	284	360	130	130	130	130	130	130
MiG-23 BN	48	40	x	70	70	90	x	x	x	x	x	x
Su-7	75	x	x	x	30	30	x	x	x	x	x	x
Su-20	50	x	x	x	50	70	x	x	x	x	x	x
Su-24						16						
Su-25				30	30	60	x	x	x	x	x	x
ミラージュ F-1EQ5	8	20	x	64	64	64	x	x	x	x	x	x
ミラージュ F-1EQ		23	x									
J-6 中国製					40	30	x	x	x	x	x	
戦闘機	275	295	295	255	263	270	125	125	180	180	180	180
MiG-25	25	25	25	10	25	25	x	x	x	x	x	x
J-7 中国製					80	40	x	x	x	x	x	x
J-6 中国製				40	40							
MiG-19	40	40	40									
MiG-21	200	200	200	150	70	150	x	x	x	x	x	x
MiG-23												x
ミラージュ F-1EQ	6	30	30	30	30	30	x	x	x	x	x	x
ミラージュ F-1BQ	4											
MiG-29				25	18	30	x	x	x	x	x	x
合計	471	393	295	439	567	550	261	261	316	316	316	316

注: x 保有しているが機数は示されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

第7節 海軍力の質的推移

第1項 艦艇装備武器性能の推移

湾岸戦争で潰滅的な損害を受けているので、海軍は質量ともに大幅に低下している。

第2項 航空機性能の推移

1 空軍所属の対艦攻撃能力を有する航空機

湾岸戦争で量は削減されたが、質の面では変化はないと見られている。

爆撃機については、1980年代後期に、当初の Tu-22(戦闘行動半径 1,670 哩)、Tu-16 に中国製の H-6D(戦闘行動半径 1,565 哩) が加わったが、戦闘行動半径に大きな変化はない。

対地攻撃機については、当初 MiG-23BN(戦闘行動半径 485~700 哩)、ミラージュ F1EQ5(戦闘行動半径 750 哩)、Su-7(戦闘行動半径 135~184 哩)、Su-20(戦闘行動半径 340 哩) を有しており、1980年代末期に Su-25(戦闘行動半径 300 哩) と J-6 を導入しているが、戦闘行動半径に大きな変化はない。

戦闘機には、その他に MiG-21(戦闘行動半径 200 哩) があり、1980年代末期には、MiG-29(戦闘行動半径 430 哩) が加わっているが、戦闘行動半径に大きな変化はない。

第3項 航空機装備武器性能の推移

1 対艦武器

AM-39 イグゾセ(射程 50 km)、AS-7 ケリー(射程 8 km)その他ソ連製、中国製のASM を有している。湾岸戦争後の質の変化は伝えられていない。

第8節 海軍関連武器の輸出・輸入状況

ミリタリーバランス 1996-1997には記載されていない。

HP「海軍砲術学校」公開資料

<http://navgunschl.sakura.ne.jp/>